



ORCA PROJECT

**【別冊】**

紹介状作成プログラム FOR 地域医療連携

MI\_CAN 操作マニュアル追加機能説明

統合版

平成29年11月28日

公益社団法人 日本医師会

## 目次

はじめに.....	8
<b>【1】 MI_CAN ver1.6.0 追加機能 (H27.09.12) .....</b>	<b>9</b>
1-1 血液型の項目追加 .....	9
1-2 CSV 出力項目追加 .....	10
1-3 SS-MIX2 ver1.2 対応 .....	12
1-3-1 MI_CAN TERMINAL の起動 .....	12
1-4 XML 形式フォーマット出力対応.....	14
1-4-1 環境設定 (MI_CAN) .....	14
1-4-2 環境設定 (MICAN_TERMINAL) .....	15
1-4-3 XML 形式の診療情報提供書作成 .....	16
1-4-4 紹介状 (XML) タブ .....	16
1-4-5 データ出力機能 (MI_CAN TERMINAL) .....	20
1-5 アレルギーマスターの取り扱い .....	20
1-6 患者情報の出力項目追加.....	22
<b>【2】 MI_CAN ver1.6.5.2 追加機能 (H27.12.12) .....</b>	<b>23</b>
2-1 DiedAi とは .....	23
2-1-1 DiedAi 連動.....	23
2-1-2 DiedAi 呼出.....	25
<b>【3】 MI_CAN ver1.7.0 追加機能 (H27.12.12) .....</b>	<b>27</b>
3-1 ラベル印刷機能.....	28
3-1-1 ラベル印刷設定.....	30
3-1-2 ラベル印刷.....	34

3-2	ORCA の禁忌薬剤表示機能	36
3-2-1	ORCA 禁忌薬剤	37
3-3	ORCA の文例取込機能	37
3-3-1	定型文編集	38
3-4	CSV 出力項目追加	39
3-5	クライアントからのオンラインアップデート	41
<b>【4】</b>	<b>MI_CAN ver1.8.0 追加機能 (H28.08.18)</b>	<b>42</b>
4-1	MI_CAN の追加機能	43
4-1-1	転記設定	43
4-1-2	病名に原疾患と合併症を追加	44
4-1-3	CSV 出力項目追加	45
4-1-4	バイタルに更新ボタンを追加	46
4-2	仕様変更	48
4-2-1	MI_CAN の仕様変更	48
4-2-1-1	診療行為の剤点数を取得	48
4-2-1-2	画像のコメントが長すぎる場合に警告メッセージを表示	48
4-2-2	MICAN_TERMINAL (MI_CAN データ出力機能) の仕様変更	49
4-2-2-1	院内、院外の判定	49
4-2-3	DataMonitor の仕様変更	49
4-2-3-1	取得中に表示される文言を変更	50
4-2-3-2	起動後及び設定変更後に待ち時間無しでデータ取得	50
4-3	補足	50
4-3-1	添付画像の削除	50
<b>【5】</b>	<b>MI_CAN ver1.8.5 追加機能 (H28.10.20)</b>	<b>51</b>

5-1	MI_CAN の追加機能 .....	52
5-1-1	帳票(PDF)出力時、URL とフォルダを同時に開く設定を追加 .....	52
5-1-1-1	ユーザー管理の設定 .....	52
5-1-1-2	MEDPost 連携フォルダの設定.....	53
5-1-1-3	MEDPost 連携ユーザーの帳票作成処理 .....	55
5-1-2	PDF 署名印影をユーザー毎に設定する機能を追加 .....	57
5-1-2-1	電子署名設定 .....	57
5-1-2-2	SignedPDF Client ORCA の設定 .....	58
5-1-2-3	ユーザー別帳票作成 .....	61
5-1-2-4	印影画像設定の注意点.....	61
5-2	仕様変更 .....	62
5-2-1	MI_CAN の仕様変更 .....	62
5-2-1-1	紹介先医療機関名のみの出力(PDF、CSV) .....	62
5-2-2	DataMonitor の仕様変更 .....	63
5-2-2-1	データモニタの SQL 構文の修正 .....	63
5-3	不具合修正 .....	63
5-3-1	MI_CAN の不具合修正.....	63
5-3-1-1	病名転記時(日付なし)の半角スペースの削除 .....	63
5-3-1-2	ネットワーク設定時、定型タブ内の内容が正常に表示されない不具合を修正.....	64
5-3-1-3	ランチャー設定のフォルダ指定時のエラー対策 .....	64
<b>【6】</b>	<b>MI_CAN ver1.8.6 追加機能 (H28.12.24)</b> .....	<b>65</b>
6-1	MI_CAN の追加機能 .....	66
6-1-1	検査結果の時系列表示を追加 .....	66
6-1-1-1	日付・依頼ごと表示と時系列表示の切り替え .....	66

6-1-1-2	検査結果の時系列表示.....	66
6-1-1-3	複数の検査機関の対応.....	67
6-1-1-4	検査結果のコピー.....	67
6-1-2	紹介状、診断書作成時のテキストフォントの変更設定を追加.....	69
6-1-2-1	帳票印刷設定.....	69
6-1-2-2	帳票作成.....	69
<b>6-2</b>	<b>仕様変更.....</b>	<b>70</b>
6-2-1	起動パラメータによる動作制御.....	70
6-2-1-1	パラメータの設定.....	70
6-2-1-2	使用例.....	70
6-2-2	二重起動の抑止.....	71
6-2-2-1	MI_CAN の起動.....	71
6-2-3	DataMonitor によるデータ取込時の病名データ取得を追加.....	71
<b>6-3</b>	<b>不具合修正.....</b>	<b>71</b>
6-3-1	Windows10 で帳票作成時にウインドウの間に隙間ができる問題を修正.....	71
<b>【7】</b>	<b>MI_CAN ver2.0 追加機能 (H29.05.30).....</b>	<b>72</b>
<b>7-1</b>	<b>MI_CAN の追加機能.....</b>	<b>74</b>
7-1-1	患者一覧 (TOP) 画面の表示設定機能を追加.....	74
7-1-1-1	リストの表示方法の設定.....	74
7-1-1-2	リストの項目表示順の設定.....	76
7-1-2	患者一覧の表示項目に最終診療日を追加.....	77
7-1-3	検査結果の時系列表示を追加.....	78
7-1-3-1	日付・依頼ごと表示と時系列表示の切り替え.....	78
7-1-3-2	検査結果の時系列表示.....	78

7-1-3-3	複数の検査機関の対応.....	79
7-1-3-4	検査結果のコピー.....	80
7-1-4	検査結果のグラフ表示を追加.....	82
7-1-4-1	検査結果のグラフ表示.....	82
7-1-4-2	表示方法の切り替え.....	84
7-1-4-3	表示期間の指定.....	86
7-1-4-4	年月反転.....	88
7-1-4-5	グラフ縦幅.....	88
7-1-4-6	グラフコピー.....	89
7-1-4-7	画面コピー.....	90
7-1-5	検査表示セット機能を追加.....	91
7-1-5-1	セット登録.....	91
7-1-5-2	セット編集.....	93
7-1-6	紹介状、診断書作成時のテキストフォントの変更設定を追加.....	97
7-1-6-1	帳票印刷設定.....	97
7-1-6-2	帳票作成.....	98
7-1-7	紹介状、診断書の画像編集機能を追加.....	98
7-1-7-1	ペン.....	100
7-1-7-2	マーカー.....	100
7-1-7-3	線の消去.....	100
7-1-7-4	ペンの色.....	100
7-1-7-5	ペンの幅.....	101
7-1-7-6	テキスト追加.....	101
7-1-7-7	フォント種別.....	103

7-1-7-8 全消去 .....	103
7-1-7-9 設定適用 .....	103
7-1-8 デフォルト定型文に対応 .....	104
7-1-8-1 デフォルト定型文の指定 .....	104
7-1-9 紹介先選択・禁忌情報のスクロール表示を追加 .....	105
7-1-9-1 紹介先タブ .....	105
7-1-9-2 禁忌タブ .....	106
7-1-10 ラベル印刷の画像印刷対応 .....	106
7-1-10-1 画像タブ .....	106
<b>7-2 仕様変更</b> .....	<b>109</b>
7-2-1 起動パラメータによる動作制御 .....	109
7-2-1-1 パラメータの設定 .....	109
7-2-1-2 使用例 .....	110
7-2-2 二重起動の抑止 .....	110
7-2-3 プロパティの名称変更 .....	111
7-2-4 患者一覧表示ロジックの変更による高速化 .....	111
<b>7-3 不具合修正</b> .....	<b>111</b>
7-3-1 Windows10 で帳票作成時にウインドウの間に隙間ができる問題を修正 .....	111
7-3-2 頭書き取込の不具合修正 .....	111
<b>7-4 その他</b> .....	<b>111</b>
7-4-1 DataMonitor によるデータ取込時の病名データ取得を追加 (ver1.8.6) .....	111
<b>【8】 MI_CAN ver2.0.1.0 追加機能 (H29.11.28)</b> .....	<b>112</b>
<b>8-1 MI_CAN の追加機能</b> .....	<b>114</b>
8-1-1 患者リスト表示設定に選択行の背景色と選択行の文字色の設定を追加 .....	114

8-1-1-1 選択行の背景色 .....	114
8-1-1-2 選択行の文字色 .....	116
8-1-2 帳票印刷設定に連携用出力の設定を追加.....	118
8-1-3 患者情報編集画面に地域 ID 設定を追加.....	119
8-1-3-1 日レセ連携.....	121
8-1-3-2 連携 ID 追加.....	122
8-1-3-3 連携 ID 更新.....	123
8-1-3-4 連携 ID 削除.....	124
8-1-4 起動時の更新チェック設定を追加.....	125
<b>8-2 MICAN_TERMINAL の追加機能 .....</b>	<b>126</b>
8-2-1 HumanBridge 対応を追加.....	126
8-2-1-1 HumanBridge 準拠のデータ出力設定.....	126
8-2-2 ID-Link 対応を追加 .....	129
8-2-2-1 ID-Link 準拠のデータ出力設定 .....	129
<b>8-3 仕様変更 .....</b>	<b>132</b>
8-3-1 患者基本情報の保険情報に本人家族区分を追加.....	132
8-3-2 検査取込時に患者名が空文字の場合、カナ文字を使うように対応.....	132
8-3-3 ORCA からのデータ一括取得のスピードアップ.....	132
<b>8-4 不具合修正 .....</b>	<b>132</b>
8-4-1 CSV 出力でデータが出力されない場合がある不具合を修正.....	132

## はじめに

本書は、MI\_CAN 操作マニュアルで追加機能の説明用としてリリースされた「紹介状作成プログラム FOR 地域医療連携 MI\_CAN 操作マニュアル追加機能説明」の統合版です。

MI\_CAN ver1.6.0 以降に追加された機能又は、仕様変更および不具合修正についてバージョン別にまとめています。各章のバージョン番号の横に記載されている日付は、マニュアル作成当時の表紙の日付になります。

日本医師会 ORCA 管理機構

## 【 1 】 MI\_CAN ver1.6.0 追加機能 (H27.09.12)

MI\_CAN ver1.6.0 について説明します。本バージョンでは、以下の機能が追加され、出力可能なフォーマットの種類が増えました。また、血液型のように、MI\_CAN に患者情報として登録する項目の追加や最新の身長・体重が出力可能となるなど主に取り扱いデータに関する機能が追加されています。

なお、従来の機能に関する操作については、「MI\_CAN 操作マニュアル(詳細版)」を参照してください。

対応アプリ	追加項目	説明
MI_CAN	血液型の項目追加	〔患者情報編集〕画面に血液型の入力欄を追加
	CSV 出力項目追加	出力項目に介護番号、被保険者番号、要介護度を追加
MI_CAN TERMINAL	SS-MIX2 ver1.2b 対応	SS-MIX2 仕様書・ガイドライン ver1.2b に対応 <a href="http://www.jami.jp/jamistd/docs/SS-MIX2-V1.2b_revised.zip">http://www.jami.jp/jamistd/docs/SS-MIX2-V1.2b_revised.zip</a>
	XML 形式フォーマット出力対応	HB096 準拠 ヒューマンブリッジ（富士通株式会社）に対応したフォーマットでデータを出力する機能を追加 対応バージョン：SS-MIX2 ver0.96 ※地域医療連携をおこなっている一部の地域で検証済み
	アレルギーの取り扱い	アレルギーを薬剤アレルギーとして出力するかどうかの設定を〔動作設定〕画面に追加
	患者情報の出力項目追加	出力する患者情報のデータに MI_CAN のバイタルに登録された最新の身長と体重を追加

### 1-1 血液型の項目追加

〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面の《DB メンテナンス》から〈患者情報編集〉をクリックして表示される〔患者情報編集〕画面に血液型の入力欄が追加されました。

The screenshot shows the '患者情報編集' (Patient Information Edit) window. The '基本情報' (Basic Information) section includes fields for patient number (00002), name (カネ氏名: ジレイ ニ, 氏名: 事例 ニ), sex (男性), birth date (1947/12/10), and blood type (血液型: B, RH: +). The '住所' (Address) section includes postal code (120-0000), city (東京都足立区), and phone numbers. The '連絡先' (Contact) section has fields for name, address, and phone numbers. The '禁忌・アレルギー・感染症' (Contraindications, Allergies, Infections) section has fields for allergies (卵) and infections. The 'その他' (Others) section includes fields for admission/discharge dates, insurance numbers, and a checkbox for '死亡' (Death). Buttons for '削除' (Delete), '登録' (Register), and '終了' (End) are at the bottom.

血液型は〔患者情報編集〕画面の基本情報欄で登録することができます。登録は ABO 式と RH 式の各入力欄で「▼」をクリックして表示される候補から該当する項目を選択します。

登録した血液型は、データ出力時に他の項目と同様に出力することができます。

```

1 MSH|^~\&|MI_CAN_TERMINAL|SEND|GW|RCV|20150910124840.106|^ADT^A08^ADT
2 EVN||201509101248||||SEND↓
3 PID|0001||000002^^^PI||事例 ニ^^^^^L^I~ジレイ ニ^^^^^L^P||19471
4 PV1|0001|O||||2^医師^太郎^^^^^^L^^^^I||||↓
5 DB1|1|PT|||↓
6 OBX|1|NM|9N001000000000001^身長^JC10||172|cm^cm^ISO+||||F↓
7 OBX|2|NM|9N006000000000001^体重^JC10||75.8|kg^kg^ISO+||||F↓
8 OBX|3|CWE|5H010000009199911^血液型-ABO 式^JC10||B^B^JSHR002||||F↓
9 OBX|4|CWE|5H020000001999911^血液型-Rh 式^JC10||+^+^JSHR002||||F↓
10 IN1|1|009^協会^JHSD0001|||||||20140411|20140411|||20140411|↓
11 IN1|2|060^国保^JHSD0001|||||||20140422|20140422|||20140422|↓
12 [EOF]
  
```

## 1-2 CSV 出力項目追加

〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面の《データ出力》から〈CSV 出力設定〉をクリックすると〔CSV フォーマット作成〕画面が表示されます。

この画面では、MI\_CAN に登録されたデータの中から任意の項目を CSV 形式のファイルで出力することができます。本バージョンでは、介護保険番号、被保険者番号、要介護度が追加されています。

以下に MI\_CAN で出力可能な項目名を記載します。

No	項目名	N0	項目名	No	項目名
1	患者番号	3 4	入院日(西暦)	6 7	拡張期血圧
2	患者名	3 5	退院日(和暦)	6 8	体温
3	患者カナ名	3 6	退院日(西暦)	6 9	喫煙
4	生年月日(和暦)	3 7	入院料	7 0	1日当たりの喫煙本数
5	生年月日(西暦)	3 8	主病名	7 1	SP02
6	年齢	3 9	主病名コード	7 2	自院コード
7	年齢(歳月)	4 0	主病開始日(和暦)	7 3	自院名称
8	性別(数字)	4 1	主病開始日(西暦)	7 4	自院郵便番号
9	性別(男女)	4 2	主病慢性区分	7 5	自院住所 1
1 0	郵便番号	4 3	主病転帰区分	7 6	自院住所 2
1 1	住所 1	4 4	主病転帰日(和暦)	7 7	自院電話番号
1 2	住所 2	4 5	主病転帰日(西暦)	7 8	自院 FAX 番号
1 3	電話番号 1	4 6	病棟	7 9	医師名
1 4	電話番号 2	4 7	保険者番号	8 0	紹介先種別
1 5	連絡先郵便番号	4 8	保険種別	8 1	紹介先医療機関
1 6	連絡先住所 1	4 9	保険名称	8 2	紹介先診療科
1 7	連絡先住所 2	5 0	保険記号	8 3	紹介先医師
1 8	連絡先電話番号 1	5 1	保険番号	8 4	紹介先電話番号
1 9	連絡先電話番号 2	5 2	適用開始年月日	8 5	紹介先 FAX 番号
2 0	禁忌 1	5 3	適用終了年月日	8 6	紹介先メールアドレス
2 1	禁忌 2	5 4	公費名称	8 7	紹介先備考
2 2	アレルギー1	5 5	負担者番号	8 8	紹介先検査 1
2 3	アレルギー2	5 6	受給者番号	8 9	紹介先検査 2
2 4	感染症 1	5 7	公費適用開始年月日	9 0	紹介先検査 3
2 5	感染症 2	5 8	公費適用終了年月日	9 1	紹介先検査 4
2 6	コメント 1	5 9	介護保険番号	9 2	紹介先検査 5
2 7	コメント 2	6 0	被保険者番号		
2 8	フリー1	6 1	要介護度		
2 9	フリー2	6 2	バイタル登録日		
3 0	フリー3	6 3	身長		
3 1	フリー4	6 4	体重		
3 2	フリー5	6 5	腹囲		
3 3	入院日(和暦)	6 6	収縮期血圧		

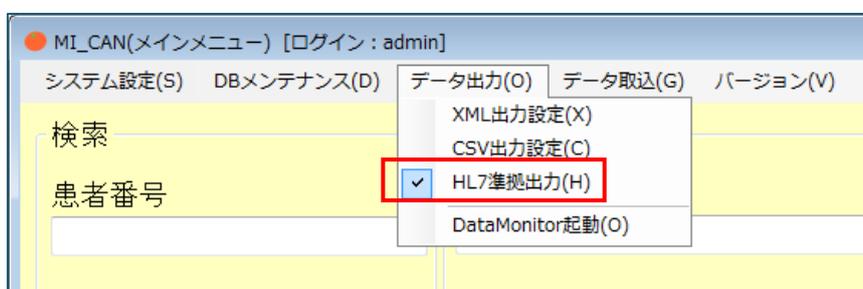
## 1-3 SS-MIX2 ver1.2 対応

MI\_CAN TERMINAL から出力される SS-MIX2 準拠のデータは、本バージョンで ver1.2 に対応しました。

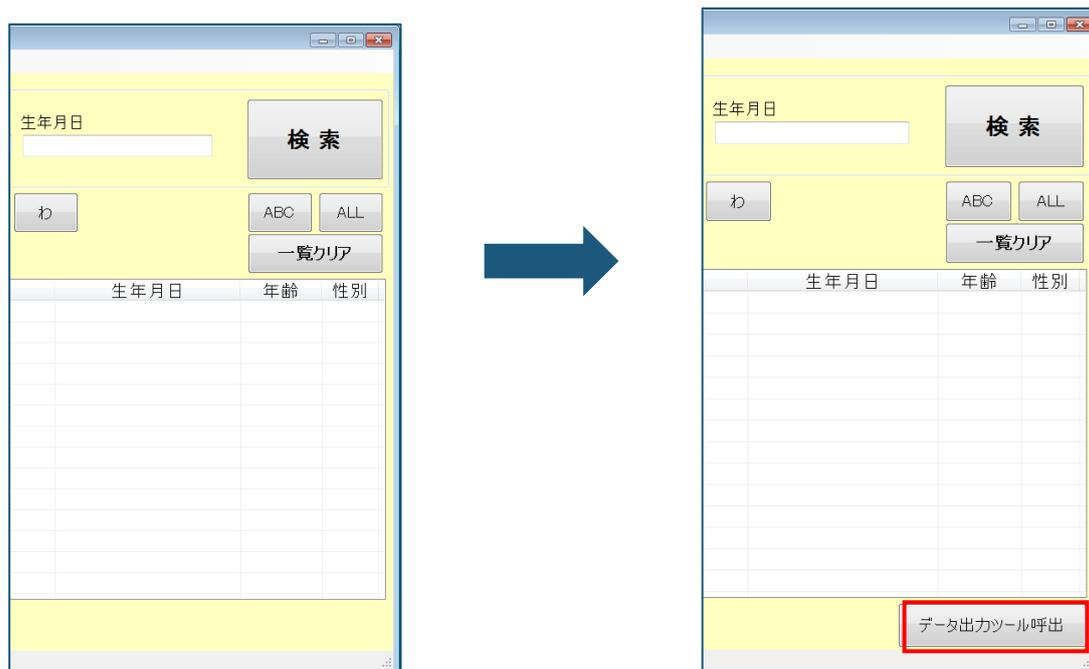
MI\_CAN の [データ出力ツール呼出] ボタンをクリックして表示される [MI\_CAN データ出力] 画面の《メニュー》から〈動作設定〉を選択すると [動作設定] 画面が表示されます。この [動作設定] 画面で SS-MIX2 ver1.2b に準拠したデータ出力の設定を行います。

### 1-3-1 MI\_CAN TERMINAL の起動

MI\_CAN TERMINAL は、[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面の《データ出力》から〈HL7 準拠出力〉を選択してチェックを付けることで利用できるようになります。



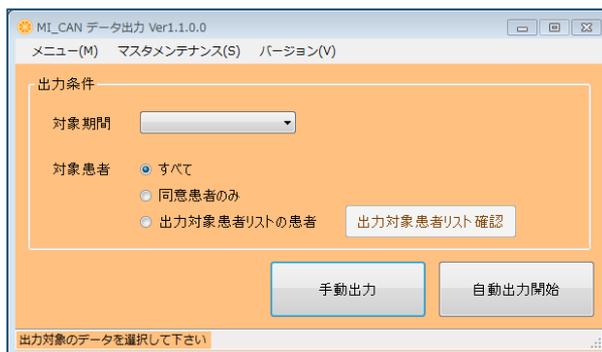
〈HL7 準拠出力〉にチェックすると、[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面の右下に [データ出力ツール呼出] ボタンが表示されます。



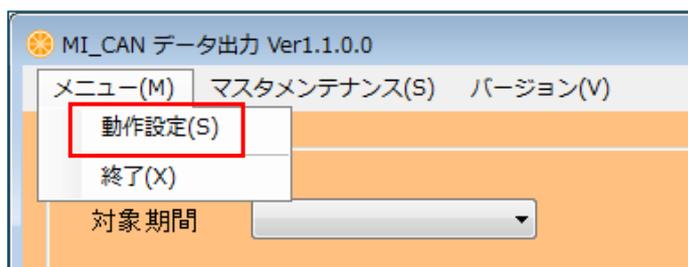
<チェックなし>

<チェックあり>

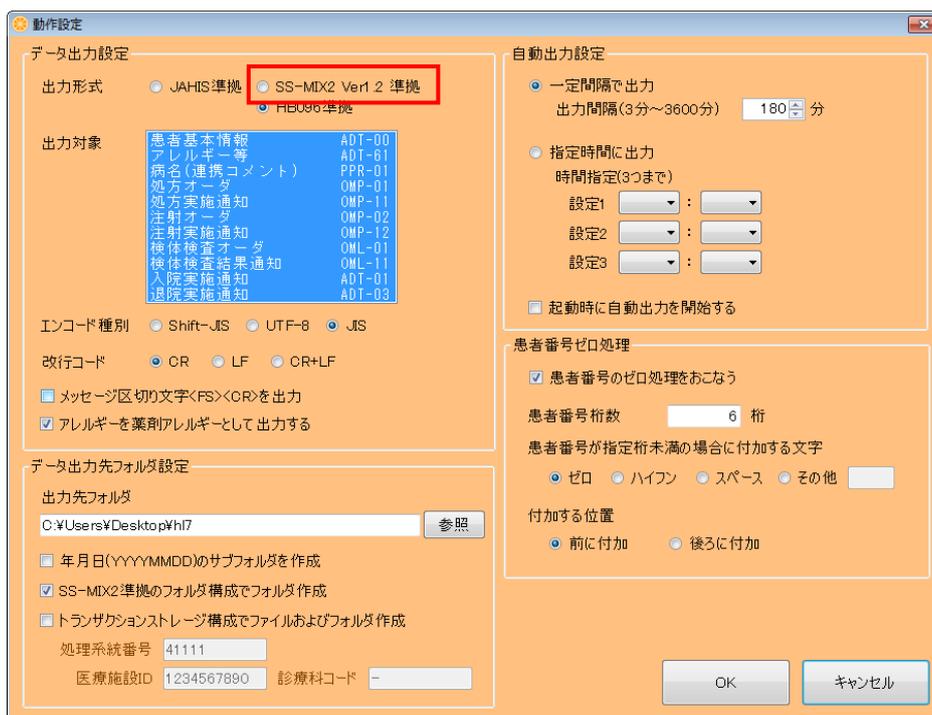
[データ出力ツール呼出] ボタンをクリックすると、MI\_CAN TERMINAL が起動します。



[MI\_CAN データ出力] 画面の《メニュー》から〈動作設定〉を選択すると [動作設定] 画面が表示されます。



データ出力設定欄で出力形式を選択する場合に「SS-MIX2 ver1.2 準拠」にチェックすることで「SS-MIX2 仕様書・ガイドライン Ver. 1.2b」に対応したデータを出力することができます。

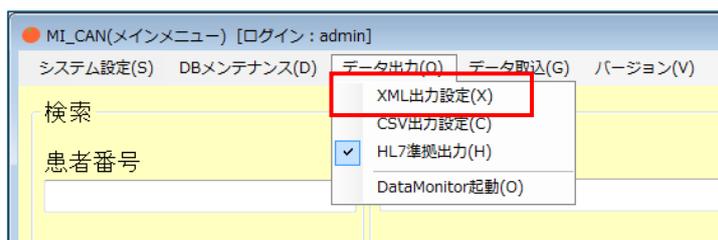


## 1-4 XML形式フォーマット出力対応

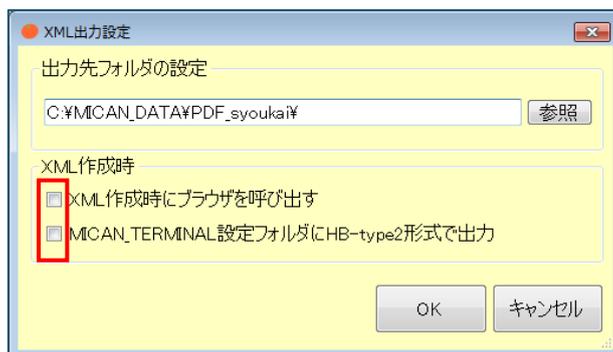
MI\_CAN で作成した診療情報提供書は、印刷して紙媒体で利用する他、XML形式で作成すると、地域医療連携等のシステム上で電子的なデータとしてやりとりすることができます。ver1.6.0ではヒューマンブリッジ対応のフォーマットでデータを出力できますが、MI\_CAN 及びMI\_CAN TERMINAL でそれぞれ環境設定が必要です。

### 1-4-1 環境設定 (MI\_CAN)

[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面の《データ出力》から〈XML出力設定〉をクリックします。



[XML出力設定] 画面が表示されますので「XML作成時」のチェックボックスにチェックします。



「XML作成時」のチェックボックスで設定できる項目の説明は以下のとおりです。

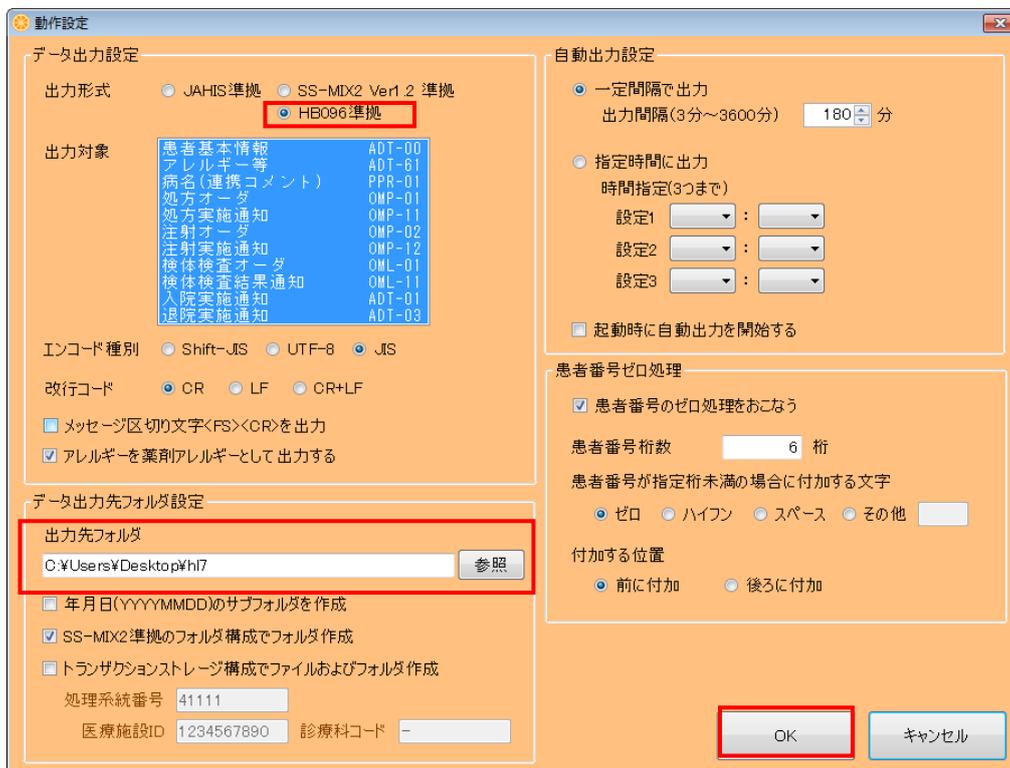
項目	説明
XML作成時にブラウザを呼び出す	XML紹介状を作成し、[XML作成] ボタンをクリックするとインターネットエクスプローラが起動し、作成した帳票の内容をブラウザで確認することができます。
MICAN_TERMINAL 設定フォルダに HB-type2 形式で出力	MI_CAN TERMINAL の [動作設定] 画面にある「データ出力先フォルダ設定」で出力先フォルダとして設定したフォルダにヒューマンブリッジ対応のフォーマット形式でファイルが出力されます。

「MICAN\_TERMINAL 設定フォルダに HB-type2 形式で出力」のチェックボックスにチェックすると「出力先フォルダの設定欄が非活性になります。XML 作成時の設定が完了したら [OK] ボタンをクリックします。



#### 1-4-2 環境設定 (MICAN\_TERMINAL)

MICAN\_TERMINAL の「動作設定」画面を表示させ、データ出力設定の出力形式で「HB096 準拠」を選択します。出力対象とエンコード種別、改行コード種別およびメッセージ区切り文字<FS><CR>を連携するシステムの指定に従って設定します。



データ出力先フォルダ設定の出力先フォルダは [参照] ボタンをクリックして任意のフォルダを設定します。ここで設定したフォルダにヒューマンブリッジ対応のフォーマットでファイルが出力されることになります。

データの出力形式、出力間隔、患者番号のゼロ処理等を設定後、[OK] ボタンをクリックして設定が完了します。

### 1-4-3 XML形式の診療情報提供書作成

MI\_CAN および MI\_CAN TERMINAL の環境設定でそれぞれ設定を完了後、診療情報提供書を作成します。

※作成する XML 形式の診療情報提供書は、作成する文書の内容を MI\_CAN の〔帳票作成〕画面で「紹介状 (XML)」タブを使って各項目別に入力する必要があります。

### 1-4-4 紹介状 (XML) タブ

MI\_CAN で診療情報提供書を作成する患者を検索します。

The screenshot shows a search window titled "MI\_CAN(メインメニュー) [ログイン: admin]". It contains search criteria fields for "患者番号" (Patient No.), "カナ氏名" (Kanji Name), "性別" (Gender), and "生年月日" (Date of Birth). Below these are buttons for "検索" (Search), "あ" through "わ" (Alphabetical filters), "ABC", "ALL", and "一覧クリア" (Clear List). A table displays search results with columns: No, 同意 (Consent), 患者番号 (Patient No.), 患者名 (Patient Name), カナ氏名 (Kanji Name), 生年月日 (Date of Birth), 年齢 (Age), and 性別 (Gender). The table lists 11 patients, all with "事例" (Case) as their name and "ジェイ" (Jay) as their kanji name.

No	同意	患者番号	患者名	カナ氏名	生年月日	年齢	性別
1	●	00001	事例一	ジェイ イチ	H 15年05月05日	12歳	男
2	●	00009	事例九	ジェイ キュウ	S 53年05月23日	37歳	男
3	●	00005	事例五	ジェイ コ	S 20年06月15日	70歳	男
4	●	00003	事例三	ジェイ サン	S 40年08月10日	50歳	女
5	●	00004	事例四	ジェイ シ	S 38年02月18日	52歳	男
6	●	00010	事例十	ジェイ ジュウ	S 22年10月12日	67歳	女
7	●	00011	事例十一	ジェイ ジュウイチ	S 08年08月08日	82歳	男
8	●	00007	事例七	ジェイ ナナ	S 49年06月10日	41歳	男
9	●	00002	事例二	ジェイ ニ	S 22年12月10日	67歳	男
10	●	00008	事例八	ジェイ ハチ	S 44年07月03日	46歳	女
11		00006	事例六	ジェイ ロク	S 09年07月12日	81歳	女

検索結果から対象の患者を指定して、〔文書作成〕画面を表示します。

The screenshot shows the "文書作成" (Document Creation) window. It has radio buttons for "作成対象" (Creation Target) with "新規帳票作成" (New Form Creation) selected, and "帳票引用作成" (Form Reference Creation). Under "文書フォーマット" (Document Format), "紹介状" (Introduction Letter) is selected, along with "診断書" (Medical Certificate) and "紹介状(XML)" (Introduction Letter (XML)). The "タイトル" (Title) is set to "診療情報提供書" (Medical Information Provision Document). The "文書発行日" (Document Issue Date) is set to "2015年 8月30日". There is a "紹介先検索" (Search for Referral) field with a "検索" (Search) button. At the bottom are "作成" (Create) and "キャンセル" (Cancel) buttons.

文書フォーマット欄で「紹介状（XML）」にチェックすると「XML ファイルを添付」のチェックボックスが表示されます。「XML ファイルを添付」にチェックすると PDF に XML ファイルを埋め込んだ形で文書が作成されます。

PDF 形式で文書を作成するとともに、その内容の XML 形式のデータが必要な場合にチェックします。また、タイトルおよびサブタイトルの編集は不可となります。

〔作成〕 ボタンをクリックして「紹介状（XML）」を作成する〔帳票作成〕画面を表示します。

文書作成

作成対象  新規帳票作成  帳票引用作成

文書フォーマット  紹介状  診断書  紹介状 (XML)  XMLファイルを添付

タイトル 診療情報提供書

サブタイトル

文書発行日 2015年 8月30日

紹介先検索  検索

作成 キャンセル

〔帳票作成〕画面の紹介状（XML）タブで「傷病名」から「備考」まで項目別に入力後、〔XML 作成〕ボタンをクリックします。

帳票作成

傷病名 紹介状 診断書 紹介状 (XML)

紹介目的

既往歴  
家族歴

症状経過  
検査結果

治療経過

現在の処方

備考

傷病名  
2014/04/14 左前腕骨折 主病

画像1  
画像2  
画像6

登録 PDF作成 XML作成

XML 出力設定で、「XML 作成時にブラウザを呼び出す」にチェックしていると、インターネットエクスプローラが起動し、作成した文書の内容を確認することができます。

診療情報提供書

2015年8月30日

医療機関  
地域医療支援病院

担当医  
内科 藤吉 圭介 殿

TEL 03-XXXX-7701

医療機関名  
医療法人 日レセクリニック

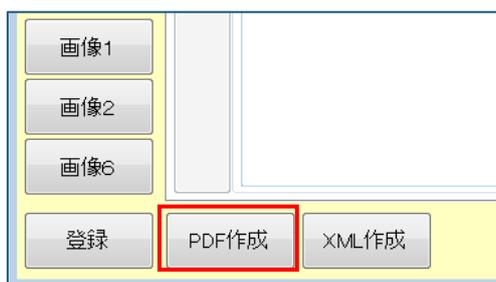
所在地  
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-16

電話番号  
03-3942-6933

医師氏名  
admin

患者氏名	事例 一	生年月日	2003年5月5日	男
傷病名 (主訴、病名)	2014/04/14 左前腕骨折 主病			
紹介目的				

XML 形式のファイルを添付した PDF 文書を作成する場合は、[文書作成] 画面で「XML ファイルを添付」にチェックをして XML 形式の紹介状を作成後、[PDF 作成] ボタンをクリックします。



ファイルが添付された PDF 形式の文書が作成されます。

2015年09月02日00時03分12秒\_事例一\_紹介状.pdf - Adobe Acrobat Pro

診療情報提供書

平成 27年9月2日

紹介先医療機関等名  
関東医科大学病院 御中

担当医 外科 進藤 一生 先生 御机下

紹介元医療機関の所在地及び名称  
〒113-0021  
東京都文京区本駒込2-28-16  
医療法人 日レセクリニック  
TEL : 03-3942-6933 FAX : 03-3942-6933

医師氏名 admin 印

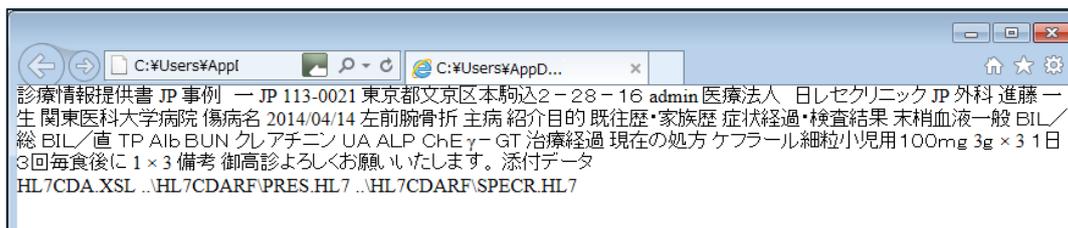
患者氏名: 事例 一 様 性別 (男)		
患者住所:		
電話番号:		
生年月日: H 15年05月05日	年齢 (12歳)	職業:
保険者番号: 138057	公費負担者番号①:	公費負担者番号②:
記号・番号: 111・22222	公費受給者番号①:	公費受給者番号②:

[傷病名]  
2014/04/14 左前腕骨折 主病

添付ファイルのマークにカーソルを合わせるとファイル名が表示されます。

診療情報提供書		平成 27年9月2日
紹介先医療機関等名 [ファイル名: 2015年09月02日00時09分58秒_事例一_紹介 状.xml]	紹介元医療機関の所在地及び名称 〒 113-0021 東京都文京区本駒込2-28-16 医療法人 日レセクリニック TEL : 03-3942-6933 FAX : 03-3942-6933	
医師氏名 admin		印
患者氏名: 事例一様 性別 (男)	患者住所:	
電話番号:	生年月日: H 15年05月05日 年齢 (12歳) 職業:	
保険者番号: 138057	公費負担者番号①:	公費負担者番号②:
記号・番号: 111・2222	公費受給者番号①:	公費受給者番号②:
[傷病名] 2014/04/14 左前腕骨折 主病		

添付ファイルのマークをダブルクリックしてファイルを開くとブラウザが起動し、作成した文書の内容を確認することができます。

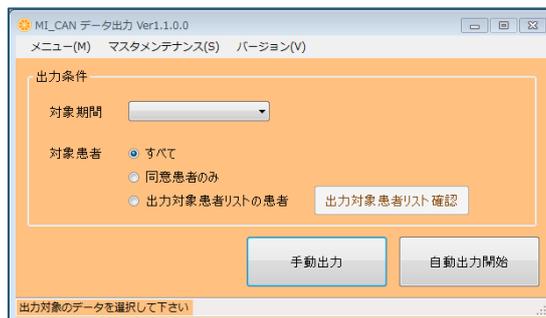


内容を確認後、[登録] ボタンをクリックして作成した文書を保存します。

画像1		
画像2		
画像6		
登録	PDF作成	XML作成

## 1-4-5 データ出力機能 (MI\_CAN TERMINAL)

MI\_CAN に登録された患者基本情報や診療情報等のデータは、MI\_CAN TERMINAL から XML 形式で出力することができます。データは、MI\_CAN TERMINAL の対象患者リストに設定された患者を手動又は自動で出力します。



MI\_CAN TERMINAL の設定に従って出力されたデータは、予め指定していたフォルダに出力されます。



## 1-5 アレルギーの取り扱い

MI\_CAN TERMINAL を使用して各種フォーマットのデータを出力する場合に、出力する項目のうち、登録されているアレルギーを薬剤アレルギーとして出力するかどうかの設定が追加されました。設定は MI\_CAN TERMINAL の〔動作設定〕画面でおこないます。



アレルギーを薬剤アレルギーとして出力する場合は、〔動作設定〕画面の「データ出力設定」欄で「アレルギーを薬剤アレルギーとして出力する」にチェックします。

データ出力設定

出力形式  JAHIS準拠  SS-MIX2 Ver1.2 準拠  HB096準拠

出力対象

患者基本情報	ADT-00
アレルギー等	ADT-61
病名(連携コメント)	PPR-01
処方オーダ	OMP-01
処方実施通知	OMP-11
注射オーダ	OMP-02
注射実施通知	OMP-12
検体検査オーダ	OML-01
検体検査結果通知	OML-11
入院実施通知	ADT-01
退院実施通知	ADT-03

インコード種別  Shift-JIS  UTF-8  JIS

改行コード  CR  LF  CR+LF

メッセージ区切り文字<FS><CR>を出力

アレルギーを薬剤アレルギーとして出力する

チェックしない場合とチェックする場合の設定別に MICAN\_TERMINAL からデータを出力した結果は、以下のとおりです。

- 「アレルギーを薬剤アレルギーとして出力する」にチェックしない場合

```
000002_-_ADT-61_9999999999999999_20150910160755343_-_1
1 MSH|^~&|MI_CAN_TERMINAL|SEND|GW|RCV|20150910160755.943||ADT^A60
2 EVN||201509101607||||SEND+
3 PID|0001||000002^^^^PI||事例 二^^^^^L^I~ジレイ 二^^^^^L^P||1
4 IAM|1|MA^種々のアレルギー^HL70127|^卵^99R07||A^追加^HL70323+
5 [EOF]
```

- 「アレルギーを薬剤アレルギーとして出力する」にチェックした場合

```
000002_-_ADT-61_9999999999999999_20150910153543436_-_1
1 MSH|^~&|MI_CAN_TERMINAL|SEND|GW|RCV|20150910153543.436||ADT^A60
2 EVN||201509101535||||SEND+
3 PID|0001||000002^^^^PI||事例 二^^^^^L^I~ジレイ 二^^^^^L^P||1
4 IAM|1|DA^薬剤アレルギー^HL70127|^卵^99R07||A^追加^HL70323+
5 [EOF]
```

## 1-6 患者情報の出力項目追加

MI\_CAN TERMINAL から出力されるデータに、MI\_CAN のバイタルに登録されている最新の身長と体重の2項目を追加しました。

MI\_CAN の〔診療情報〕画面の「バイタル」タブにバイタルの履歴が登録されている場合、登録されている最新の日付の身長と体重を出力します。

診療情報														
紹介先	病名	診療	投薬	検査	注射	禁忌	バイタル	定型	メモ1	メモ2	データ出力			
							測定日時	身長	体重	BMI	腹囲	血圧H/L	体温	喫煙
							2015/09/10 12時	172cm	75.8kg	25.62	80cm	159/105	36.3℃	あり(一日)
							2015/09/02 12時	173cm	76kg	25.39	80cm	156/110	36.5℃	あり(一日)



```

000002_-ADT-00_9999999999999999_20150910170121167_-_1
C
1 MSH|^~&|MI_CAN_TERMINAL|SEND|GW|RCV|20150910170121.167||ADT^A08^ADT
2 EVN||201509101701|||SEND↓
3 PID|0001||000002^^^^PI||事例 二^^^^^L^I~シレイ 二^^^^^L^P||19471
4 PV1|0001|O|||2^医師^太郎^^^^^^L^^^^^I|||↓
5 DB1|1|PT|||↓
6 OBX|1|NM|9N0010000000000001^身長^JC10||172|cm^cm^ISO+|||F↓
7 OBX|2|NM|9N0080000000000001^体重^JC10||75.8|kg^kg^ISO+|||F↓
8 OBX|3|CWE|5H010000009199911^血液型-ABO 式^JC10||B^B^JSHR002|||F↓
9 OBX|4|CWE|5H020000001999911^血液型-Rh 式^JC10||+^+^JSHR002|||F↓
10 IN1|1|009^協会^JHSD0001|||20140411|20140411|||20140411|↓
11 IN1|2|060^国保^JHSD0001|||20140422|20140422|||20140422|↓
12 [EOF]
  
```

## 【 2 】 MI\_CAN ver1.6.5.2 追加機能 (H27.12.12)

MI\_CAN ver1.6.5.2 で追加された機能について説明します。本バージョンでは、死亡診断書（死体検案書）作成ソフト 橙 (DiedAi) との連動機能が追加されています。

なお、従来の機能に関する操作については、「MI\_CAN 操作マニュアル(詳細版)」を参照してください。

### 2-1 DiedAi とは

死亡診断書（死体検案書）作成ソフト 橙 (DiedAi) は、「平成26年度厚生労働科学特別研究事業の高齢者社会における死因究明の在り方等に関する研究（以下本科研事業という）」において、「新たな様式案」を提案・作成するにあたり、その妥当性を検討するとともに、原因の精度を上げるために、死亡診断書（死体検案書）の電子化を検討するための手段として作成されたものです。現行バージョン（ver1.2.0.0）は、死亡診断書（死体検案書）を作成する機能のみ有していますが、今後は、出生証明書や統計データの作成等についても検討されています。



本科研事業及びDiedAiの詳細については、日本医師会のホームページをご覧ください。

日本医師会ホームページ ([http://www.med.or.jp/doctor/anzen\\_siin/siin/003770.html](http://www.med.or.jp/doctor/anzen_siin/siin/003770.html))

◆日本医師会≫医師のみなさまへ≫医療安全・死因究明≫死因究明≫日本医師会 死因究明のとりくみ

#### 2-1-1 DiedAi 連動

MI\_CAN と DiedAi は、どちらも単独のソフトとして個別に使用することができますが、連動することでMI\_CANに登録された自院の施設情報や患者基本情報をDiedAiに取り込むことができますようになります。取り込んだ情報は、DiedAiで作成する帳票の所定の位置に印字することができます。また、MI\_CANに登録された患者情報を呼び出すことで、入力の手間を省いたりミスを軽減したりすることができるため、帳票作成作業の効率化を図ることもできます。

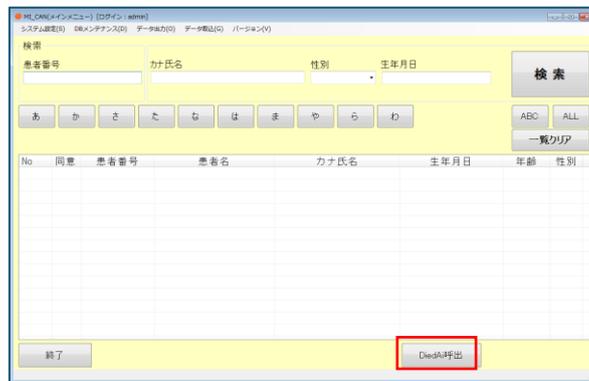
##### 2-1-1-1 連動する場合の注意点

- ① MI\_CAN と DiedAi を連動して使用する場合は、予め両ソフトをインストールしておく必要があります。DiedAi のインストール方法及び操作方法については、前述の日本医師会ホームページでご確認ください。

- ② MI\_CAN と DiedAi を連動すると、ログインの二重入力を省略するため、MI\_CAN でログインしたユーザの情報が DiedAi に引き継がれます。一度 MI\_CAN でログインした後に MI\_CAN から DiedAi を起動すると、再度ログインユーザとパスワードを入力することなく DiedAi を起動することができます。
- ③ MI\_CAN から DiedAi を起動すると、作成した帳票の氏名欄には MI\_CAN でログインしたユーザの氏名が印字されます。運用開始後に MI\_CAN でログインユーザを新規に追加した場合には、DiedAi の〔システム設定（基本情報）〕画面で〔MI\_CAN の登録情報を画面に反映〕ボタンをクリックして DiedAi のユーザ情報も合わせて更新されることをお勧めします。



- ④ MI\_CAN を起動したまま、DiedAi で連動設定をおこなうと、MI\_CAN に〔DiedAi 呼出〕ボタンが表示されません。そのような場合は、一度 MI\_CAN を終了し、再起動してください。



## 2-1-1-2 連動設定

MI\_CAN と DiedAi の連動設定方法について説明します。

DiedAi を起動してログインすると、〔メインメニュー〕画面が表示されます。〔メインメニュー〕画面の〔システム設定〕ボタンをクリックします。

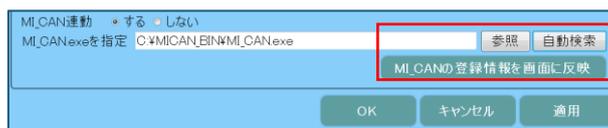


[システム設定（基本情報）] 画面が表示されます。



「MI\_CAN 連動」を「する」にチェックし、「MI\_CAN.exe を指定」で MI\_CAN がインストールされているフォルダにある MI\_CAN の exe ファイルを指定します。MI\_CAN.exe は [参照] ボタンから指定できますが、MI\_CAN と DiedAi が同じ端末にインストールされている場合は、[自動検索] ボタンをクリックすると、自動で MI\_CAN の exe ファイルが指定されます。

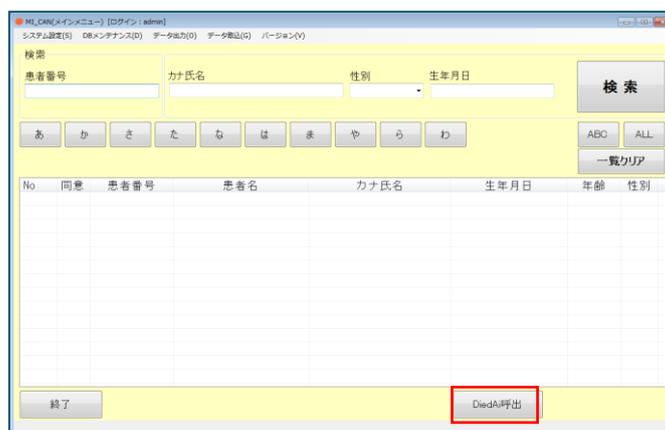
exe ファイルを指定後、[MI\_CAN の登録情報を画面に反映] ボタンをクリックして MI\_CAN に登録されているユーザのログイン ID・パスワードや自院の施設情報を DiedAi に取込みます。



その他の設定項目で必要な内容の入力が完了したら、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックして設定を反映させます。

## 2-1-2 DiedAi 呼出

MI\_CAN と DiedAi の連動設定が完了すると、MI\_CAN の [MI\_CAN (メインメニュー)] 画面に [DiedAi 呼出] ボタンが追加されます。



DiedAi を使って帳票を作成する患者を検索し、該当の患者を選択後 [DiedAi 呼出] ボタンをクリックします。

No	同意	患者番号	患者名	カナ氏名	生年月日	年齢	性別
1	●	00001	事例 一	シレイ イチ	H 15年05月05日	12歳	男
2	●	00009	事例 九	シレイ キュウ	S 53年05月23日	37歳	男
3	●	00005	事例 五	シレイ ゴ	S 20年06月15日	70歳	男
4	●	00003	事例 三	シレイ サン	S 40年08月10日	50歳	女
5	●	00004	事例 四	シレイ シ	S 38年02月18日	52歳	男
6	●	00010	事例 十	シレイ ジュウ	S 22年10月19日	63歳	女
7	●	00011	事例 十一	シレイ シュウイチ	S 08年08月08日	82歳	男
8	●	00007	事例 七	シレイ ナナ	S 49年06月10日	41歳	男
9	●	00002	事例 二	シレイ ニ	S 22年12月10日	67歳	男
10	●	00008	事例 八	シレイ ハチ	S 44年07月03日	46歳	女
11	●	00006	事例 六	シレイ ロク	S 09年07月12日	81歳	女
12		99998	練習 花海	レンシュウ ハナミ	H 10年01月01日	17歳	女

DiedAi のスプラッシュウインドウが表示されDiedAi が起動します。



DiedAi の [メインメニュー] 画面が表示されますので、作成する帳票を選択します。

[死亡患者の基本情報] 画面まで進むと、MI\_CAN から引き継いだ患者情報が入力されています。

DiedAi で帳票が作成済みの場合は、MI\_CAN で該当する患者を検索すると、検索結果のリストで「同意」欄に死亡を表す「★」印が表示されます。

No	同意	患者番号	患者名
1	●	00001	事例 一
2	●	00009	事例 九
3	●	00005	事例 五
4	●	00003	事例 三
5	●	00004	事例 四
6	●	00010	事例 十
7	★	00011	事例 十一
8	●	00007	事例 七

また、MI\_CAN の DB メンテナンスから「患者情報編集」画面を開くと、「その他」の死亡欄にチェックが入っています。

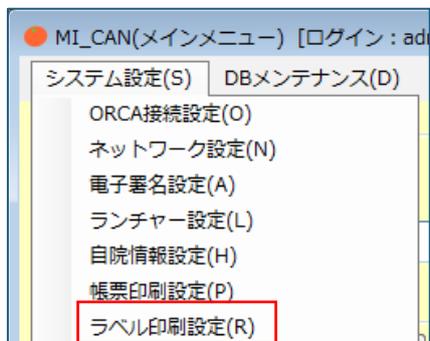
### 【 3 】 MI\_CAN ver1.7.0 追加機能 (H27.12.12)

MI\_CAN ver1.7.0 で追加された機能について説明します。本バージョンでは、以下の機能が追加されています。

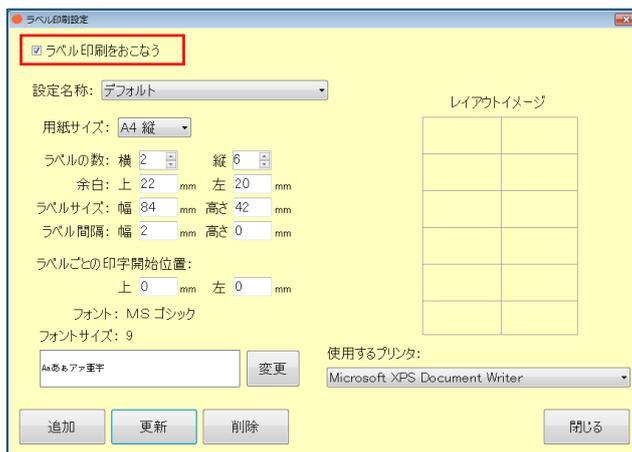
No	追加機能	説明
1	ラベル印刷機能	MI_CAN の「ラベル印刷」タブに入力した内容を市販のラベルに印刷することができます。ラベルのフォーマットも複数登録することができ、ラベルの印刷位置を指定して出力することも可能です。
2	ORCA の禁忌薬剤表示機能	ORCA の患者登録画面で、「禁忌薬剤 (Shift+F12)」に登録した内容を MI_CAN の禁忌タブに表示します。 ORCA 禁忌薬剤は、ORCA と連携している場合にのみ表示されます。
3	ORCA の文例表示機能	ORCA の会計照会画面で、「コメント (Shift+F4)」に文例として登録されている内容を MI_CAN の定型タブに表示します。 ORCA から取り込んだ文例は、MI_CAN の定型文として青文字で表示されます。また、「定型文編集」画面では、ORCA の文例を随時取得することができます。
4	CSV 出力項目追加	CSV 出力機能で出力できる項目が追加されました。
5	クライアントからのオンラインアップデート機能	サーバ/クライアント接続で MI_CAN を使用している場合は、クライアントの端末からもオンラインアップデートを実施することが可能です。

### 3-1 ラベル印刷機能

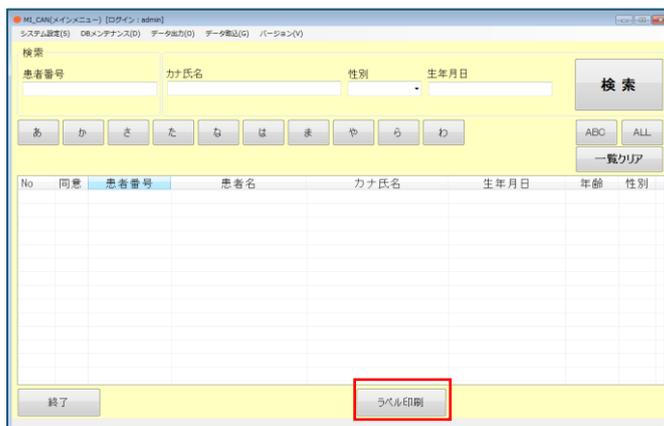
ラベル印刷機能を使用する場合は、〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面のシステム設定から「ラベル印刷設定」を選択します。また、使用するラベルフォーマットの設定・登録をおこないます。



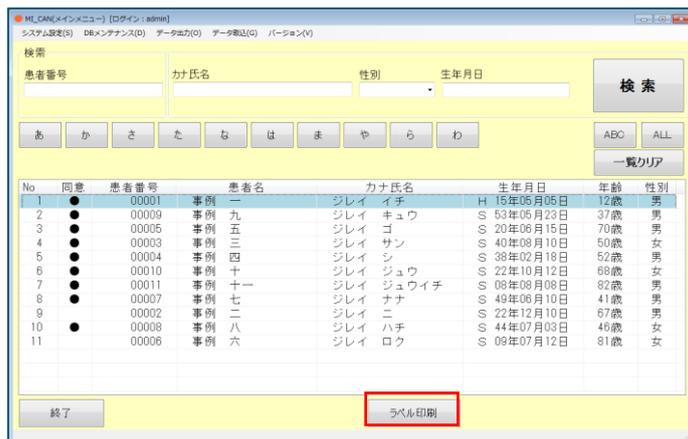
ラベル印刷設定を選択すると、〔ラベル印刷設定〕画面が表示されますので、「ラベル印刷をおこなう」のチェックボックスにチェックします。



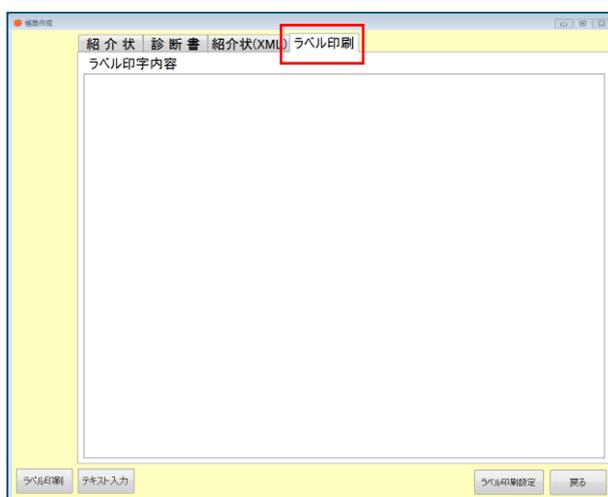
〔閉じる〕ボタンをクリックして画面を閉じると、〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面に〔ラベル印刷〕ボタンが追加されます。



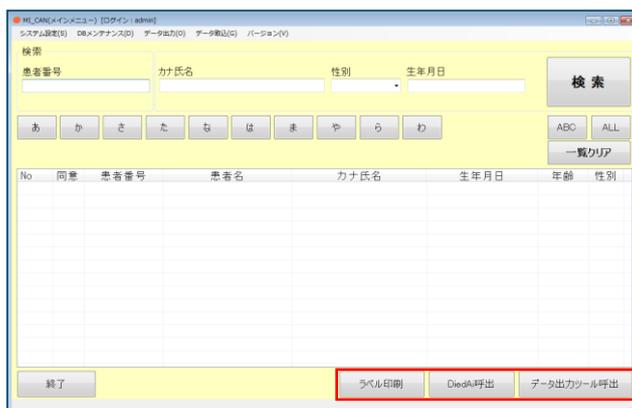
〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面でラベルを印刷する患者を選択し、〔ラベル印刷〕ボタンをクリックします。



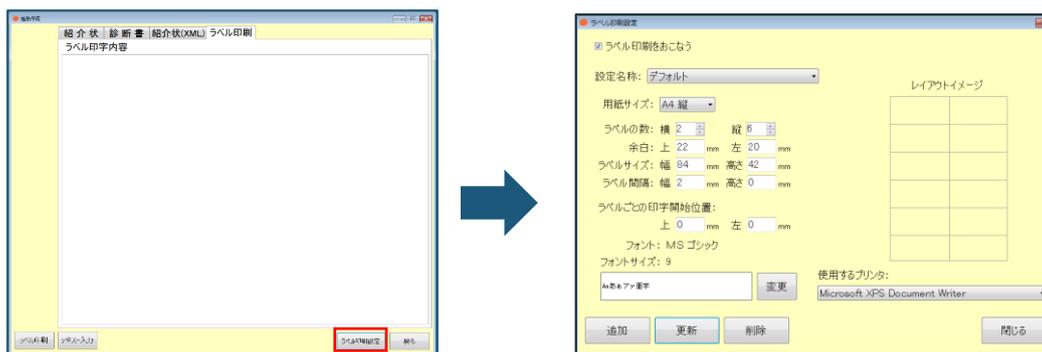
〔帳票作成〕画面の「ラベル印刷」タブが表示された状態で開きます。「ラベル印刷」タブの「ラベル印字内容」欄に入力した内容がラベルに印字されます。



〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面では、設定により〔ラベル印刷〕〔DiedAi 呼出〕および〔データ出力ツール呼出〕の各ボタンを追加することができます。



〔ラベル印刷設定〕画面は、〔帳票作成〕画面の「ラベル印刷」タブにある〔ラベル印刷設定〕ボタンから表示することができます。



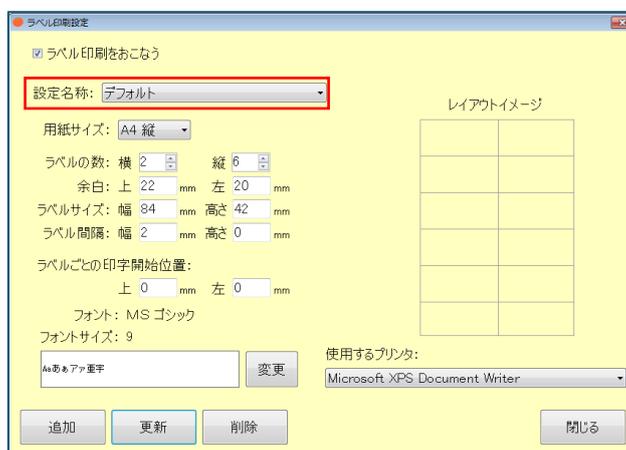
### 3-1-1 ラベル印刷設定

〔ラベル印刷設定〕画面では、印刷するラベルのフォーマットやフォント、使用するプリンタの指定等をおこないます。設定する項目は以下のとおりです。

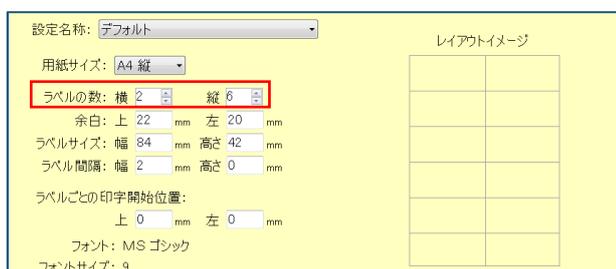
No	項目	説明
1	ラベル印刷をおこなう	ラベル印刷をおこなう場合にチェックします。
2	設定名称	ラベルのフォーマットを登録します。デフォルトとして横2枚×縦6枚のラベルフォーマットが登録されています。フォーマットは〔追加〕ボタンで複数のフォーマットを登録することができます。
3	用紙サイズ	A4サイズの横と縦のみ指定できます。
4	ラベルの数	横と縦のラベルの枚数を入力欄の「▲▼」をクリックして指定します。また、入力欄に直接数字を入力することもできます。
5	余白	用紙の余白をmm単位で指定します。上と左のそれぞれの入力欄に空けたい余白の数値を直接入力します。
6	ラベルサイズ	1枚のラベルの幅と高さ（mm単位）を指定します。
7	ラベル間隔	幅と高さを直接入力してラベルとラベルの間隔を指定します。
8	ラベルごとの印字開始位置	ラベル内の印字開始の位置を上と左からmm単位で指定します
9	常に1枚目のラベルから印字をおこなう	ラベルを、常に1枚目のラベルから印字する場合にチェックします。
10	フォント・フォントサイズ	ラベルを印字する場合のフォントの種類やフォントサイズを設定します。設定するフォントのイメージとして表示されている文字の横にある〔変更〕ボタンからおこないます。フォントは、「フォント」、文字の「スタイル」および「フォントサイズ」が指定できます。
11	レイアウトイメージ	用紙サイズとラベルの数を指定するとレイアウトイメージが表示されます。
12	使用するプリンタ	ラベルを印字するプリンタを指定します。プリンタは、登録するフォーマット毎に指定することができます。

### 3-1-1-1 ラベルフォーマットの追加

ラベルフォーマットを追加する場合は、〔ラベル印刷設定〕画面の各項目欄に追加したいラベルの情報を入力し、設定名称を登録します。用紙サイズの向きやラベルの数等フォーマット毎に調整が可能です。初期値として「デフォルト」という名称のフォーマットが登録されています。



ラベルの数を変更すると画面右側のレイアウトイメージが、入力した数値に合わせて変更されますので、イメージを確認しながら必要な枚数を入力します。

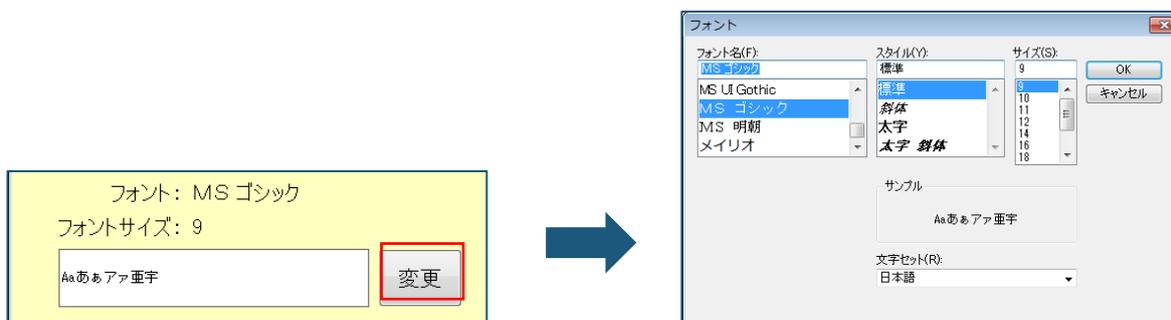


<ラベルの数 2 枚×6 枚>

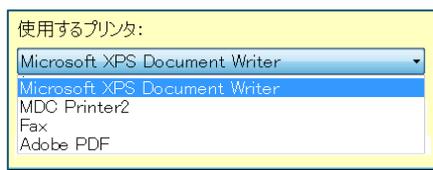


<ラベルの数 3 枚×8 枚>

フォントは〔変更〕ボタンをクリックすると〔フォント〕画面が表示されますので、スタイルや文字のサイズを設定します。



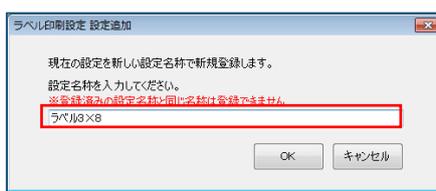
使用するプリンタには、MI\_CAN がインストールされている端末に登録されたプリンタが表示されますので、ラベルを印刷するプリンタを選択します。



登録するラベルの情報をすべて入力したら、[追加] ボタンをクリックします。



[ラベル印刷設定 設定追加] 画面が表示されます。追加するフォーマットの名称を入力して [OK] ボタンをクリックします。



確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



設定名称欄にフォーマットが追加されます。

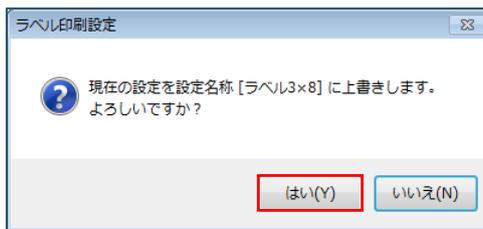


既に登録済みのフォーマットを修正する場合は、設定名称から修正するフォーマットを選択します。フォーマットの内容が表示されますので、修正する箇所を編集します。

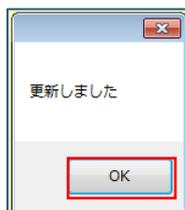
修正が完了したら、[更新] ボタンをクリックします。



確認メッセージが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。



更新の確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



ラベルのフォーマットは施設内で共通のフォーマットとなります。また、「設定名称」欄の並び順は、直前に印刷されたフォーマットが最上段に表示されます。ラベルを1枚印刷する毎に、前回印刷したラベルの次に印刷される予定のラベルが選択された状態になります。

クライアント/サーバ接続の場合は、次のような動作になります。

例えば、一方の端末で2×6のラベルフォーマットの5番目まで印刷して、他方の端末で同じ2×6のラベルフォーマットを指定して印刷すると、自動で6番目のラベルが選択された状態になっています。

ラベルの印刷開始位置は、印刷したいラベルをマウスでクリックすることで任意の場所から開始することもできます。

### 3-1-1-2 ラベル余白の調整

ラベルの余白は、使用するプリンタによって異なります。事前に試し印刷で微調整をおこなうようにしてください。

ラベル印刷設定の「余白」は下図のA点からの余白となります。

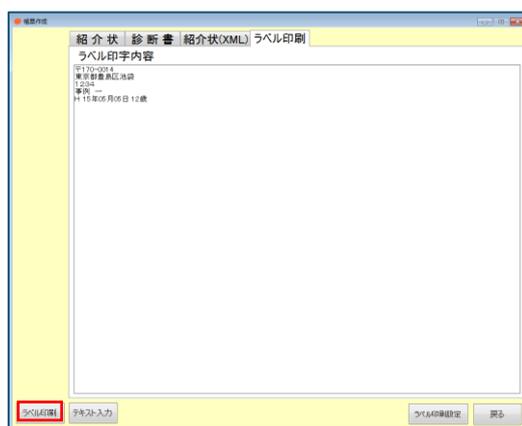


### 3-1-2 ラベル印刷

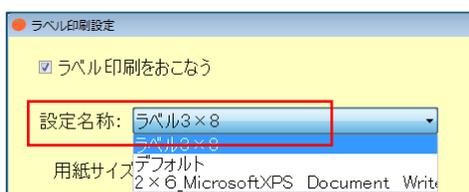
ラベルの印刷は、〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面で患者を選択後、〔ラベル印刷〕ボタンをクリックして開始します。



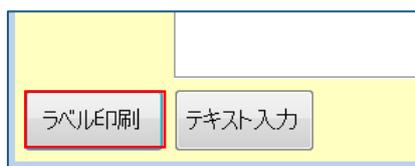
〔帳票作成〕画面の「ラベル印刷」タブが表示されたら、印刷する内容を「ラベル印字内容」欄に入力し、〔ラベル印刷設定〕ボタンをクリックします。



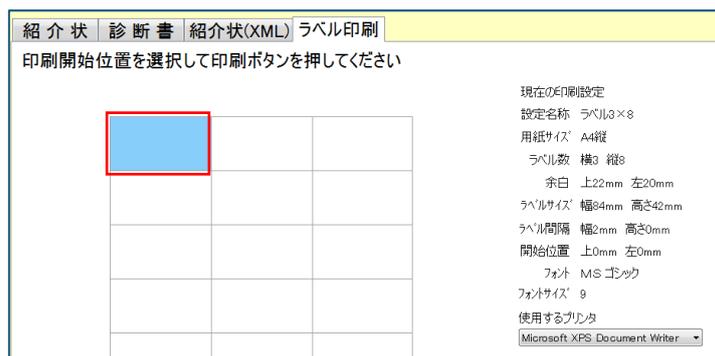
〔ラベル印刷設定〕画面が表示されますので、「設定名称」で印刷するラベルのフォーマットを選択します。設定が完了したら、〔閉じる〕ボタンで元の画面に戻ります。



「ラベル印字内容」欄に入力した内容に問題がなければ〔ラベル印刷〕ボタンをクリックします。



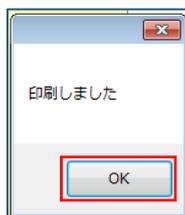
「ラベル印刷」タブに選択したフォーマットの情報が表示されます。初回印刷時は、ラベルの1枚目が選択された状態になっています。



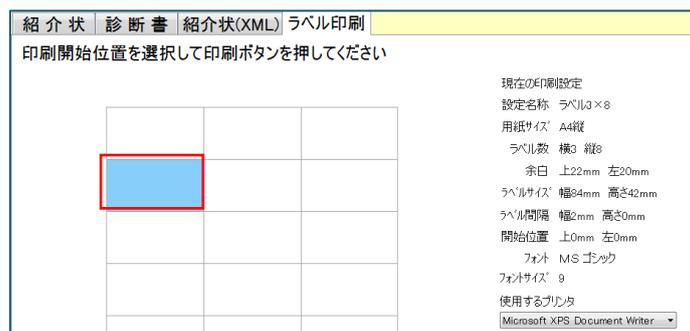
印刷するプリンタはこの画面から変更することも可能です。[ラベル印刷] ボタンをクリックして印刷を開始します。



印刷が完了すると確認メッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックします。



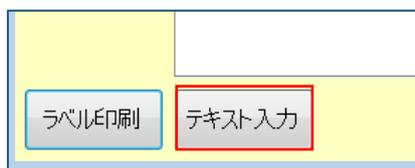
元の画面に戻ると、ラベルの2枚目が選択された状態になっています。ラベルを印刷すると、最後に印刷した次の位置のラベルが自動で選択されます。



印刷したいラベルをマウスでクリックすると、任意の位置で印刷することも可能です。



ラベルに印字する文言等の内容を変更したい場合は、[テキスト入力] ボタンをクリックして入力画面に戻り編集を行います。

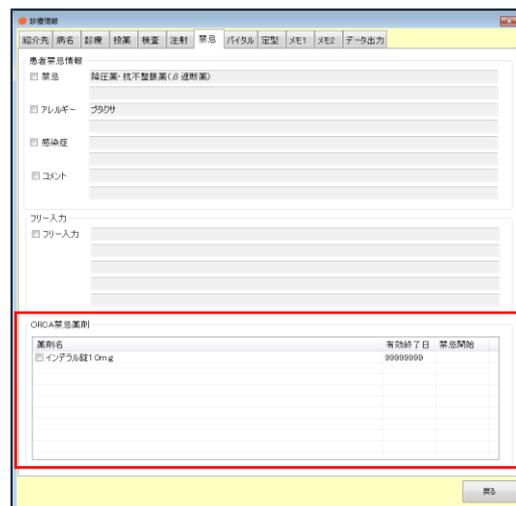


### 3-2 ORCA の禁忌薬剤表示機能

本バージョンでは、ORCA の「1 2 登録」で「禁忌薬剤 (Shift+F12)」の「禁忌薬剤一覧」に登録された薬剤が、MI\_CAN の「薬剤」タブに表示されるようになりました。この機能は ORCA と連携している場合のみ表示されます。



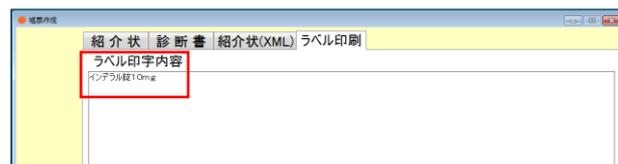
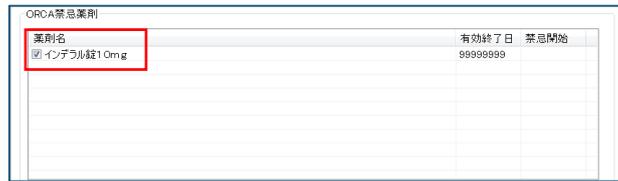
<ORCA 禁忌薬剤一覧>



<MI\_CAN 薬剤タブ>

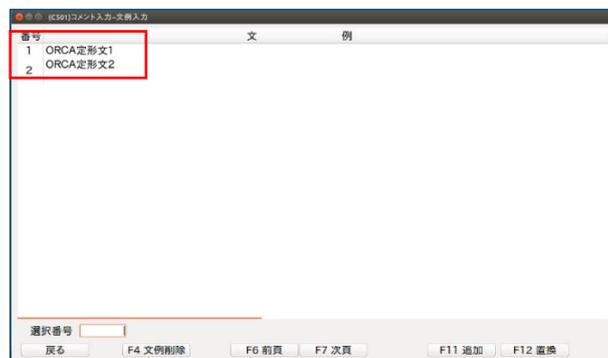
### 3-2-1 ORCA 禁忌薬剤

MI\_CAN の「禁忌」タブに取り込んだ禁忌薬剤は、「ORCA 禁忌薬剤」欄で薬剤名の先頭のチェックボックスにチェックした後、「帳票作成」画面の入力欄内でマウスをクリックすると簡単にコピーすることができます。



### 3-3 ORCA の文例取込機能

ORCA の「2 4 会計照会」で [コメント (Shift+F4)] ボタンをクリックして表示される<文例>の画面で「文例選択」に登録されている文例が、MI\_CAN の「定型」タブに表示されるようになりました。ORCA で登録した文例を、MI\_CAN で取り込むと青文字で表示され、MI\_CAN の定型文と区別されます。

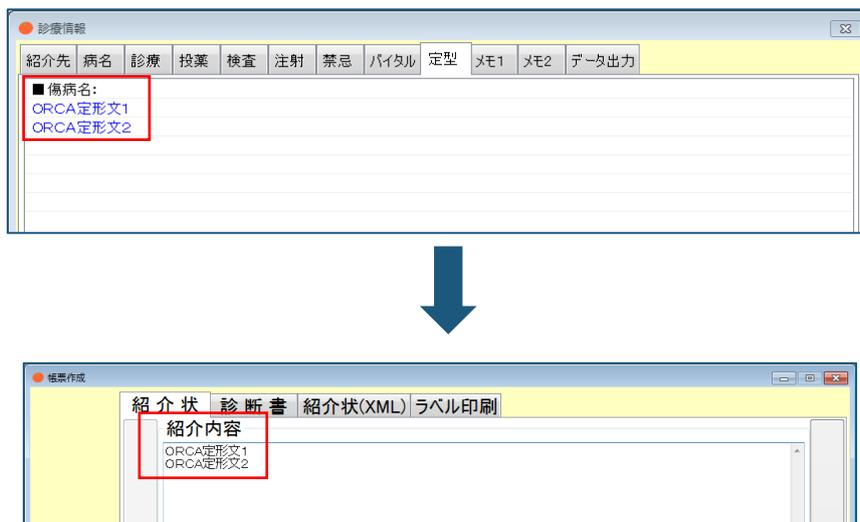


<ORCA コメント入力-文例入力画面>



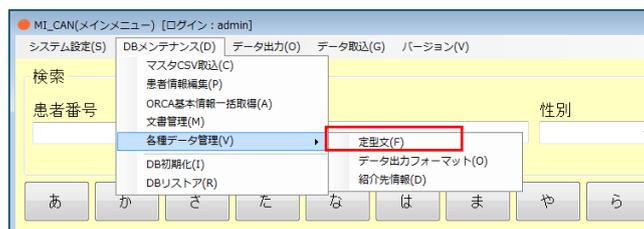
<MI\_CAN 定型タブ>

「定型」タブに取り込んだ ORCA の文例は、コピーしたい文例を選択した後、「帳票作成」画面の入力欄内でマウスをクリックすると簡単にコピーすることができます。



### 3-3-1 定型文編集

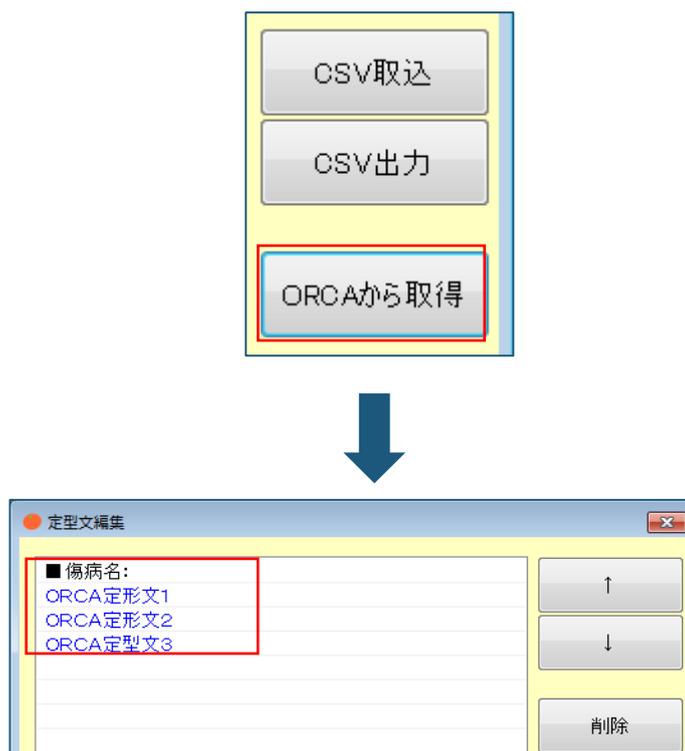
〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面の「DB メンテナンス」から「各種データ管理」へ進み「定型文」を選択します。



〔定型文編集〕画面が表示されます。本バージョンから新しく [ORCA から取得] ボタンが追加されました。〔定型文編集画面は、「定型」タブで [編集] ボタンをクリックした場合にも表示されます。



[ORCA から取得] ボタンをクリックすると、ORCA に登録されている文例が [定型文編集] 画面に取り込まれます。取り込んだ文例は青文字で表示され、MI\_CAN で作成した定型文と区別されます。



### 3-4 CSV 出力項目追加

[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面の《データ出力》から〈CSV 出力設定〉をクリックすると [CSV フォーマット作成] 画面が表示されます。



この画面では、MI\_CAN に登録されたデータの中から任意の項目を CSV 形式のファイルで出力することができます。本バージョンでは、職業、禁忌薬剤名、禁忌有効終了日（和暦）、禁忌有効終了日（西暦）、禁忌開始日（和暦）、禁忌開始日（西暦）が追加されています。

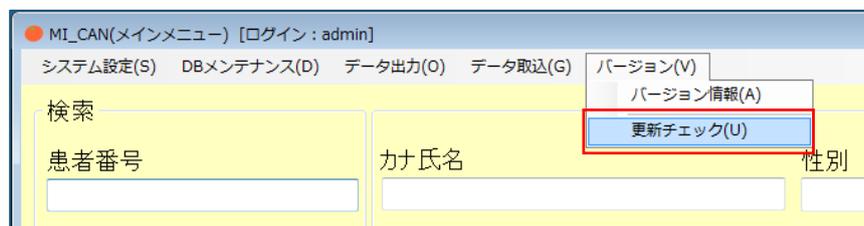
以下に MI\_CAN で出力可能な項目名を記載します。

No	項目名	N0	項目名	No	項目名	No	項目名
1	患者番号	26	感染症 2	51	主病転帰日(西暦)	76	1日当たりの喫煙本数
2	患者名	27	コメント 1	52	病棟	77	SP02
3	患者カナ名	28	コメント 2	53	保険者番号	78	自院コード
4	生年月日(和暦)	29	フリー1	54	保険種別	79	自院名称
5	生年月日(西暦)	30	フリー2	55	保険名称	80	自院郵便番号
6	年齢	31	フリー3	56	保険記号	81	自院住所 1
7	年齢(歳月)	32	フリー4	57	保険番号	82	自院住所 2
8	性別(数字)	33	フリー5	58	適用開始年月日	83	自院電話番号
9	性別(男女)	34	禁忌薬剤名	59	適用終了年月日	84	自院 FAX 番号
10	郵便番号	35	禁忌有効終了日(和暦)	60	公費名称	85	医師名
11	住所 1	36	禁忌有効終了日(西暦)	61	負担者番号	86	紹介先種別
12	住所 2	37	禁忌開始日(和暦)	62	受給者番号	87	紹介先医療機関
13	電話番号 1	38	禁忌開始日(西暦)	63	公費適用開始年月日	88	紹介先診療科
14	電話番号 2	39	入院日(和暦)	64	公費適用終了年月日	89	紹介先医師
15	連絡先郵便番号	40	入院日(西暦)	65	介護保険番号	90	紹介先電話番号
16	連絡先住所 1	41	退院日(和暦)	66	被保険者番号	91	紹介先 FAX 番号
17	連絡先住所 2	42	退院日(西暦)	67	要介護度	92	紹介先メールアドレス
18	連絡先電話番号 1	43	入院料	68	バイタル登録日	93	紹介先備考
19	連絡先電話番号 2	44	主病名	69	身長	94	紹介先検査 1
20	職業	45	主病名コード	70	体重	95	紹介先検査 2
21	禁忌 1	46	主病開始日(和暦)	71	腹囲	96	紹介先検査 3
22	禁忌 2	47	主病開始日(西暦)	72	収縮期血圧	97	紹介先検査 4
23	アレルギー1	48	主病慢性区分	73	拡張期血圧	98	紹介先検査 5
24	アレルギー2	49	主病転帰区分	74	体温		
25	感染症 1	50	主病転帰日(和暦)	75	喫煙		

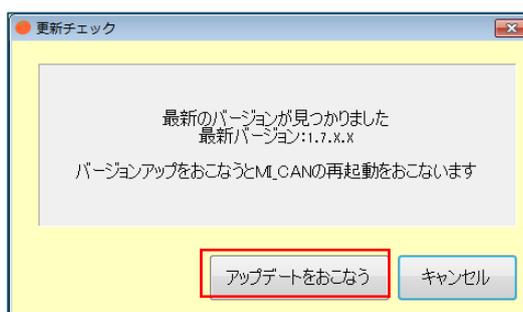
### 3-5 クライアントからのオンラインアップデート

サーバ/クライアント接続でMI\_CANを使用している場合は、それぞれの端末でアップデートをおこなってください。インターネットに接続可能な環境であれば、オンラインアップデートが可能です。

バージョンアップが必要かどうかは、[MI\_CAN (メインメニュー) ] 画面で「バージョン」から「更新チェック」を選択します。



バージョンアップが可能な場合はメッセージが表示されます。[アップデートをおこなう] ボタンをクリックします。



アップデートが完了するとMI\_CANが再起動します。再度ログインしてバージョン情報を確認します。



## 【 4 】 MI\_CAN ver1.8.0 追加機能 (H28.08.18)

MI\_CAN ver1.8.0 で追加された機能について説明します。

本バージョンでは、MI\_CAN の機能追加の他、MI\_CAN、MICAN\_TERMINAL (MI\_CAN データ出力機能) 及び DataMonitor の仕様が若干変更されています。

なお、従来の機能に関する操作については、「MI\_CAN 操作マニュアル(詳細版)」を参照してください。

### 【追加された主な機能】

項目	No	追加機能	説明
MI_CAN	1	メニューに「転記設定」を追加	病名の転記時に開始日の日付を付加するかどうかの設定を追加しました。
	2	病名に原疾患と合併症を追加	日医標準レセプトソフト (以下「日レセ」という) からの病名取得項目に主病原疾患と主病合併症の項目を追加しました。
	3	CSV 出力に原疾患と合併症を追加	取得した主病原疾患と主病合併症を CSV 出力の項目に追加してデータを出力できるようにしました。
	4	バイタルに更新機能を追加	既に登録済みのバイタルの内容を修正又は追記するための [更新] ボタンを追加しました。

### 【仕様変更項目】

項目	No	仕様変更	説明
MI_CAN	1	診療行為の剤点数を取得	日レセ又はレセ電ファイルからのデータ取得時に、診療行為の剤点数を取得するようにしました。
	2	画像のコメントが長すぎる場合に警告メッセージを表示	画像のコメント欄に入力するコメントが長すぎる場合に警告メッセージを表示するようにしました。
MICAN_TERMINAL (MI_CAN データ出力機能)	3	院内、院外の判定を剤点数で判定するように変更	院内処方と院外処方の判定を取得した剤点数で判定するように変更しました。
DataMonitor	4	取得中に表示される文言を変更	DataMonitor を使って日レセ又はレセ電ファイルから定期的にデータを自動取得する際に表示していた文言を変更しました。
	5	起動後および設定変更後に待ち時間無しで取得をおこなうように変更	DataMonitor の起動時、又は DataMonitor の [設定] 画面で設定内容を変更後、直ちにデータの取得を実行するように変更しました。

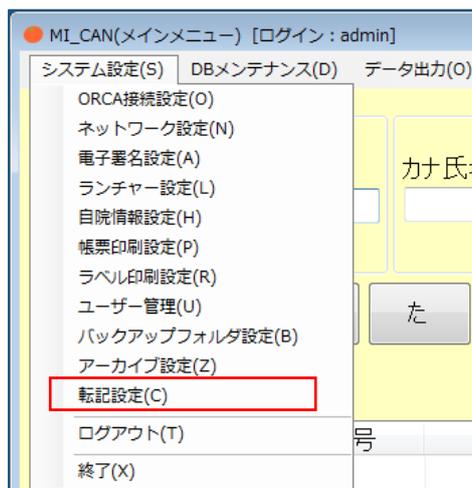
## 4-1 MI\_CAN の追加機能

MI\_CAN で追加された項目を機能別に説明します。

### 4-1-1 転記設定

帳票作成時に傷病名を転記する場合、開始日も合わせて転記するかどうかを設定する機能を追加しました。

[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面のシステム設定から「転記設定」を選択します。



[転記設定] 画面が表示されます。帳票作成時に傷病名の開始日を転記しない場合は、「病名転記時に日付を付加しない」のチェックボックスにチェックして [OK] ボタンをクリックします。開始日も合わせて転記する場合は、チェックボックスにチェックしない状態で [OK] ボタンをクリックして登録を反映するか、もしくは [キャンセル] ボタンをクリックして元の画面に戻ります。

※「すべての転記時に最終行の改行を付加しない」のチェックボックスは現在使用できません。



帳票を作成する画面では、「病名」タブに表示された傷病名には開始日が付加されています。〔帳票作成〕画面に転記すると、〔転記設定〕画面のチェックボックスの状態が転記内容に反映されます。

No	主病名	疑	開始日	転帰	転帰日
1	不整脈		2014/04/07		
2	急性咽頭炎		2014/04/15		
3	● 2型糖尿病		2014/02/03		
4	糖尿病網膜症		2014/03/09		
5	高血圧症		2014/02/03		

●チェックボックスにチェックしない場合

●チェックボックスにチェックする場合

#### 4-1-2 病名に原疾患と合併症を追加

日レセの「2.2 病名」に登録された「原疾患区分」と「合併症区分」を取得してMI\_CANの「病名」タブに表示する機能を追加しました。

●日レセ〔病名〕登録画面

No	主病名	疑	開始日	転帰	転帰日	原疾患	合併症
1	不整脈		2014/04/07				
2	急性咽頭炎		2014/04/15				
3	● 2型糖尿病		2014/02/03			ア	
4	糖尿病網膜症		2014/03/09			ア	アの合併症
5	高血圧症		2014/02/03				

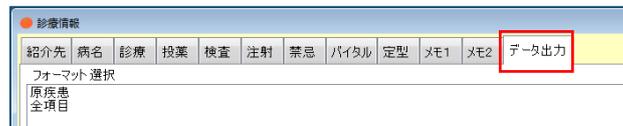
●MI\_CAN〔診療情報〕画面

### 4-1-3 CSV 出力項目追加

MI\_CAN で出力可能な項目を追加しました。〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面の《データ出力》から〈CSV 出力設定〉をクリックすると〔CSV フォーマット作成〕画面が表示されます。



この画面で作成したフォーマットに設定された任意の項目データを CSV 形式のファイルとして出力することができます。データの出力は、〔診療情報〕画面の「データ出力」タブから実行します。本バージョンでは、これまでの出力可能項目に加え、主病原疾患、主病合併症の 2 項目が追加されています。



出力した CSV ファイルは、初期値として MI\_CAN のインストールフォルダの以下のフォルダに出力されます。

【MI\_CAN インストールフォルダ】 C:¥MICAN\_DATA¥csv



	10	20	30	40	50	60	70	80	90
1	患者番号,	患者名,	患者力ナ名,	生年月日(西暦),	性別(男女),	主病名,	主病原疾患,	主病合併症↓	
2	00006,事例	六,	ジレイ	ロク,	1934年07月12日,	女,	2型糖尿病、糖尿病網膜症	ア、ア、アの合併症↓	
3	[EOF]								

【MI\_CAN : CSV 出力データ全項目】

No	項目名	No	項目名	No	項目名	No	項目名
1	患者番号	26	感染症 2	51	主病転帰日(西暦)	76	体温
2	患者名	27	コメント 1	52	主病原疾患	77	喫煙
3	患者カナ名	28	コメント 2	53	主病合併症	78	1日当たりの喫煙本数
4	生年月日(和暦)	29	フリー1	54	病棟	79	SP02
5	生年月日(西暦)	30	フリー2	55	保険者番号	80	自院コード
6	年齢	31	フリー3	56	保険種別	81	自院名称
7	年齢(歳月)	32	フリー4	57	保険名称	82	自院郵便番号
8	性別(数字)	33	フリー5	58	保険記号	83	自院住所 1
9	性別(男女)	34	禁忌薬剤名	59	保険番号	84	自院住所 2
10	郵便番号	35	禁忌有効終了日(和暦)	60	適用開始年月日	85	自院電話番号
11	住所 1	36	禁忌有効終了日(西暦)	61	適用終了年月日	86	自院 FAX 番号
12	住所 2	37	禁忌開始日(和暦)	62	公費名称	87	医師名
13	電話番号 1	38	禁忌開始日(西暦)	63	負担者番号	88	紹介先種別
14	電話番号 2	39	入院日(和暦)	64	受給者番号	89	紹介先医療機関
15	連絡先郵便番号	40	入院日(西暦)	65	公費適用開始年月日	90	紹介先診療科
16	連絡先住所 1	41	退院日(和暦)	66	公費適用終了年月日	91	紹介先医師
17	連絡先住所 2	42	退院日(西暦)	67	介護保険番号	92	紹介先電話番号
18	連絡先電話番号 1	43	入院料	68	被保険者番号	93	紹介先 FAX 番号
19	連絡先電話番号 2	44	主病名	69	要介護度	94	紹介先メールアドレス
20	職業	45	主病名コード	70	バイタル登録日	95	紹介先備考
21	禁忌 1	46	主病開始日(和暦)	71	身長	96	紹介先検査 1
22	禁忌 2	47	主病開始日(西暦)	72	体重	97	紹介先検査 2
23	アレルギー1	48	主病慢性区分	73	腹囲	98	紹介先検査 3
24	アレルギー2	49	主病転帰区分	74	収縮期血圧	99	紹介先検査 4
25	感染症 1	50	主病転帰日(和暦)	75	拡張期血圧	100	紹介先検査 5

※赤文字が新規追加項目

#### 4-1-4 バイタルに更新ボタンを追加

既に登録済みのバイタルデータの修正や内容を追加するための [更新] ボタンが追加されました。 [更新] ボタンは、 [診療情報] 画面の「バイタル」タブに追加されています。



バイタルの修正や内容を追加する場合は、「バイタル」タブ右下にある「更新」ボタンから行います。

バイタルの更新処理を行う場合は、修正又は内容を追加したいバイタルをマウスでクリックします。

測定日時	身長	体重	BMI	腹囲	血圧H/L	体温	喫煙
<input type="checkbox"/> 2016/07/15 09時	158cm	45kg	18.03				なし

青く反転された状態で「更新」ボタンをクリックします。

選択したバイタルデータが表示されますので内容を更新し、「登録」ボタンをクリックします。確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

Figure 1: 'バイタル参照' window showing input fields for 身長 (158 cm), 体重 (45 kg), BMI (18.03), 腹囲, 血圧 H/L, 体温, 喫煙 (なし), and SPO2.

Figure 2: 'バイタル参照' window with the '登録' button highlighted in red.

Figure 3: 'バイタル登録' dialog box with the message '登録しました' and the 'OK' button highlighted in red.

「バイタル」タブで該当データのチェックボックスにチェックして表示される画面では、内容の修正ができませんので注意してください。

Figure 4: '診療情報' window with the 'バイタル' tab selected. The checkbox for the 2016/07/15 09時 entry is checked.

Figure 5: 'バイタル参照' window with the '戻す' button highlighted in red. A callout bubble indicates '入力できない' (Cannot input).

## 4-2 仕様変更

本バージョンでは、MI\_CAN の機能が追加された他に、仕様も若干変更されています。

仕様は、MI\_CAN、MICAN\_TERMINAL (MI\_CAN データ出力機能) 及び DataMonitor でそれぞれ変更となっています。

### 4-2-1 MI\_CAN の仕様変更

MI\_CAN で変更された仕様について説明します。

#### 4-2-1-1 診療行為の剤点数を取得

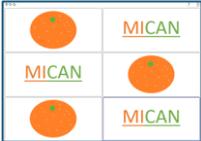
MI\_CAN の内部的な仕様変更に伴い、日レセからのデータ取得、又は電子レセプトファイルからのデータ取得時に診療行為の剤点数を取得するようにしました。

#### 4-2-1-2 画像のコメントが長すぎる場合に警告メッセージを表示

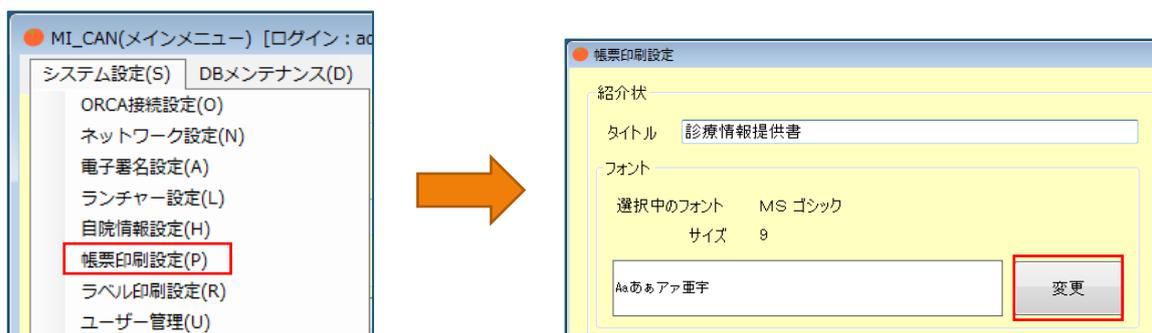
画像のコメント欄に入力するコメントが長すぎる場合に警告メッセージを表示するようにしました。コメント欄に入力できるコメントの文字数の制限は画像 1、画像 2、画像 6 でそれぞれ異なります。

入力可能な文字数の目安は以下のとおりです。フォントサイズを変更すると、入力可能な文字数が変わります。

【フォント：MS ゴシック、フォントサイズ：全角 12 ポイントの場合】

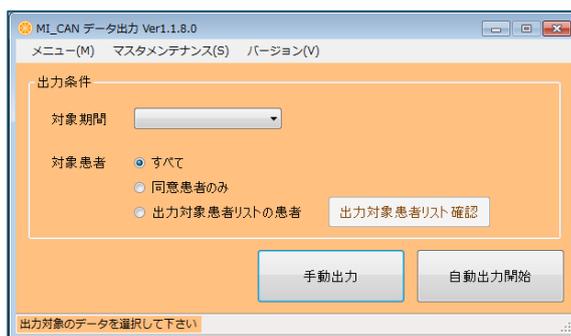
画像	入力可能な文字数	表示される警告メッセージ	
画像 1 	440 文字、10 行まで		コメントが切れる可能性があります。フォントサイズ等を調整してください。
画像 2 	上下とも 88 文字、2 行まで		2 枚目の画像またはコメントが切れる可能性があります。フォントサイズ等を調整してください。
画像 6 	308 文字、7 行まで		コメントが切れる可能性があります。フォントサイズ等を調整してください。

フォントサイズの変更は、[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面の「システム設定」から「帳票印刷設定」を選択し紹介状のフォントで「変更」ボタンをクリックして表示される画面からサイズを変更します。MI\_CAN で作成する帳票全体に反映されますのでご注意ください。



#### 4-2-2 MICAN\_TERMINAL (MI\_CAN データ出力機能) の仕様変更

MICAN\_TERMINAL (MI\_CAN データ出力機能) で変更された仕様について説明します。

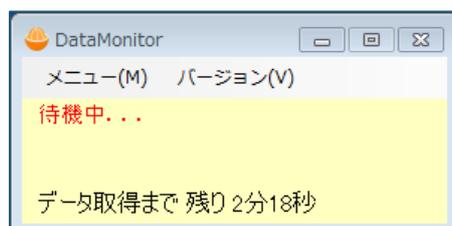


##### 4-2-2-1 院内、院外の判定

MICAN\_TERMINAL (MI\_CAN データ出力機能) から処方データを入力する場合に、院内処方もしくは院外処方を判定するために、MI\_CAN の仕様変更で本バージョンから取得するようになった剤点数で判定するようになりました。

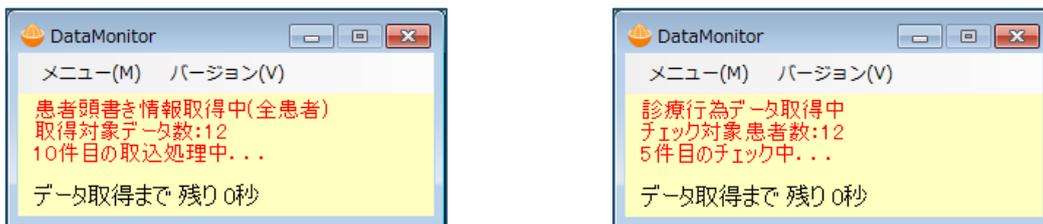
#### 4-2-3 DataMonitor の仕様変更

DataMonitor で変更された仕様について説明します。



#### 4-2-3-1 取得中に表示される文言を変更

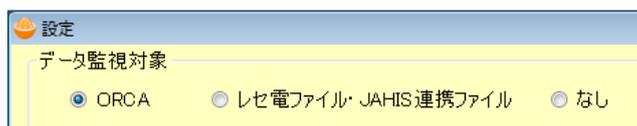
DataMonitor を起動後、日レセ又は電子レセプトファイルから定期的にデータの自動取得を行う場合に表示されていたメッセージの文言を変更しました。



<DataMonitor メッセージ 表示例>

#### 4-2-3-2 起動後及び設定変更後に待ち時間無しでデータ取得

DataMonitor の〔設定〕画面で日レセ又は電子レセプトファイルからデータを取得するように設定している場合に、DataMonitor を起動、もしくは設定内容を変更した直後に監視対象データを取得するよう変更しました。



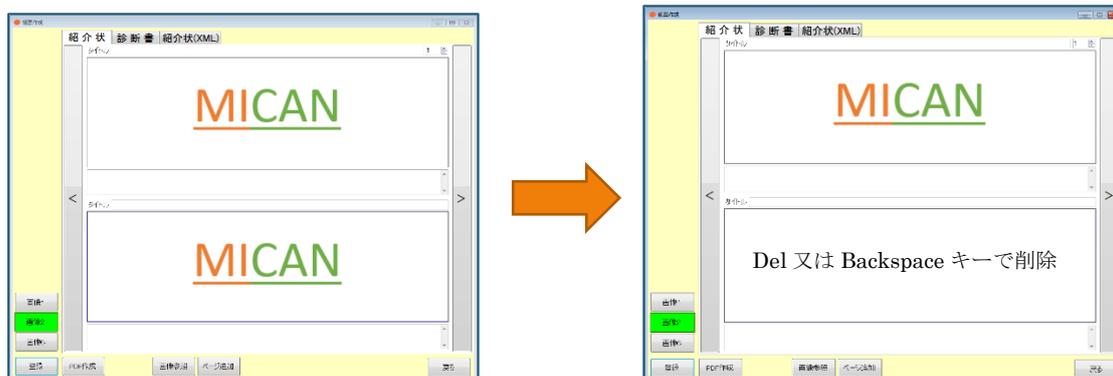
### 4-3 補足

「MI\_CAN 操作マニュアル(詳細版)」に記載されていない操作について補足します。

#### 4-3-1 添付画像の削除

MI\_CAN に添付した画像の削除方法について説明します。

画像貼付欄に貼付した画像を削除する場合は、削除したい画像をクリックし、キーボードの [De1] キー又は [Backspace] キーを押下します。



## 【5】 MI\_CAN ver1.8.5 追加機能 (H28.10.20)

MI\_CAN ver1.8.5 で追加された機能について説明します。

本バージョンでは、MI\_CAN の機能追加の他、仕様変更及び不具合の修正が行われています。なお、従来の機能に関する操作については、「MI\_CAN 操作マニュアル(詳細版)」を参照してください。

### 【追加された主な機能】

項目	No	追加機能	説明
MI_CAN	1	帳票(PDF)出力時、URL とフォルダを同時に開く設定を追加 (MEDPost 連携設定)	MEDPost (文書交換サービス) 連携時に、MI_CAN で帳票 (PDF) 出力後、MEDPost の医師資格証確認画面と PDF 出力先フォルダを同時に表示させる。 ※本機能を使用する場合は、インターネットに接続可能な環境が必要です。 ※MEDPost は、インターネットエクスプローラ (IE) で動作します。
	2	PDF 署名印影をユーザー毎に設定する機能を追加	SignedPDF Client ORCA <sup>※1</sup> により実施した PDF 署名の印影をログインユーザー毎に変更可能とする。

### 【仕様変更項目】

項目	No	仕様変更	説明
MI_CAN	1	紹介先医療機関名のみ出力 (PDF、CSV)	紹介状作成で医師が選択されていない場合は、紹介先医療機関名のみ出力する (PDF、CSV)。
DataMonitor	2	データモニタの SQL 構文の修正	ORCA のクラウド化に合わせて ORCA データベースへ発行する SQL 構文を修正。

### 【不具合修正】

項目	No	不具合修正	説明
MI_CAN	1	病名転記時(日付なし)の半角スペースの削除	「転記設定」で「病名転記時に日付を付加しない」のチェックボックスにチェックしている場合に、転記後の病名の後ろに半角スペースが入っていた不具合を修正。
	2	ネットワーク設定時、定型タブ内の内容が正常に表示されない不具合を修正	「ネットワーク設定」でクライアント・サーバ環境を設定している場合に、サーバ側で設定した定型文が、クライアント側の端末に反映されず、都度更新が必要となる不具合を修正。
	3	ランチャー設定のフォルダ指定時のエラー対策	ランチャー設定時、実行ファイル欄にフォルダを指定するとエラーとなる不具合を修正。

※1) SignedPDF Client ORCA は、MI\_CAN で出力した帳票 (PDF) に医師資格証を用いてタイムスタンプ付き電子署名を付与することができる有料のソフトウェアです。(販売元/問合せ先：日本医師会 ORCA 管理機構株式会社)

## 5-1 MI\_CAN の追加機能

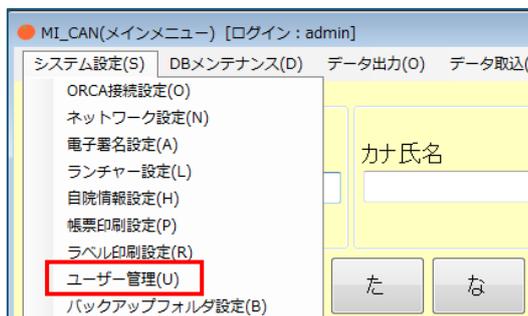
MI\_CAN で追加された機能を説明します。本バージョンより日本医師会 ORCA 管理機構の「MEDPost（文書交換サービス）（以下 MEDPost という）」と MI\_CAN を連携する機能が追加されています。

### 5-1-1 帳票 (PDF) 出力時、URL とフォルダを同時に開く設定を追加

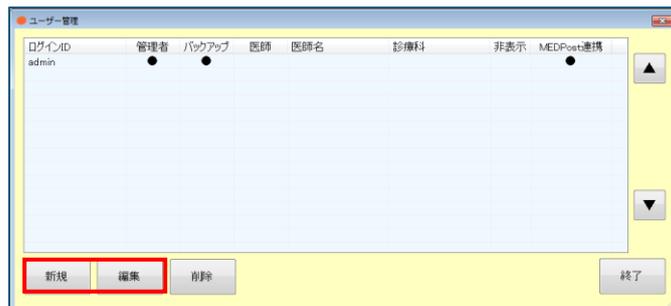
MI\_CAN と MEDPost を連携すると、MI\_CAN を使って作成した電子署名付きの帳票（PDF）出力後に、MEDPost のサイトと出力ファイルの保存先フォルダを同時に表示することができます。この機能を使うことにより MI\_CAN で作成した帳票（PDF）を一連の操作で連携先施設へ送信することができるようになります。設定は、〔MI\_CAN（メインメニュー）〕画面のシステム設定にある「ユーザー管理」と「MEDPost 連携フォルダ設定」で行います。

#### 5-1-1-1 ユーザー管理の設定

〔MI\_CAN（メインメニュー）〕画面のシステム設定から「ユーザー管理」を選択します。ユーザー管理では、MEDPost 連携を、ユーザー毎に設定します。



「ユーザー管理」を選択すると、〔ユーザー管理〕画面が表示されます。連携設定を行うユーザーを選択して〔編集〕ボタンをクリックするか、未登録のユーザーを新規に登録して連携設定を行う場合は、〔新規〕ボタンをクリックします。



〔ユーザー更新〕画面又は新規登録の場合は、〔ユーザー登録〕画面が表示されます。必要な項目が入力されていることを確認後、「MEDPost 連携ユーザ」のチェックボックスにチェックして〔更新〕ボタン又は〔登録〕ボタンをクリックします。

<ユーザー更新画面>

<ユーザー登録画面>

確認メッセージが表示されますので〔OK〕ボタンをクリックします。MEDPost 連携を利用するユーザーは、すべて同様の設定を行います。

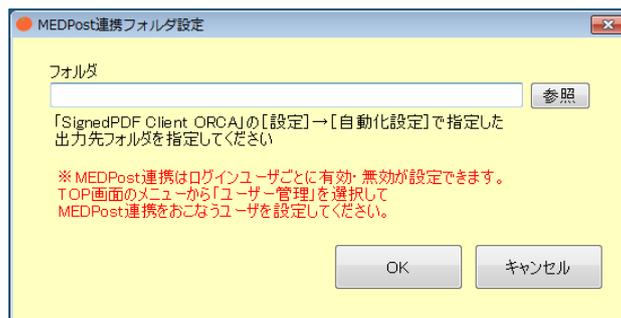
設定完了後は、〔ユーザー管理〕画面でMEDPost 連携の設定状況を確認することができます。

ログインID	管理者	バックアップ	医師	医師名	診療科	非表示	MEDPost連携
admin	●	●	●	テスト 医師	内科		●
1111	●		●	美柑 花子	内科		
2222	●		●	美柑 太郎	整形外科		

### 5-1-1-2 MEDPost 連携フォルダの設定

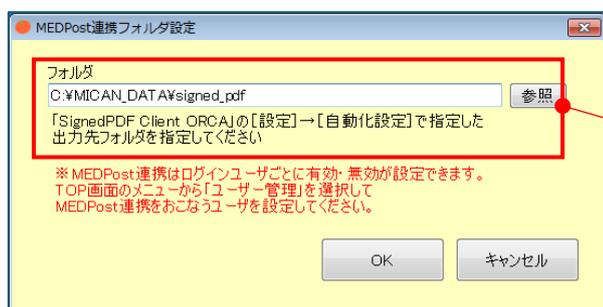
〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面のシステム設定から「MEDPost 連携フォルダ設定」を選択します。

〔MEDPost 連携フォルダ設定〕画面が表示されます。

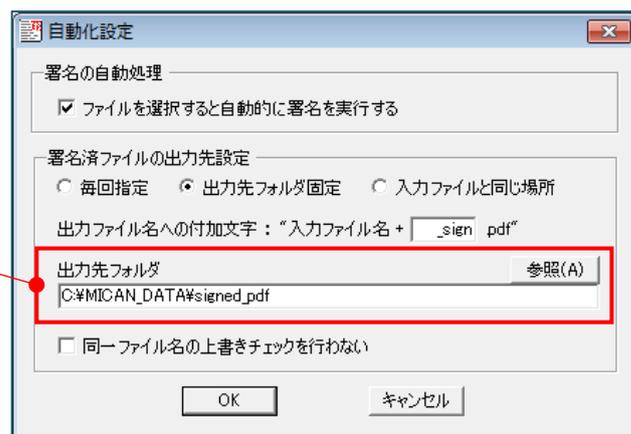


〔MEDPost 連携フォルダ設定〕画面の「フォルダ」欄にはSignedPDF Client ORCAの〔設定〕画面で、〔自動化設定〕ボタンをクリックして表示される〔自動化設定〕画面の「出力先フォルダ」欄に入力したフォルダを指定します。

フォルダの指定は、「フォルダ」欄の右側にある〔参照〕ボタンをクリックして表示される〔フォルダーの参照〕画面から行います。



<MI\_CAN MEDPost 連携フォルダ設定画面>



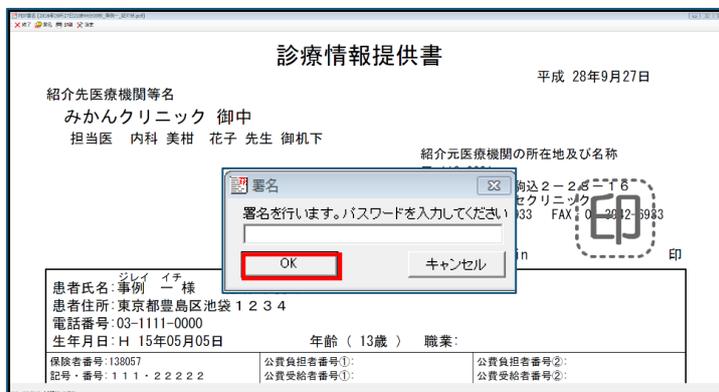
<SignedPDF Client ORCA 自動化設定画面>

入力が完了したら〔OK〕ボタンをクリックします。

### 5-1-1-3 MEDPost 連携ユーザーの帳票作成処理

MEDPost 連携ユーザーが MI\_CAN で帳票を作成する場合について説明します。

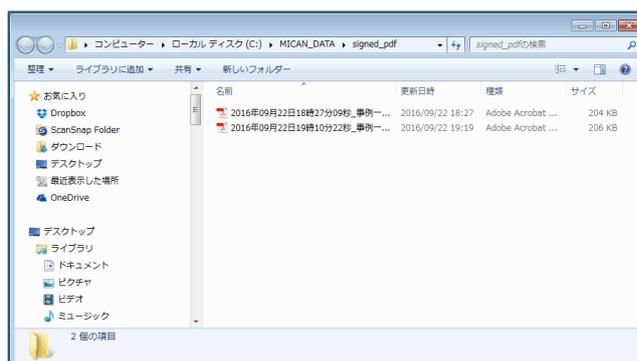
MI\_CAN の帳票作成画面で [PDF 作成] ボタンをクリックすると、通常通りに自動で SignedPDF Client ORCA が起動しパスワードを入力する [署名] 画面が表示されます。4桁の暗証番号を入力し [OK] ボタンをクリックします。



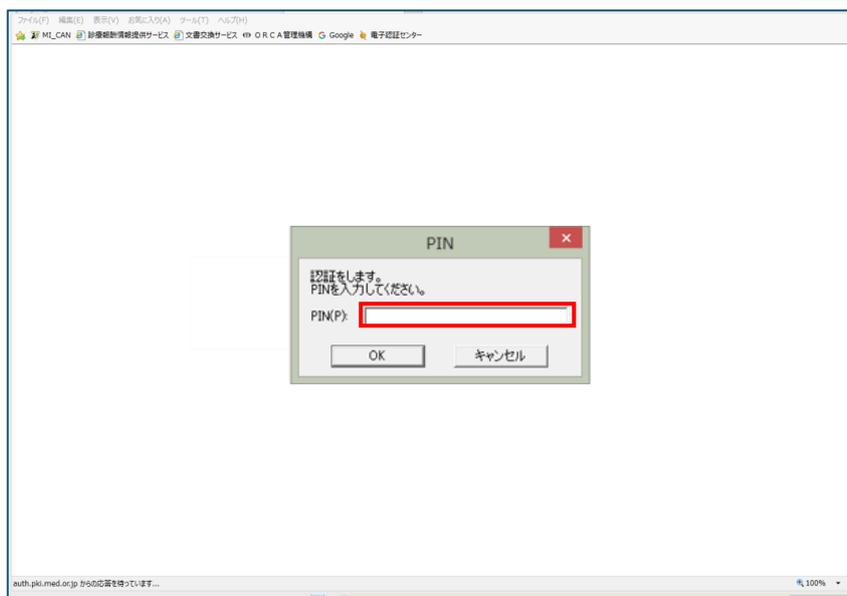
作成した PDF に電子署名が付与されます。



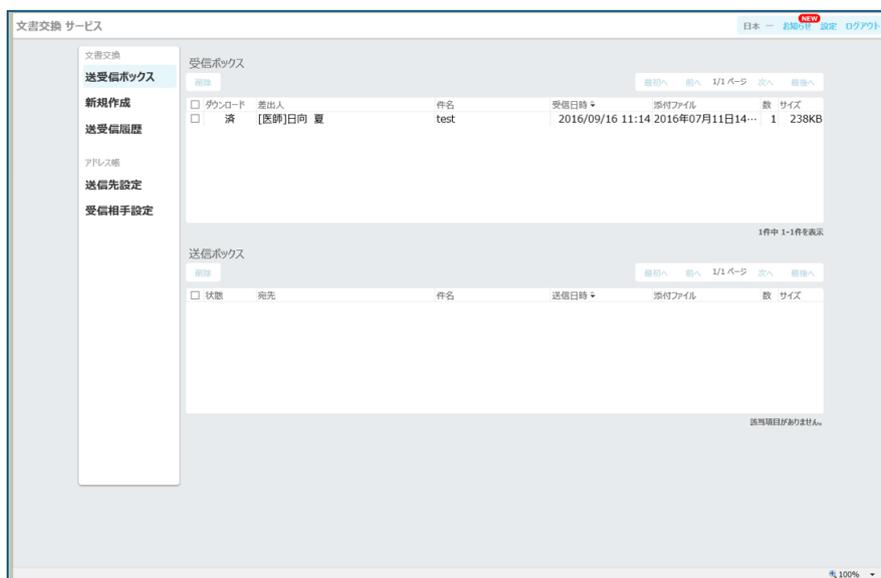
PDF を閉じると、MEDPost のサイト（文書交換サービス）と MI\_CAN で指定した PDF 出力先フォルダが同時に表示されます。MEDPost のサイトでは、医師資格証の確認画面が表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



PINを入力する〔PIN〕画面が表示されます。MI\_CANの署名時に入力したパスワードと同じ4桁の暗証番号を入力して〔OK〕ボタンをクリックします。



文書交換サービスの画面が表示されます。



文書交換サービスの利用方法及び操作等の詳細は、別途日本医師会 ORCA 管理機構から提供される文書交換サービスの案内及び操作マニュアルを参照してください。

## 5-1-2 PDF 署名印影をユーザー毎に設定する機能を追加

MI\_CAN と SignedPDF Client ORCA を連携して、MI\_CAN で作成した帳票（PDF）に電子署名を付与すると指定の位置に印影が表示されます。

本バージョンでは、この印影のデザインをユーザー毎に変更して設定できる機能を追加しました。本機能を利用する場合は、MI\_CAN と SignedPDF Client ORCA の両方に設定が必要です。また使用する印影の画像データを予め用意し、任意のフォルダに保存しておきます。

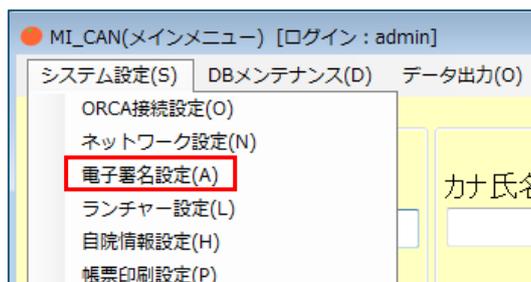
SignedPDF Client ORCA は単独で起動することができません。必ず [MI\_CAN (メインメニュー)] 画面のシステム設定から「電子署名設定」を選択して表示される [電子署名設定] 画面で連携設定を行っておいください。



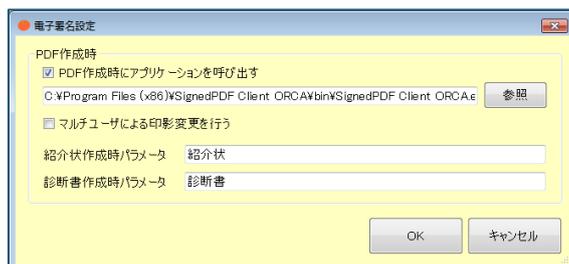
### 5-1-2-1 電子署名設定

電子署名をユーザー毎に変更する場合の設定を説明します。

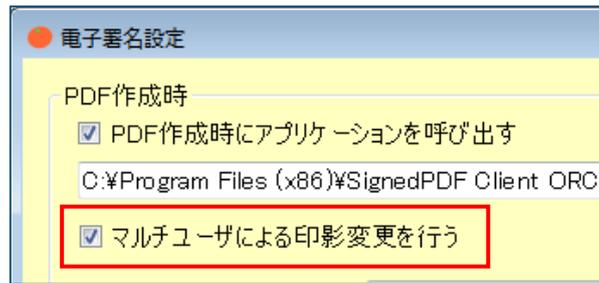
[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面のシステム設定から「電子署名設定」を選択します。



[電子署名設定] 画面が表示されます。



「マルチユーザによる印影変更を行う」のチェックボックスにチェックして [OK] ボタンをクリックします。

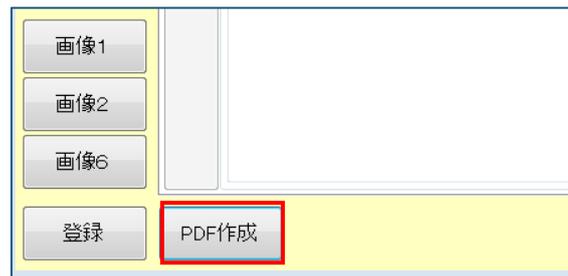


### 5-1-2-2 SignedPDF Client ORCA の設定

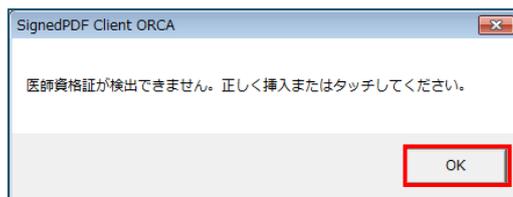
SignedPDF Client ORCA 側の設定について説明します。

ユーザー毎に印影を設定するために、まず MI\_CAN の帳票作成画面で帳票を作成して SignedPDF Client ORCA を起動します。このとき、帳票の内容は特に記載する必要はありません。また、設定には医師資格証は使用しません。

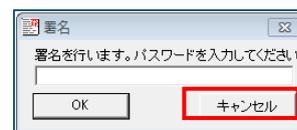
MI\_CAN の [帳票作成] 画面で [PDF 作成] ボタンをクリックします。



紹介先が選択されていない旨のメッセージや、ファイルの添付を行うかの確認メッセージが表示される場合がありますが、そのまま PDF が表示されるまで処理を進めます。医師資格証をタッチするよう促すメッセージが表示される場合は [OK] ボタンを、医師資格証をカードリーダーにセットしていて、パスワードを入力する画面が表示される場合は、[キャンセル] ボタンをそれぞれクリックします。



< 医師資格証をセットしていない場合 >

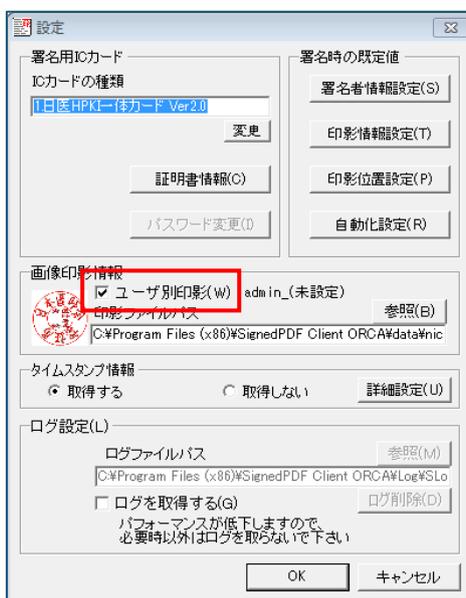


< 医師資格証をセットしている場合 >

PDFが表示されたら、画面上部のメニューから「設定」をクリックします。



SignedPDF Client ORCAの「設定」画面が表示されます。画像印影情報の「ユーザ別印影」のチェックボックスにチェックされていることを確認します。



「ユーザ別印影」のチェックボックスにチェックされている場合は、現在ログインしているユーザーのログインユーザー名が表示されています。チェックを外すとログインユーザー名は非表示になります。

ログインユーザー名の右側が「(未設定)」となっている場合は、印影は設定されていません。「印影ファイルパス」右側の「参照」ボタンをクリックして印影の画像が保存されているフォルダを開きます。

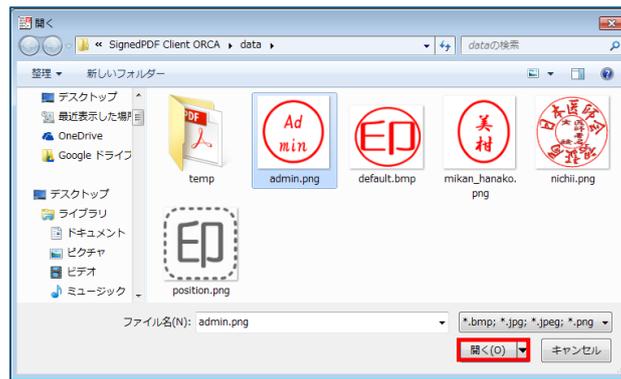


<チェックあり>

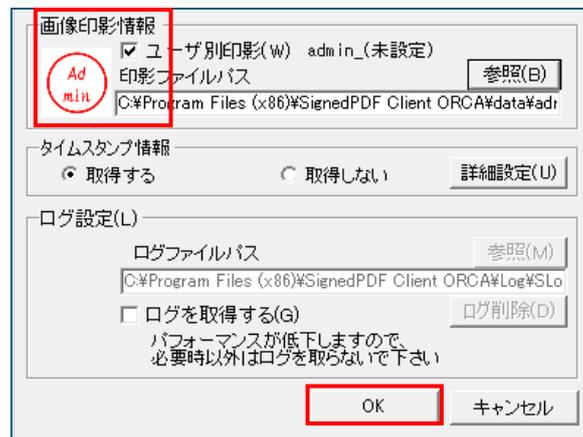


<チェックなし>

使用する印影の画像ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。設定可能な画像ファイルは、「.bmp」「.jpg」「.jpeg」及び「.png」のいずれかの形式のファイルです。



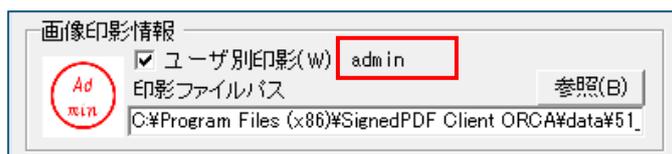
「画像印影情報」の画像が指定した印影に変更されます。このままでは、設定が反映されていませんので、[OK] ボタンをクリックします。



確認メッセージが表示されます。[はい] ボタンをクリックします。



〔設定〕画面を再度表示すると「ユーザー別印影」欄のログインユーザー名の右側に表示されていた「（未設定）」が消え、ログインユーザー名のみ表示された状態になります。

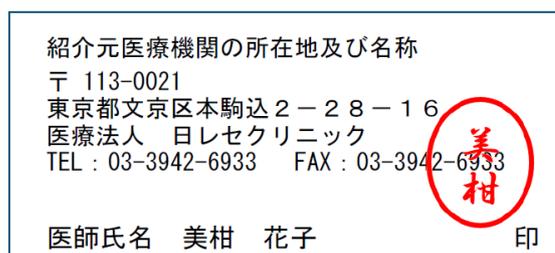
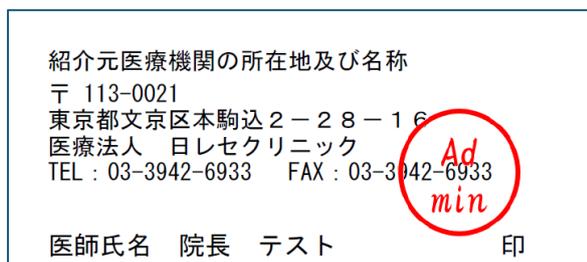


設定は以上です。印影を変更して使用するユーザー毎に、一旦MI\_CANを終了し再起動後、ログインユーザーを変更して、同様に印影を設定します。

### 5-1-2-3 ユーザー別帳票作成

ユーザー別に印影の設定が完了したら医師資格証を使用して、通常通りに帳票を作成します。

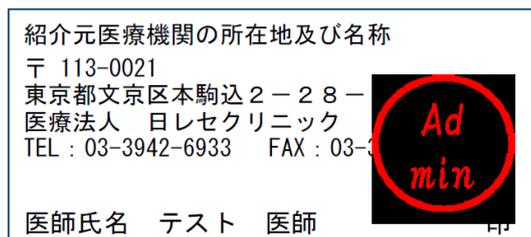
作成された帳票には、ログインユーザー毎に設定した印影が表示されます。



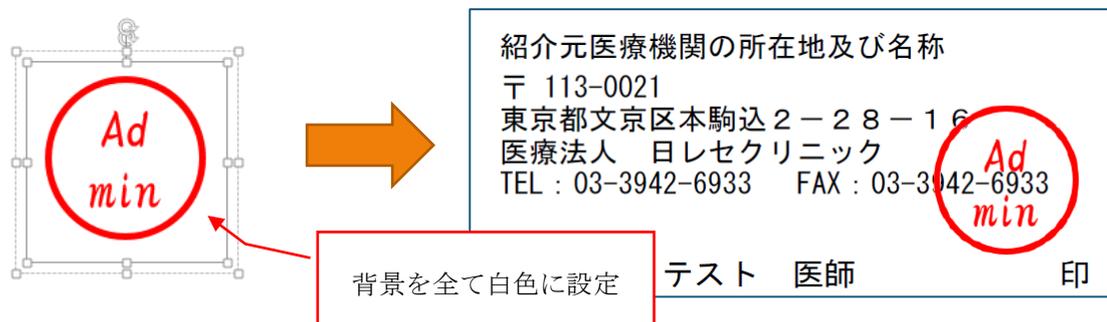
### 5-1-2-4 印影画像設定の注意点

ご自身で印影の画像を用意する場合の注意点です。

設定した印影で電子署名を付与すると、印影の一部が黒く表示される場合があります。このような場合の対応方法です。



作成した印影の画像データで、黒く表示される部分が透過処理されている場合に起こる現象です。このような場合は、背景を白色に設定して透過しないようにして画像データを作成してください。特に丸印の場合は、背景を白色の四角で作成し、その上に丸印のデザインを配置するようにしてください。



## 5-2 仕様変更

本バージョンでは、MI\_CANの機能が追加された他に、仕様も一部変更されています。

### 5-2-1 MI\_CANの仕様変更

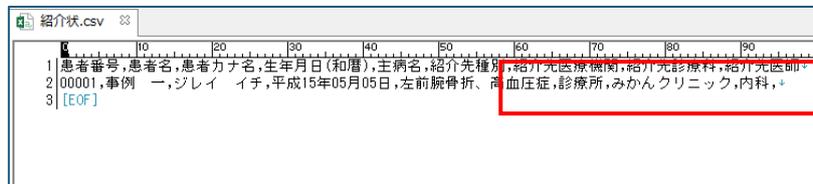
MI\_CANで変更された仕様について説明します。

#### 5-2-1-1 紹介先医療機関名のみの出力(PDF、CSV)

紹介状作成時に医療機関名のみ選択して医師名が選択されていない場合に、出力するPDFやCSVデータも紹介先医療機関名のみ出力するように変更しました。但し、PDFの医師名欄には、医師名ではなく「担当医」と記載されます。

診療情報提供書		
紹介先医療機関等名 みかんクリニック 御中 担当医先生 御机下		平成 28年9月27日
紹介元医療機関の所在地及び名称 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-16 医療法人 日レセクリニック TEL : 03-3942-6933 FAX : 03-3942-6933		Admin 印
医師氏名 admin		
患者氏名: 事例 様 性別 (男) 患者住所: 東京都豊島区池袋1234 電話番号: 03-1111-0000 生年月日: H 15年05月05日 年齢 (13歳) 職業:		
保険者番号: 138057 記号・番号: 111・22222	公費負担者番号①: 公費受給者番号①:	公費負担者番号②: 公費受給者番号②:

<PDF 作成時>



<CSV 出力時>

## 5-2-2 DataMonitor の仕様変更

DataMonitor で変更された仕様について説明します。

### 5-2-2-1 データモニタの SQL 構文の修正

ORCA のクラウド化に合わせて ORCA データベースへ発行する SQL 構文を修正しました。

## 5-3 不具合修正

本バージョンでは前バージョン以降に発生したいくつかの不具合が修正されています。

### 5-3-1 MI\_CAN の不具合修正

MI\_CAN で修正された不具合について説明します。

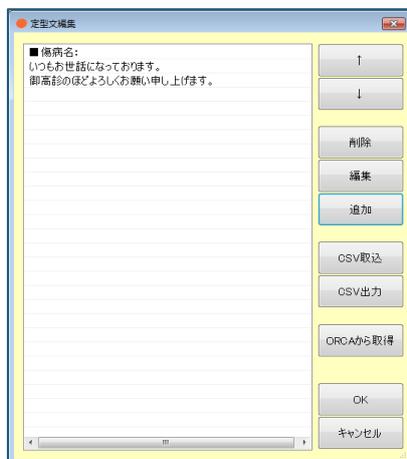
#### 5-3-1-1 病名転記時(日付なし)の半角スペースの削除

[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面の「システム設定」にある「転記設定」で「病名転記時に日付を付加しない」のチェックボックスにチェックしている場合に、転記後の病名の後ろに半角スペースが入っていた不具合を修正しました。



### 5-3-1-2 ネットワーク設定時、定型タブ内の内容が正常に表示されない不具合を修正

〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面の「システム設定」にある「ネットワーク設定」でクライアント・サーバ環境を設定している場合に、サーバ側で設定した定型文が、クライアント側の端末に反映されず、都度更新が必要となる不具合を修正しました。



### 5-3-1-3 ランチャー設定のフォルダ指定時のエラー対策

〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面の「システム設定」にある「ランチャー設定」で、実行ファイル欄に直接連携アプリケーションの実行ファイルが保存されているフォルダを指定した場合にエラーとなる不具合を修正しました。



## 【6】 MI\_CAN ver1.8.6 追加機能 (H28.12.24)

MI\_CAN ver1.8.6 で追加された機能について説明します。

本バージョンでは、MI\_CAN の機能追加の他、仕様変更及び不具合の修正が行われています。なお、従来の機能に関する操作については、「MI\_CAN 操作マニュアル(詳細版)」を参照してください。

### 【追加された主な機能】

項目	No	追加機能	説明
MI_CAN	1	検査結果の時系列表示を追加	〔検査結果〕画面で時系列表示が可能になりました。時系列で表示される検査結果は、テキストや画像として帳票作成に利用することができます。また、コピーしたデータを EXCEL に貼り付けることも可能です。
	2	紹介状、診断書作成時のテキストフォントの変更設定を追加	帳票作成時のテキストボックスのフォントを、印刷時と同じフォントを使用するようにしました。

### 【仕様変更項目】

項目	No	仕様変更	説明
MI_CAN	1	起動パラメータによる動作制御	MI_CAN を起動する際にパラメータを与えることによって、自動的に処理を行うように変更しました。
	2	二重起動の抑止	起動パラメータによる動作制御に合わせて、MI_CAN を複数起動できないように変更しました。
DataMonitor	3	DataMonitor によるデータ取込時の病名データ取得を追加	DataMonitor によるデータ取込時に病名データも取得するように変更しました。

### 【不具合修正】

項目	No	不具合修正	説明
MI_CAN	1	Windows10 で帳票作成時にウインドウの間に隙間ができる問題を修正	Windows10 の環境で MI_CAN を起動させると、帳票作成時に隙間ができる問題を修正しました。

## 6-1 MI\_CAN の追加機能

MI\_CAN で追加された機能を説明します。

### 6-1-1 検査結果の時系列表示を追加

「検査タブ」の「検査結果参照」ボタンをクリックして表示される「検査結果」画面の表示形式に時系列表示を追加しました。複数の検査機関の結果データを取り込んでいる場合は、それぞれの検査機関を選択して表示します。

#### 6-1-1-1 日付・依頼ごと表示と時系列表示の切り替え

「検査結果」画面に、「時系列表示」ボタンと「日付・依頼ごと表示」ボタンが追加され、選択した検査日の検査結果のみ表示する場合と、時系列で表示する場合の表示形式を切り替えることが可能になりました。



検査結果の画面表示はボタンをクリックする毎に切り替わります。画面を再表示する場合は、前回画面を閉じるときに表示されていた形式で表示されます。

#### 6-1-1-2 検査結果の時系列表示

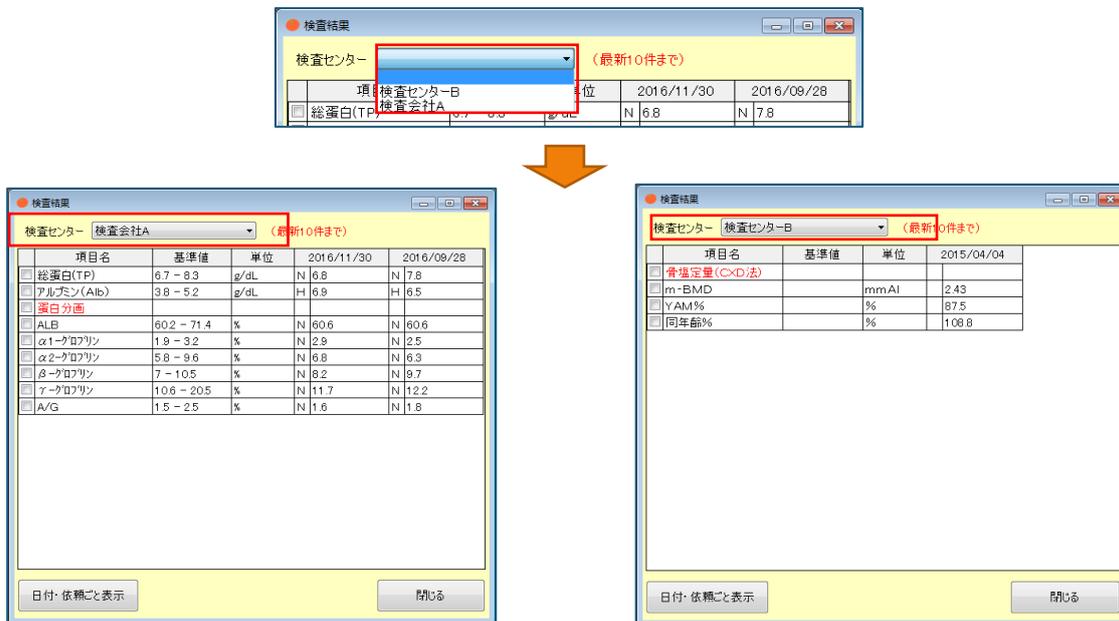
検査結果の時系列表示では、最新 10 件までの検査結果が表示されますが、日付の左側が直近の検査日で、右側へ行くほど過去の検査日になります。

The screenshot shows the '検査結果' (Test Results) window in time series display mode. The table below shows the test results for two dates: 2016/11/30 and 2016/09/28.

項目名	基準値	単位	2016/11/30	2016/09/28
総蛋白(TP)	6.7 - 8.3	g/dL	N 6.8	N 7.8
アルブミン(Alb)	3.8 - 5.2	g/dL	H 6.9	H 6.5

### 6-1-1-3 複数の検査機関の対応

複数の検査機関の結果データを取り込んでいる場合は、「検査センター」欄の「▼」をクリックして表示される検査機関から対象の機関を選択します。



### 6-1-1-4 検査結果のコピー

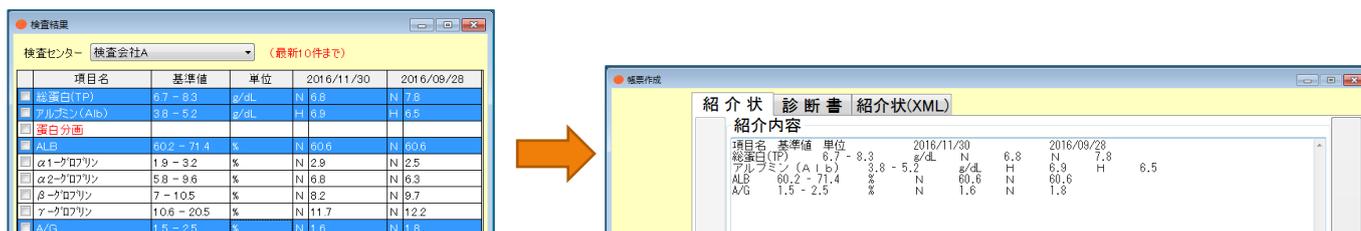
時系列表示の検査結果は、項目毎にコピーすることができます。

MI\_CAN の「帳票作成」画面でテキストボックスを選択すると「テキスト」として、画像を選択すると「画像」として貼り付けることができます。また、EXCEL上で「貼り付け」の操作を行うと、データをEXCELのセル毎に貼り付けることも可能です。

#### 6-1-1-4-1 テキストボックスへコピーする

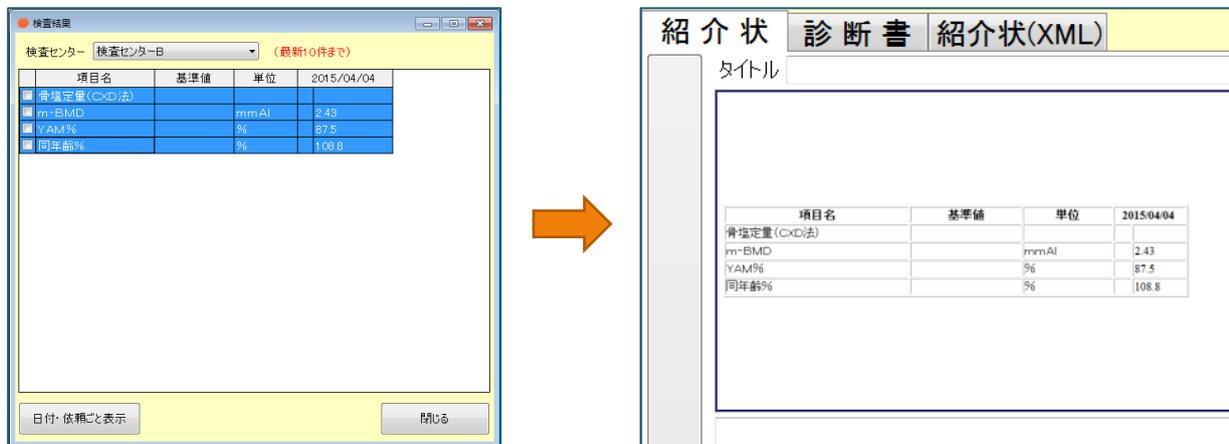
テキストボックスにコピーする場合は、時系列表示でコピーしたい項目をマウスでクリックして選択します。そのままの状態ですら「帳票作成」画面のテキストボックス内で再度クリックします。選択した項目が貼り付けられます。

Shift キーやCtrl キーを使うことにより、項目を複数選択することができます。



### 6-1-1-4-2 画像へコピーする

画像としてコピーする場合は、時系列表示でコピーしたい項目をマウスでクリックして選択します。そのままの状態  
で〔帳票作成〕画面の画像内で再度クリックします。選択した項目が画像として貼り付けられます。



### 6-1-1-4-3 EXCEL へコピーする

EXCEL へコピーする場合は、時系列表示でコピーしたい項目をマウスでクリックして選択します。そのままの状態  
で EXCEL のセル内で右クリックして表示されたメニューから貼り付けの操作をします。選択した項目が貼り付けられま  
す。

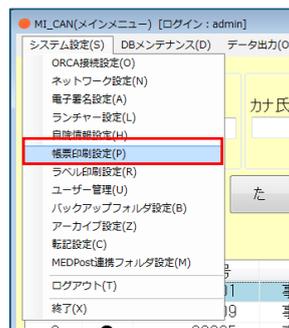


## 6-1-2 紹介状、診断書作成時のテキストフォントの変更設定を追加

紹介状や診断書を作成する時のテキストボックスのフォントを、印刷時と同じフォントで表示するようにしました。

### 6-1-2-1 帳票印刷設定

〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面の「システム設定」から「帳票印刷設定」を選択します。



〔帳票印刷設定〕画面でフォントの〔変更〕ボタンから印刷時に使用するフォントへ変更して〔OK〕ボタンをクリックします。



### 6-1-2-2 帳票作成

〔帳票作成〕画面を表示させ、テキストボックスに入力すると、設定したフォントで表示されます。また、PDF 出力も設定したフォントで作成されます。



## 6-2 仕様変更

本バージョンでは、仕様も一部変更されています。MI\_CAN で変更された仕様について説明します。

### 6-2-1 起動パラメータによる動作制御

MI\_CAN を起動する際に、パラメータを設定することによって自動的に処理を行うようにしました。パラメータを設定することで、MI\_CAN と連携したアプリケーション等から、MI\_CAN を別途起動することなく、指定した患者の紹介状作成画面を表示する、指定した処理を行う等の操作が可能になります。

#### 6-2-1-1 パラメータの設定

パラメータの記述方法は次のとおりです。スペースで区切って指定してください。

```
MI_CAN.exe -c [ログイン ID] [パスワード] [患者番号] [処理コード]
```

「-c」は制御開始文字です。パラメータによる制御を行う際は、必ず一番目に記述してください。

項目	説明
ログイン ID	ログインするユーザのログイン ID を指定します。
パスワード	ログインするユーザのパスワードを指定します。
患者番号	処理対象の患者番号を指定します。
処理コード	実施したい処理の処理コードを指定します。 現状は紹介状の作成と診断書の作成のみです。 紹介状作成：syokai 診断書作成：sindan 空の場合はデフォルトとして紹介状作成になります。

#### 6-2-1-2 使用例

例えば、MI\_CAN を起動し、admin でログインし、患者番号「00001」の紹介状画面を開く場合は以下のように記述します。

```
MI_CAN.exe -c admin admin 00001 syokai
```

既に MI\_CAN が起動中の場合は、[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面だけが表示されている場合のみ実行されます。別の画面が表示されている場合は、メッセージを表示して命令を破棄します。

## 6-2-2 二重起動の抑止

MI\_CAN で変更された仕様について説明します。

---

### 6-2-2-1 MI\_CAN の起動

前述のパラメータによる処理の対応追加に伴って、MI\_CAN が複数起動されないように仕様を変更しました。

## 6-2-3 DataMonitor によるデータ取込時の病名データ取得を追加

DataMonitor によるデータ取込時に、病名データも取得するように仕様を変更しました。

## 6-3 不具合修正

本バージョンでは前バージョン以降に発生した不具合が修正されています。

### 6-3-1 Windows10 で帳票作成時にウインドウの間に隙間ができる問題を修正

Windows10 で MI\_CAN を動作させると帳票作成時に〔患者基本情報〕画面と〔診療情報〕画面、及び〔帳票作成〕画面の間に隙間ができる不具合を修正しました。

【7】 MI\_CAN ver2.0 追加機能 (H29.05.30)

MI\_CAN ver2.0 で追加された機能について説明します。

本バージョンでは、MI\_CAN の機能追加の他、仕様変更及び不具合の修正が行われています。なお、従来の機能に関する操作については、「MI\_CAN 操作マニュアル(詳細版)」を参照してください。

【追加された主な機能】

項目	No	追加機能	説明
MI_CAN	1	患者一覧 (TOP) 画面の表示設定機能を追加	〔MI_CAN (メインメニュー)〕画面で、患者一覧の表示方法の変更設定が可能となりました。
	2	患者一覧の表示項目に最終診療日を追加	〔MI_CAN (メインメニュー)〕画面で、日レセに登録された「最終診療日」を表示するようにしました。
	3	検査結果の時系列表示を追加	〔検査結果〕画面で時系列表示が可能になりました。時系列で表示される検査結果は、テキストや画像として帳票作成に利用することができます。また、コピーしたデータを EXCEL に貼り付けることも可能です。
	4	検査結果のグラフ表示を追加	〔検査結果〕画面でグラフ表示が可能になりました。グラフと併せて、病名や処方履歴を確認することが可能です。
	5	検査表示セット機能を追加	任意の検査セットを登録して表示することが可能となりました。
	6	紹介状、診断書作成時のテキストフォントの変更設定を追加	帳票作成時のテキストボックスのフォントを、印刷時と同じフォントを使用するようにしました。
	7	紹介状、診断書の画像編集機能を追加	添付した画像にテキストを追加する、線を引く等の編集ができるようになりました。
	8	デフォルト定型文に対応	追加した定型文をデフォルト定型文として登録することが可能になりました。
	9	紹介先選択・禁忌情報のスクロール表示を追加	紹介先タブ、及び禁忌タブにスクロールバーを追加しました。
	10	ラベル印刷の画像印刷対応	ラベル印刷時、画像を印刷する機能を追加しました。

【仕様変更項目】

項目	No	仕様変更	説明
MI_CAN	1	起動パラメータによる動作制御	MI_CAN を起動する際にパラメータを与えることによって、自動的に処理を行うように変更しました。
	2	二重起動の抑止	起動パラメータによる動作制御に合わせて、MI_CAN を複数起動できないように変更しました。
	3	プロパティの名称変更	インストーラ及び EXE ファイルのプロパティを日本医師会 ORCA 管理機構に変更しました。
	4	患者一覧表示ロジックの変更による高速化	患者一覧を表示する際のロジックを見直し、一覧表示が完了するまでのスピードを高速化しました。

【不具合修正】

項目	No	不具合修正	説明
MI_CAN	1	Windows10 で帳票作成時にウインドウの間に隙間ができる問題を修正	Windows10 の環境で MI_CAN を起動させると、帳票作成時に隙間ができる問題を修正しました。
	2	頭書き取込の不具合修正	頭書き取込時、正しく取り込めなかった不具合を修正しました。

【その他】

(ver1.8.6 にて対応済み)

項目	No	不具合修正	説明
DataMonitor	1	DataMonitor によるデータ取込時の病名データ取得を追加	DataMonitor によるデータ取込時に病名データも取得するように変更しました。

## 7-1 MI\_CAN の追加機能

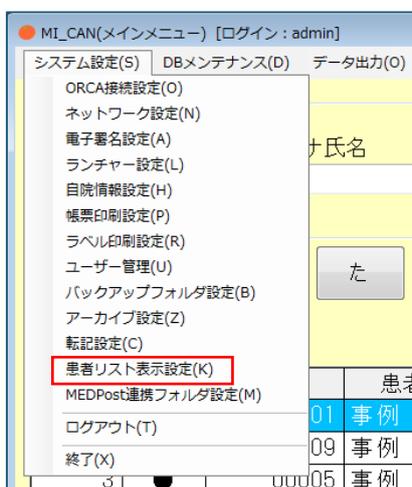
MI\_CAN で追加された機能を説明します。

### 7-1-1 患者一覧（TOP）画面の表示設定機能を追加

〔MI\_CAN（メインメニュー）〕画面の患者一覧リストの表示方法を変更する機能を追加しました。リストの表示方法の設定、リストの項目表示順の設定が可能です。

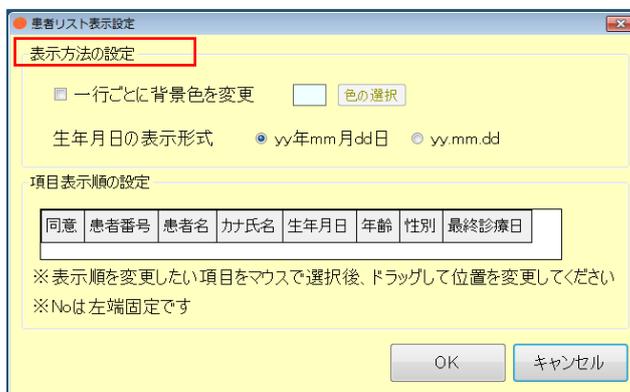
#### 7-1-1-1 リストの表示方法の設定

患者一覧の表示方法の変更は、〔MI\_CAN（メインメニュー）〕画面のシステム設定から「患者リスト表示設定」を選択して設定します。



「患者リスト表示設定」を選択すると、〔患者リスト表示設定〕画面が表示されます。

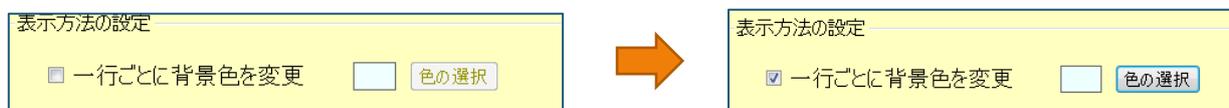
「表示方法の設定」欄で表示方法を設定します。



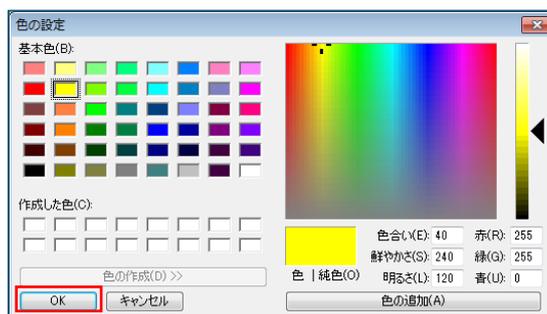
設定する内容は以下のとおりです。

項目	説明
1行ごとに背景色を変更	表示されている患者リストの背景色を1行ごとに変更します。背景色は、任意の色を設定することができます。
生年月日の表示形式	生年月日の表示を変更します。表示方法は2種類です。 【例】 yy年mm月dd日 → H 15年05月05日 yy.mm.dd → H15.05.05

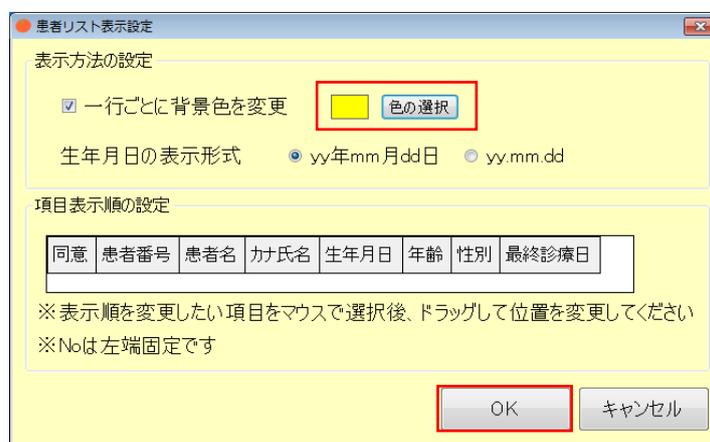
1行ごとに背景色を変更する場合は、「1行ごとに背景色を変更」のチェックボックスにチェックします。〔色の選択〕ボタンが有効になります。



〔色の選択〕ボタンをクリックすると〔色の設定〕画面が表示されます。任意の色を選択して〔OK〕ボタンをクリックします。



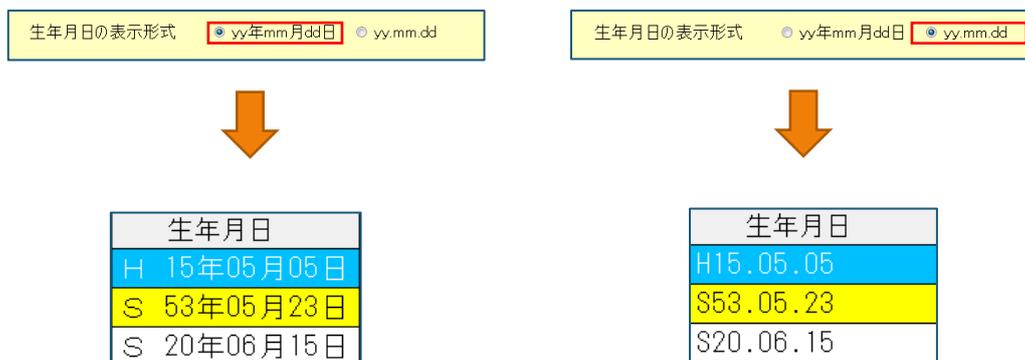
元の画面に戻ると、背景色の表示の色が変更されています。〔OK〕ボタンをクリックします。



〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面の患者リストでは、1行ごとに背景色が設定されています。



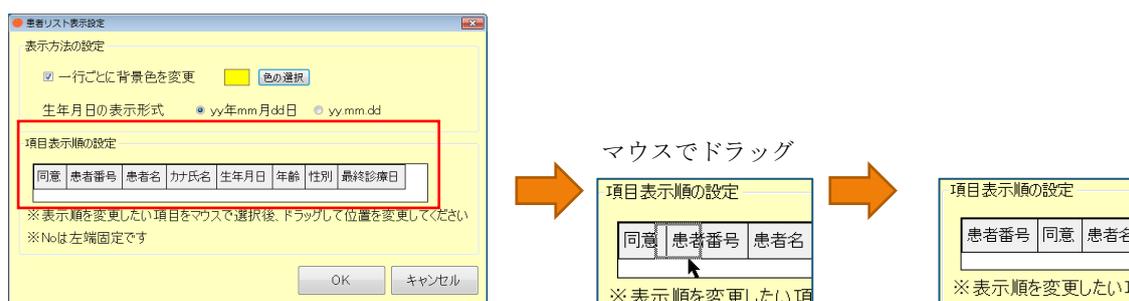
生年月日の表示形式は、「yy年mm月dd日」又は「yy.mm.dd」のどちらかを選択することで、患者リストの「生年月日」欄に表示する形式を設定することができます。



### 7-1-1-2 リストの項目表示順の設定

〔患者リスト表示設定〕画面の「項目表示順の設定」では、〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面の患者リストの項目を並び替えることができます。

項目の並び替えは、「項目表示順の設定」欄で表示の順番を移動したい項目をマウスで選択後、任意の位置にドラッグして行います。この時、左端にある「No」の位置を変更することは出来ません。



項目の並べ替えが完了したら、[OK] ボタンをクリックします。

[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面の患者リストの項目表示順が、設定した順番に反映されます。

No	同意	患者番号	患者名
1	●	00001	事例 一
2	●	00009	事例 九
3	●	00005	事例 五



No	患者番号	同意	患者名
1	00001	●	事例 一
2	00009	●	事例 九
3	00005	●	事例 五

## 7-1-2 患者一覧の表示項目に最終診療日を追加

[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面の患者リストの項目に日レセから取得した「最終診療日」が追加されました。

### 7-1-3 検査結果の時系列表示を追加

「検査」タブの「検査結果参照」ボタンをクリックして表示される「検査結果」画面の表示形式に時系列表示を追加しました。複数の検査機関の結果データを取り込んでいる場合は、それぞれの検査機関を選択して表示できます。

#### 7-1-3-1 日付・依頼ごと表示と時系列表示の切り替え

「検査結果」画面に、「時系列表示」ボタンと「日付・依頼ごと表示」ボタンが追加され、選択した検査日の検査結果のみ表示する場合と、時系列で表示する場合の表示形式を切り替えることが可能になりました。また、「時系列表示」の場合は、新たに追加された「グラフ表示」ボタンをクリックすると、検査結果項目をグラフ化して表示することができます。



検査結果の画面表示はボタンをクリックする毎に切り替わります。一旦閉じた画面を再表示する場合は、前回画面を閉じるときに表示されていた形式で表示されます。

#### 7-1-3-2 検査結果の時系列表示

検査結果の時系列表示では、最新 10 件までの検査結果が表示されますが、日付の左側が直近の検査日で、右側へ行くほど過去の検査日になります。



### 7-1-3-3 複数の検査機関の対応

複数の検査機関の結果データを取り込んでいる場合は、「検査センター」欄の「▼」をクリックして表示される検査機関のリストから対象の機関を選択します。

選択した検査機関の結果データがそれぞれ表示されます。



「検査センター」欄で検査機関を選択せず、空欄としている場合は、「検査結果」画面で、それぞれの検査機関の検査項目を統合して表示します。



表示されている検査結果データは、グラフ化することができますが、検査項目によってはグラフ化出来ない場合があります。

### 7-1-3-4 検査結果のコピー

時系列表示の検査結果は、項目毎にコピーすることができます。

MI\_CANの〔帳票作成〕画面でテキストボックスを選択すると「テキスト」として、画像を選択すると「画像」として貼り付けることができます。また、EXCEL上で「貼り付け」の操作を行うと、データをEXCELのセル毎に貼り付けることも可能です。

#### 7-1-3-4-1 テキストボックスへコピーする

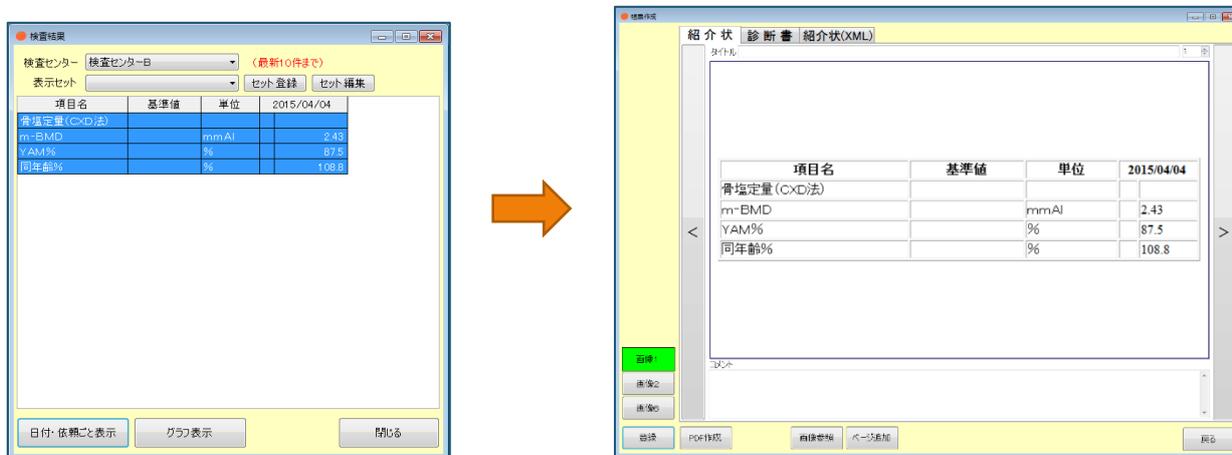
帳票作成時、検査結果データを〔帳票作成〕画面のテキストボックスにコピーする場合は、時系列表示でコピーしたい項目をマウスでクリックして選択します。そのままの状態ですべての項目を選択し、〔帳票作成〕画面のテキストボックス内で再度クリックします。選択した項目が貼り付けられます。

ShiftキーやCtrlキーを使うことにより、項目を複数選択することができます。



#### 7-1-3-4-2 画像貼付欄へコピーする

画像としてコピーする場合は、時系列表示でコピーしたい項目をマウスでクリックします。複数の項目は、ShiftキーやCtrlキーを使って選択します。そのままの状態ですべての項目を選択し、〔帳票作成〕画面の画像貼付欄で再度クリックします。選択した項目が画像として貼り付けられます。



[PDF 作成] ボタンをクリックすると、画像の分割数に合わせて、検査結果が表として帳票内に作成されます。



〈画像 1〉

タイトル :

項目名	基準値	単位	2015/04/04
骨塩定量(CXD法)			
m-BMD		mmAl	2.43
YAM%		%	87.5
同年齢%		%	108.8

コメント



〈画像 2〉

タイトル :

項目名	基準値	単位	2016/11/30	2016/09/28
総蛋白(TP)	6.7 - 8.3	g/dL	N 6.8	N 7.8

コメント

タイトル :

項目名	基準値	単位	2016/11/30	2016/09/28
アルブミン(Alb)	3.8 - 5.2	g/dL	H 6.9	H 6.5

コメント



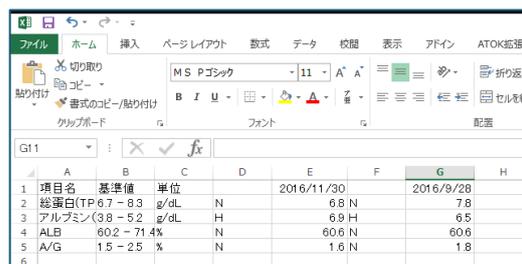
〈画像 6〉

タイトル :

項目名	基準値	単位	2016/11/30	2016/09/28
総蛋白(TP)	6.7 - 8.3	g/dL	N 6.8	N 7.8
アルブミン(Alb)	3.8 - 5.2	g/dL	H 6.9	H 6.5
蛋白分画		%		
ALB	60.2 - 71.4	%	N 60.6	N 60.6
α1-グロブリン	1.8 - 3.2	%	N 2.9	N 2.5
α2-グロブリン	5.8 - 9.6	%	N 6.8	N 6.3
β-グロブリン	7 - 10.5	%	N 8.2	N 9.7
γ-グロブリン	10.6 - 20.5	%	N 11.7	N 12.2
A/G	1.5 - 2.5	%	N 1.6	N 1.8

### 7-1-3-4-3 EXCEL へコピーする

EXCEL へコピーする場合は、時系列表示でコピーしたい項目をマウスでクリックして選択します。そのままの状態 EXCEL のセル内で右クリックして表示されたメニューから貼り付けの操作をします。選択した項目が貼り付けられます。



## 7-1-4 検査結果のグラフ表示を追加

「検査」タブの「検査結果参照」ボタンをクリックして表示される「検査結果」画面の表示形式にグラフ表示を追加しました。

グラフ表示の他、病名や投薬情報も並べて表示することができ、それぞれの関連性や治療方針を検討する際の参考とすることができます。

### 7-1-4-1 検査結果のグラフ表示

グラフは、「検査結果」画面で、検査項目を選択して表示します。複数選択する場合は、Shift キーやCtrl キーを使って選択します。

項目を選択後、「グラフ表示」ボタンをクリックします。



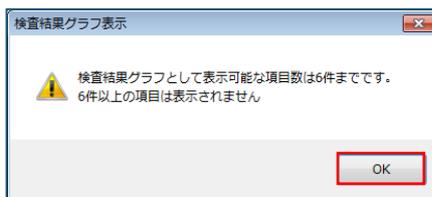
「検査結果グラフ」画面が表示されます。



グラフとして一度に表示可能な項目数は最大6件までとなります。検査項目を6件以上選択すると以下の動作になります。例として、検査項目を7件選択します。

項目名	基準値	単位	2016/11/30	2016/09/28
総蛋白(TP)	6.7 - 8.3	g/dL	N 6.8	N 7.8
アルブミン(Alb)	3.9 - 5.2	g/dL	H 6.9	H 6.5
蛋白分画				
ALB	60.2 - 71.4	%	N 60.6	N 60.6
α1-グロブリン	1.9 - 3.2	%	N 2.9	N 2.5
α2-グロブリン	5.8 - 9.6	%	N 6.8	N 6.3
β-グロブリン	7 - 10.5	%	N 8.2	N 8.7
γ-グロブリン	10.6 - 20.5	%	N 11.7	N 12.2
A/G	1.5 - 2.5	%	N 1.6	N 1.8
骨塩定量(×D法)				
m-BMD		mmAl		
YAM%		%		
同年齢%		%		

確認メッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



[検査結果グラフ] 画面が表示されますが、表示される項目は6件です。前画面で選択した項目の上から6件までが表示されます。



## 7-1-4-2 表示方法の切り替え

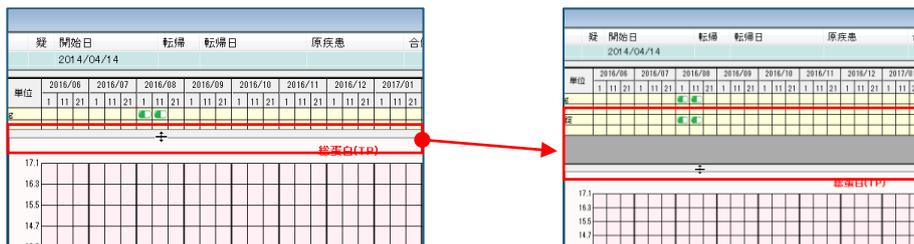
〔検査結果グラフ〕画面では、検査結果の他に病名や、投薬の情報も合わせて表示することができます。表示方法の変更は、「表示」欄の「▼」をクリックして表示されるリストから選択します。



選択可能な表示方法は以下の通りです。

表示方法	説明	画面
病名+投薬+検査結果	1画面内に、病名と投薬、及び検査結果を表示します。	
投薬+検査結果	1画面内に、投薬と検査結果を表示します。	
病名+検査結果	1画面内に、病名と検査結果を表示します。	
検査結果のみ	1画面内に検査結果のみ表示します。	

選択した表示方法で上手く画面表示が出来ない場合は、それぞれの表示枠の大きさを調整することで表示できるようになります。枠のサイズ調整は、それぞれの枠にマウスを合わせてカーソルの形が変わったところで、任意のサイズにドラッグして調整します。



### 7-1-4-2-1 病名欄

MI\_CAN に登録されている病名が表示されます。

No	主 病名	発 開始日	転帰	転帰日	原疾患	合併症
1	● 左前腕骨折	2014/04/14				
2	● 高血圧症	2016/02/01				
3	左前頸部切創	2014/04/14				
4	左手背部擦過創	2014/04/14				
5	頸部打撲	2014/04/14				

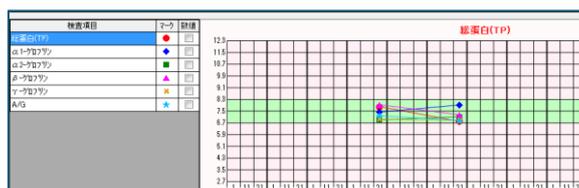
### 7-1-4-2-2 投薬欄

MI\_CAN に登録されている処方内容が表示されます。検査結果の日付と同じ間隔のカレンダー表示になっています。投薬欄では、登録されている薬剤の名称や服用方法、1日分の総量が分かります。また、カレンダー上に表示されたカプセルのマークで処方された時期を表しています。何日分処方されたのかといった処方日数は、表示しません。

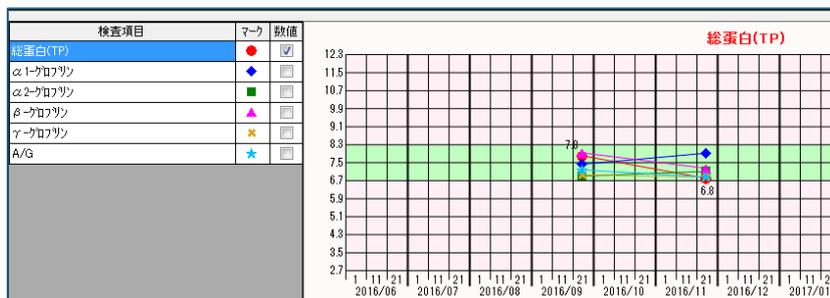
剤 区分	処方名称・内容	数量	単位	2016/06		2016/07		2016/08		2016/09		2016/10		2016/11		2016/12	
				1	11	21	1	11	21	1	11	21	1	11	21	1	11
○ 内服	ケファール錠粒小児用100mg 1日3回毎食後に	3g	g					■	■								
○ 頓服	カロナール錠200 200mg 痛時時に	1錠	錠					■	■								

### 7-1-4-2-3 検査結果欄

前画面で選択した検査項目（6種類）の結果がグラフ表示されます。グラフ上で背景色が変わっている箇所が基準値の範囲になります。



検査を1項目選択し青く反転させると、グラフ表示のタイトルが選択した項目名称に変わり、縦軸の数値が選択した検査項目に対応した目盛に変更されます。また、「数値」欄のチェックボックスにチェックすると、チェックした項目の結果値がグラフに表示されます。



グラフ上で、検査項目のマークをクリックすると、選択したマークの検査日や結果値等詳細な情報がポップアップされます。



### 7-1-4-3 表示期間の指定

過去の状態を確認する場合等、表示する期間を変更することができます。

表示期間の変更は、「年月範囲」欄の「◀ ▶」又は「[〇〇年〇〇月]」ボタンをクリックして表示されるカレンダーで対象の年月を選択して変更します。



年月を選択後、「期間」を選択します。期間は、表示期間のボタンにある「▼」をクリックして表示されるリストから選択します。

選択できる期間は、指定した年月から「1ヵ月分」、「4ヵ月前」まで、「6ヵ月前」まで及び「12ヵ月前」までの4種類の期間です。

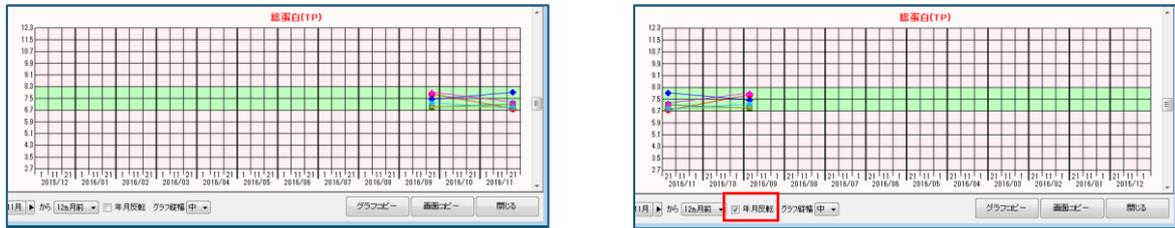


選択した表示期間により、グラフのカレンダーの目盛の間隔が変更されます。

指定した年月から	説明	画面
1ヵ月分	グラフを1ヵ月分表示します。 グラフの目盛りの間隔は、1日間です。	
4ヵ月前	グラフを4ヵ月分表示します。 グラフの目盛りの間隔は、5日間です。	
6ヵ月前	グラフを6ヵ月分表示します。 グラフの目盛りの間隔は、6日間です。	
12ヵ月前	グラフを12ヵ月分表示します。 グラフの目盛りの間隔は10日間です。	

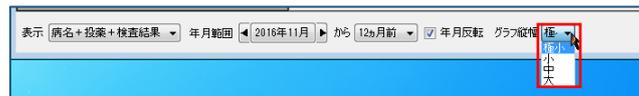
#### 7-1-4-4 年月反転

表示されているグラフは、画面の右に行くにつれて過去から現在の日付になるような並び順になっています。この並び順を逆にしたい場合は、「年月反転」のチェックボックスにチェックをします。この並び順は、同時に処方のカレンダーにも反映されます。



#### 7-1-4-5 グラフ縦幅

グラフに記載された結果値の差が小さくて変化がわかりにくい場合は、グラフの縦幅を変更することができます。縦幅の変更は、「グラフ縦幅」欄の「▼」をクリックして表示されるリストの中から選択します。選択できるグラフの幅は、「極小」「小」「中」及び「大」の4種類です。



選択したサイズによって、グラフの縦幅が変更されます。

グラフの縦幅	画面
極小	
小	
中	
大	

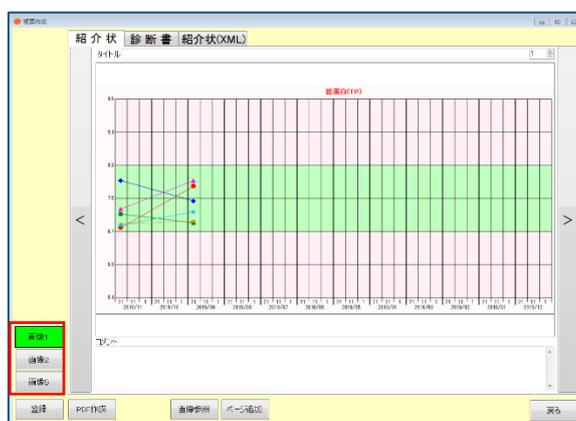
## 7-1-4-6 グラフコピー

表示しているグラフを〔帳票作成〕画面の「画像」欄にコピーすることができます。

コピーしたいグラフを表示させたまま、画面下の〔グラフコピー〕ボタンをクリックします。



その後、MI\_CAN の〔帳票作成〕画面へ移動し、〔画像 1〕ボタン～〔画像 6〕ボタンのどれかをクリックして表示された画面の「画像貼付」欄でクリックします。検査結果グラフのみ画像としてコピーされます。

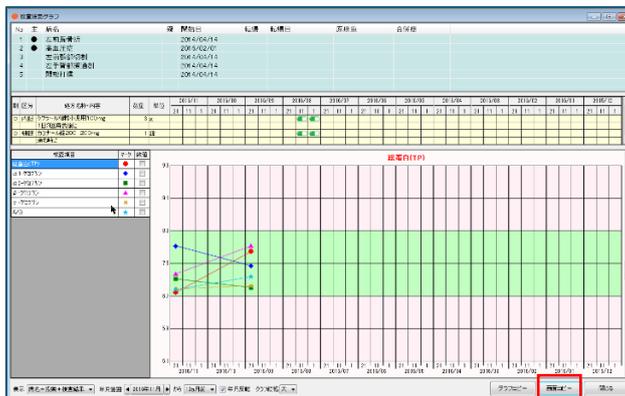


〔PDF 作成〕ボタンをクリックして帳票を作成すると、2 ページ目以降に検査結果のグラフがコピーされています。

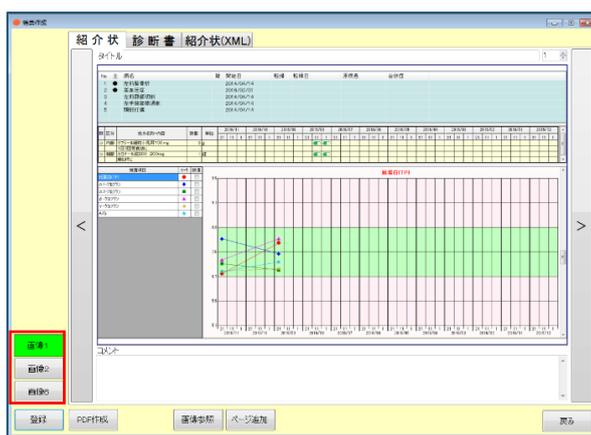
診療情報提供書		平成 29年5月27日
紹介先医療機関等名 劇中 担当医先生 御礼下		紹介先医療機関の所在地及び連絡 〒113-0021 東京都文京区本郷2-2-34 医療法人 OHC みのりクリニック TEL: 03-2942-6933 FAX: 03-2942-6933
患者氏名: 斎藤 一 性別 (男) 患者住所: 東京都豊島区池袋1-2-34 電話番号: 03-1111-0000 生年月日: 14 15年05月05日 年齢 (14歳) 職業 保険番号: 10007 住所: 1-1-1-2-2-2-2	医師氏名 医師 太郎 印	タイトル: 
■病名: [ ] ■紹介目的: ■既往歴・家族歴: ■症状経過: ■検査結果: ■治療経過: ■現在の処方: ■備考:		コメント

### 7-1-4-7 画面コピー

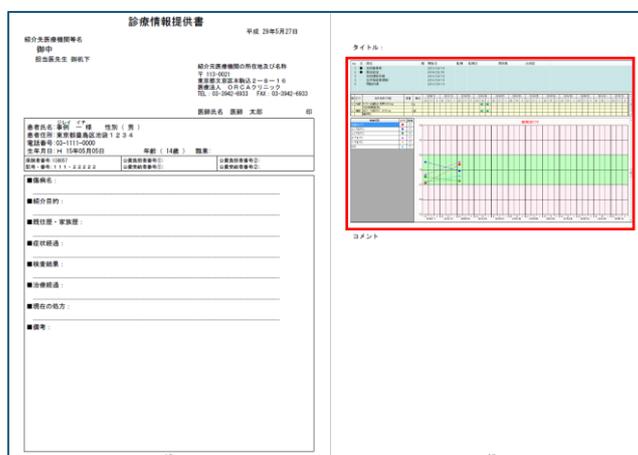
表示している〔検査結果グラフ〕画面全体を〔帳票作成〕画面の「画像」欄にコピーすることができます。コピーしたい内容を表示させたまま、〔画面コピー〕ボタンをクリックします。



その後、MI\_CAN の〔帳票作成〕画面へ移動し、〔画像 1〕ボタン～〔画像 6〕ボタンのどれかをクリックして表示された画面の「画像貼付」欄でクリックします。〔検査結果グラフ〕画面が画像としてコピーされます。



〔PDF 作成〕ボタンをクリックして帳票を作成すると、2 ページ目以降に〔検査結果グラフ〕画面がコピーされています。



## 7-1-5 検査表示セット機能を追加

表示する検査項目のセットを登録して、検査表示セット別に表示する機能を追加しました。

### 7-1-5-1 セット登録

検査表示セットは、〔検査結果〕画面で登録します。

項目名	基準値	単位	2016/11/30	2016/09/28	2015/04/04
総蛋白(TP)	6.7 - 8.3	g/dL	N	6.8 N	7.8
アルブミン(Alb)	3.8 - 5.2	g/dL	H	6.9 H	6.5
蛋白分画					
ALB	60.2 - 71.4	%	N	60.6 N	60.6
α1-グロブリン	1.9 - 3.2	%	N	2.9 N	2.5
α2-グロブリン	5.8 - 9.6	%	N	6.8 N	6.3
β-グロブリン	7 - 10.5	%	N	8.2 N	9.7
γ-グロブリン	10.6 - 20.5	%	N	11.7 N	12.2
A/G	1.5 - 2.5	%	N	1.6 N	1.8
検査定数(C>D法)					
m-BMD		mmAl			2.43
YAM%		%			87.5
同年齢%		%			108.8

〔検査結果〕画面でセット登録したい検査項目を選択し、〔セット登録〕ボタンをクリックします。

〔検査表示セット登録〕画面が表示されます。

検査会社	検査項目名	検査コード
検査会社A	総蛋白(TP)	1010200
検査会社A	ALB	4260201
検査会社A	α1-グロブリン	4260202
検査会社A	α2-グロブリン	4260203
検査会社A	β-グロブリン	4260204
検査会社A	γ-グロブリン	4260205

表示されている検査項目を確認後、「登録表示セット名」欄にセット名称を入力して [登録] ボタンをクリックします。

検査表示セット登録

選択された以下の検査項目を表示セットとして登録します。

検査会社	検査項目名	検査コード
検査会社A	総蛋白(TP)	1010200
検査会社A	ALB	4260201
検査会社A	α1-グロブリン	4260202
検査会社A	α2-グロブリン	4260203
検査会社A	β-グロブリン	4260204
検査会社A	γ-グロブリン	4260205

登録表示セット名  
肝機能セット

登録 キャンセル

元の画面に戻り、「表示セット」欄の「▼」をクリックすると、登録したセット名称が追加されます。

検査結果

検査センター (最新10件まで)

表示セット セット登録 セット編集

項目名	骨塩定量セット	肝機能セット	2016/11/30	2016/09/28	2015/04/04
総蛋白(TP)			N	6.8 N	7.8
アルブミン(Alb)	3.8 - 5.2		H	6.9 H	6.5
蛋白分画					
ALB	60.2 - 71.4	%	N	60.6 N	60.6
α1-グロブリン	1.9 - 3.2	%	N	2.9 N	2.5
α2-グロブリン	5.8 - 9.6	%	N	6.8 N	6.3
β-グロブリン	7 - 10.5	%	N	8.2 N	9.7
γ-グロブリン	10.6 - 20.5	%	N	11.7 N	12.2
A/G	1.5 - 2.5	%	N	1.6 N	1.8
骨塩定量(CXD法)					
m-BMD		mmAl			2.43
YAM%		%			87.5
同年齢%		%			108.8

「表示セット」欄で表示したいセット名を選択すると登録したセット項目のみ表示することができます。

検査結果

検査センター (最新10件まで)

表示セット 肝機能セット セット登録 セット編集

項目名	基準値	単位	2016/11/30	2016/09/28	2015/04/04
総蛋白(TP)	6.7 - 8.3	g/dL	N	6.8 N	7.8
ALB	60.2 - 71.4	%	N	60.6 N	60.6
α1-グロブリン	1.9 - 3.2	%	N	2.9 N	2.5
α2-グロブリン	5.8 - 9.6	%	N	6.8 N	6.3
β-グロブリン	7 - 10.5	%	N	8.2 N	9.7
γ-グロブリン	10.6 - 20.5	%	N	11.7 N	12.2

日付・依頼ごと表示 グラフ表示 閉じる

## 7-1-5-2 セット編集

既に登録済みの表示セットを編集することができます。

〔検査結果〕画面で〔セット編集〕ボタンをクリックします。

項目名	基準値	単位	2016/11/30	2016/09/28	2015/04/04
総蛋白(TP)	6.7 - 8.3	g/dL	N	6.8 N	7.8
アルブミン(Alb)	3.8 - 5.2	g/dL	H	6.9 H	6.5
蛋白分画					
ALB	60.2 - 71.4	%	N	60.6 N	60.6
α1-グロブリン	1.9 - 3.2	%	N	2.9 N	2.5
α2-グロブリン	5.8 - 9.6	%	N	6.8 N	6.3
β-グロブリン	7 - 10.5	%	N	8.2 N	9.7
γ-グロブリン	10.6 - 20.5	%	N	11.7 N	12.2
A/G	1.5 - 2.5	%	N	1.6 N	1.8
骨密度量(CKD法)					
m-BMD		mmAl			2.43
YAM%		%			87.5
同年齢%		%			108.8

〔検査表示セット編集〕画面が表示されます。

検査会社	項目名	項目コード
検査センター-B	総蛋白(TP)	1010200
検査センター-B	中性脂肪(TG)	103010200
検査センター-B	AST(GOT)	11020200
検査センター-B	血中脂質	117430200
検査センター-B	シホモ-アール	117430201
検査センター-B	アサトシ	117430202
検査センター-B	ニコサハクセン	117430203
検査センター-B	トコサキセン	117430204
検査センター-B	EPA/AA比	117430205
検査センター-B	ALT(GPT)	14020200
検査センター-B	アルブミン(Al)	2010200
検査センター-B	蛋白分画	4260200
検査センター-B	ALB	4260201
検査センター-B	α1-グロブリン	4260202
検査センター-B	α2-グロブリン	4260203
検査センター-B	β-グロブリン	4260204
検査センター-B	γ-グロブリン	4260205

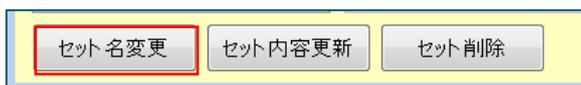
「セット一覧」欄で、編集したいセットを選択すると「セットで定義されている検査項目一覧」欄に選択したセットとして登録されている検査項目の内訳が表示されます。画面の右側に表示されている検査項目は、MI\_CANに登録済みの検査項目一覧です。

検査会社	項目名	項目コード
検査会社A	総蛋白(TP)	1010200
検査会社A	ALB	4260201
検査会社A	α1-グロブリン	4260202
検査会社A	α2-グロブリン	4260203
検査会社A	β-グロブリン	4260204
検査会社A	γ-グロブリン	4260205

「セットで定義されている検査項目一覧」欄と右側の検査項目一覧のタイトル欄はそれぞれタイトル名をクリックする毎に、昇順、降順で並び替えることができます。並び替えはタイトル名の右側の「▲」又は「▼」で判別します。

検査会社	項目名	項目コード	検査会社	項目名	項目コード
検査会社A	総蛋白(TP)	1010200	検査センターB	A/G	4260206

〔検査表示セット編集〕画面でセットの名称のみ変更する場合は、「セット一覧」欄で、名称を変更したいセットを選択して〔セット名変更〕ボタンをクリックします。



〔セット名変更〕画面が表示されます。

変更するセット名称を入力し、〔OK〕ボタンをクリックします。

元の画面に戻り、「セット一覧」欄の名称が変更した表示セットに変更されます。

検査会社	項目名	項目コード
検査会社A	総蛋白(TP)	1010200
検査会社A	ALB	4260201
検査会社A	α1-グロブリン	4260202
検査会社A	α2-グロブリン	4260203
検査会社A	β-グロブリン	4260204
検査会社A	γ-グロブリン	4260205

セットの内容を修正したい場合は、修正したいセット名を「セット一覧」欄で選択します。



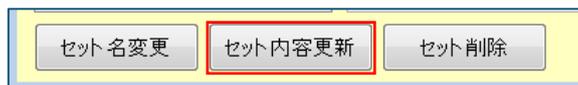
表示されたセットの内訳の中から検査項目を削除する場合は、削除したい検査項目を選択して、[▶] ボタンをクリックします。



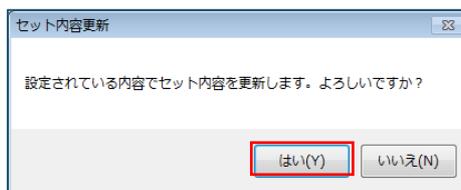
セットに登録されている検査項目を追加したい場合は、右側の検査項目一覧から追加したい検査項目を選択して、[◀] ボタンをクリックします。



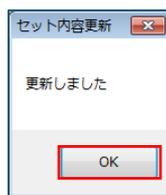
編集が完了したら、[セット内容更新] ボタンをクリックします。



セット内容更新のメッセージが表示されますので [はい] ボタンをクリックします。



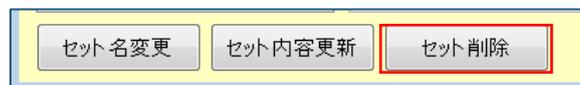
更新完了のメッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



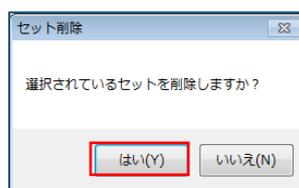
登録している表示セットを削除したい場合は、削除するセット名称を「セット一覧」欄で選択します。



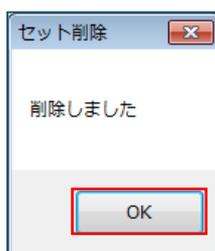
「セットで定義されている検査項目一覧」欄に表示されたセットの内容を確認し、[セット削除] ボタンをクリックします。



セット削除の確認メッセージが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。



セット削除の確認メッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。



元の画面に戻り、「セット一覧」欄から表示セットが削除されます。

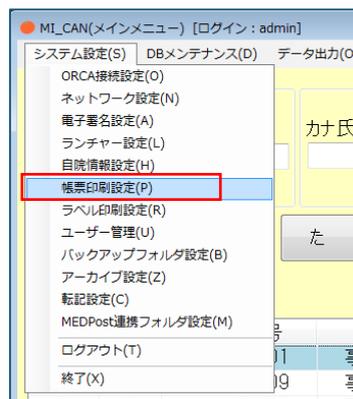


## 7-1-6 紹介状、診断書作成時のテキストフォントの変更設定を追加

紹介状や診断書を作成する時のテキストボックスのフォントを、印刷時と同じフォントで表示するようにしました。

### 7-1-6-1 帳票印刷設定

[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面の「システム設定」から「帳票印刷設定」を選択します。



[帳票印刷設定] 画面でフォントの [変更] ボタンから印刷時に使用するフォントへ変更して [OK] ボタンをクリックします。



## 7-1-6-2 帳票作成

〔帳票作成〕画面を表示させ、テキストボックスに入力すると、設定したフォントで表示されます。また、PDF出力も設定したフォントで作成されます。



## 7-1-7 紹介状、診断書の画像編集機能を追加

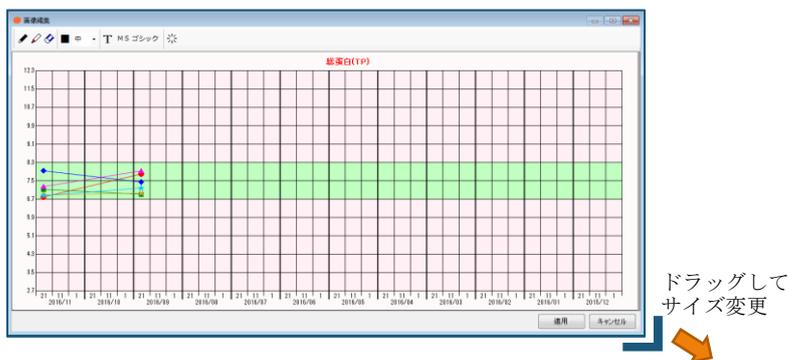
紹介状及び診断書に貼付した画像を編集することができる機能が追加されました。画像自体を編集することはできませんが、強調したい部分に印を付ける、テキストを追加するなどの処理を行うことができます。

ただし、紹介状 (XML) を作成する場合は、画像を出力することはできません。画像を除く XML データが指定のフォルダに出力されます。

〔帳票作成〕画面で画像を貼付後、編集したい画像の上で右クリックすると「画像編集」のポップアップが表示されます。



「画像編集」をクリックすると〔画像編集〕画面が表示されます。画面サイズが小さいときは、マウスでドラッグして変更することができます。



画面上部のメニューから編集したいアイコンをクリックします。

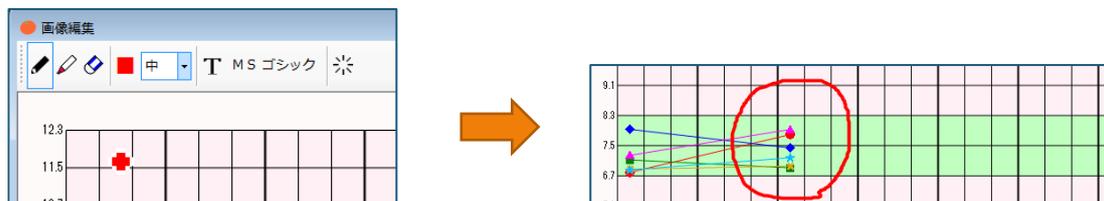


アイコンの説明は以下のとおりです。

アイコン	説明	内容
	ペン	画面上にフリーハンドで線を引くことができます。
	マーカー	画面上の強調したい部分にマーカーを引くことができます。
	線の消去	画面上に追加した線を消去します。
	ペンの色	ペンやマーカーの色を指定します。 アイコンをクリックすると「色の設定」画面が表示されますので、使用したい色を選択して変更します。
	ペンの幅	ペンやマーカーの線の幅を指定します。
	テキスト追加	画面上にテキストを追加します。 アイコンをクリックして画面上でクリックするとテキスト入力欄が配置されます。
	フォント種別	画面上のテキストのフォントを変更します。 アイコンをクリックすると「フォント設定」画面が表示されます。
	全消去	処理中の画面に追加された線やテキストを全て消去します。

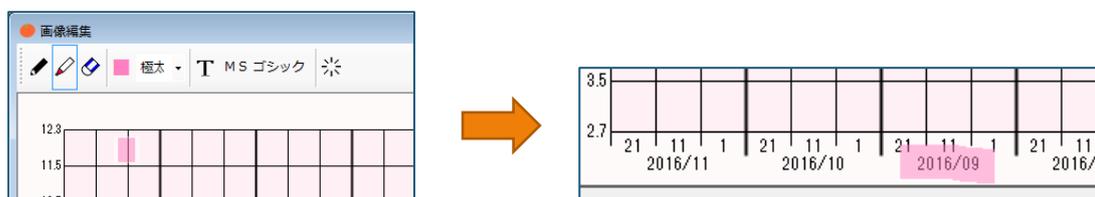
### 7-1-7-1 ペン

ペンの色とペンの幅を指定した後、ペンのアイコンをクリックします。ペンのアイコンが強調され、カーソルの形が変わったら、フリーハンドで線を引くことが可能になります。



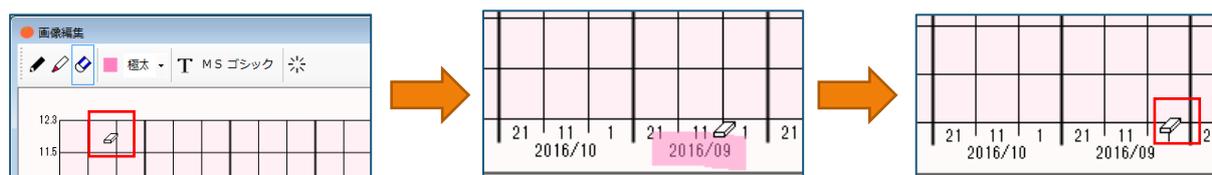
### 7-1-7-2 マーカー

ペンの色とペンの幅を指定した後、マーカーのアイコンをクリックします。マーカーのアイコンが強調され、カーソルの形が変わったら、フリーハンドでマーカーを引くことが可能になります。



### 7-1-7-3 線の消去

線の消去のアイコンをクリックすると、アイコンが強調されカーソルの形が変わります。消去したい線の上にマウスを合わせクリックすると線を消去することができます。入力を反映したテキストは消去できません。



### 7-1-7-4 ペンの色

ペンの色のアイコンをクリックすると、[色の設定] 画面が表示されます。任意の色に変更します。



変更後は、アイコンの色が変更した色に変わります。



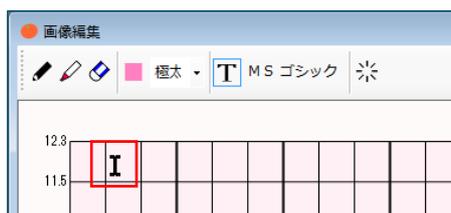
#### 7-1-7-5 ペンの幅

ペンの幅の「▼」をクリックすると選択候補が表示されます。指定可能なサイズは、「極細」「細」「中」「太」及び「極太」の5種類です。設定した幅は、ペンとマーカーに反映されます。

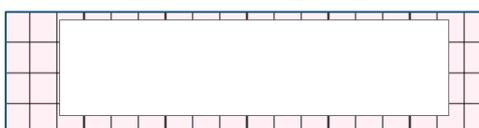


#### 7-1-7-6 テキスト追加

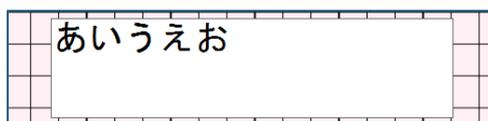
テキスト追加のアイコンをクリックすると、アイコンが強調され、カーソルの形が変わります。



テキストを追加したい位置にカーソルを移動し、クリックするとテキスト入力欄が配置されます。



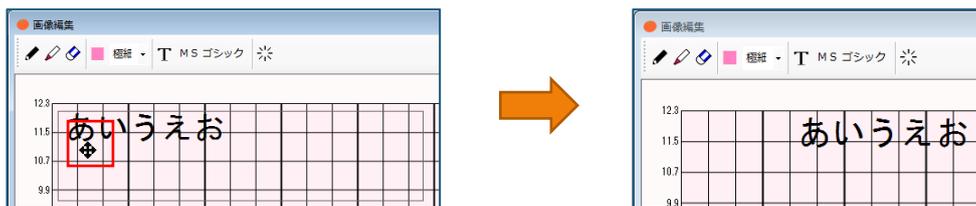
テキストを入力します。



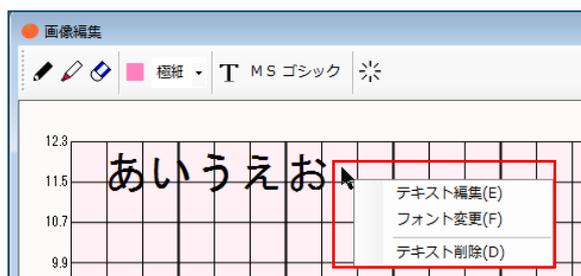
再度テキストのアイコンをクリックするか、テキストの入力欄以外の画像部分をクリックすると入力した内容が反映されます。



テキストのアイコンが強調されていない状態で、画像に反映されたテキストをクリックすると、カーソルの形が変わりテキストの入力欄の枠が表示されます。そのままドラッグするとテキストの位置を移動することができます。



既に画像に反映されたテキストの位置で右クリックするとポップアップメニューが表示され、編集が可能になります。

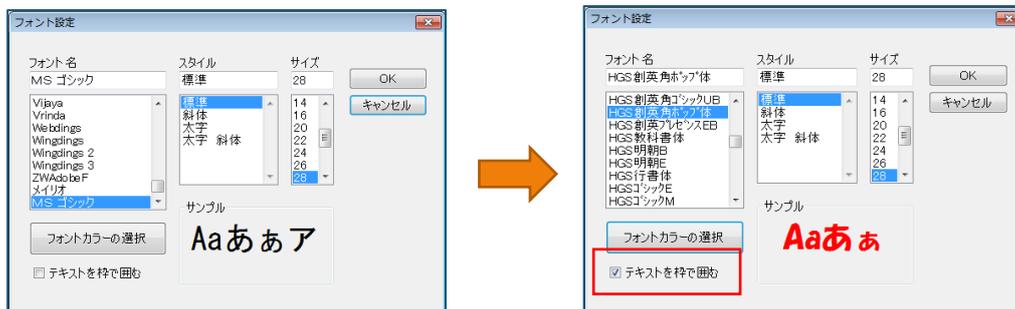


編集できる項目は以下のとおりです。

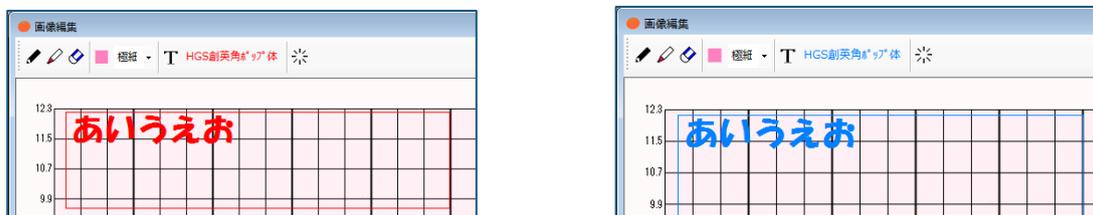
項目	説明	画面
テキスト編集	入力している内容を編集することができます。 選択すると、入力欄が表示されます。	
フォント変更	入力しているフォントを変更することができます。 選択すると「フォント設定」画面が表示されます。	
テキスト削除	入力しているテキストを削除します。 確認メッセージは表示されません。	

### 7-1-7-7 フォント種別

フォント種別のアイコンをクリックすると「フォント設定」画面が表示されます。「フォント設定」画面でフォントの種類、スタイル、フォントサイズ及びフォントカラーを変更することができます。

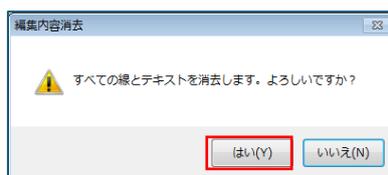


「テキストを枠で囲む」のチェックボックスにチェックすると、設定したフォントカラーと同色でテキストが枠で囲まれた状態になります。



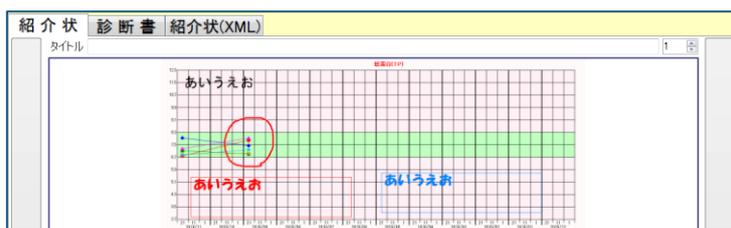
### 7-1-7-8 全消去

全消去のアイコンをクリックすると、編集内容を消去する確認メッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックすると、画像に追加した線やテキストが全て消去されます。



### 7-1-7-9 設定適用

画像に追加する内容が全て完了したら、「適用」ボタンをクリックします。元の画面に戻り、追加した内容が画像に反映されています。

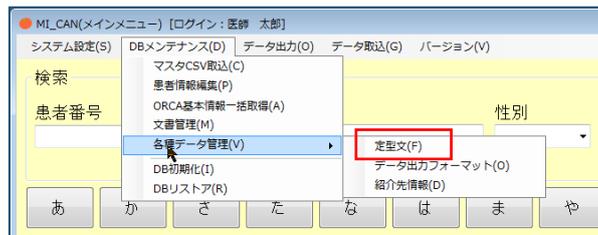


## 7-1-8 デフォルト定型文に対応

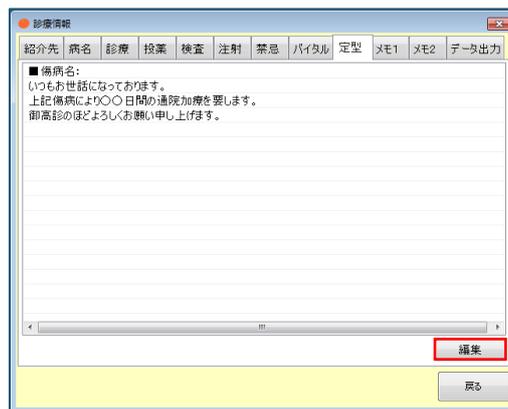
紹介や診断書を作成する場合に、「帳票作成」画面を開くと予め指定した定型文が入力欄にセットされる機能が追加されました。デフォルト定型文として設定可能な定型文は、紹介状と診断書それぞれ1つの定型文のみです。

デフォルト定型文は、「定型文編集」画面で設定します。

「定型文編集」画面は、「MI\_CAN (メインメニュー)」画面の「DB メンテナンス」から「各種データ管理」へ進んで表示される「定型文」を選択して表示します。

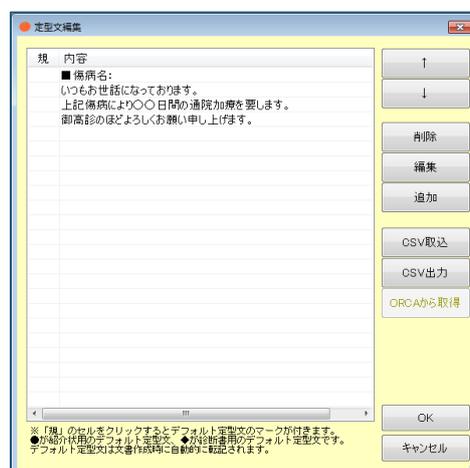


また、「診療情報」画面の「定型」タブにある「編集」ボタンをクリックしても表示させることができます。

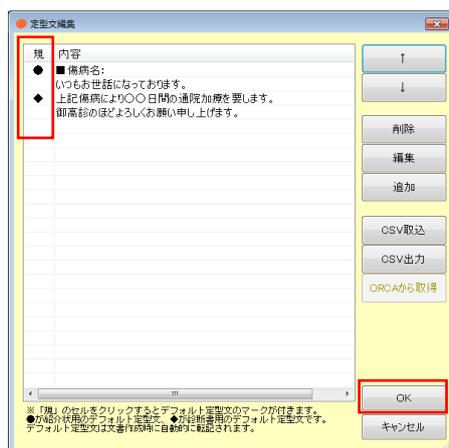


### 7-1-8-1 デフォルト定型文の指定

デフォルト定型文は、「定型文編集」画面に表示されている登録済みの定型文の中から紹介状用の定型文と診断書用の定型文をそれぞれ1つずつ選択して指定します。

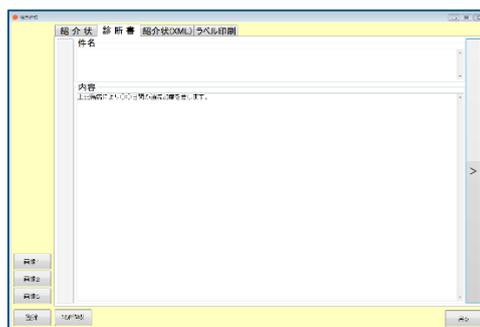


デフォルト定型文として指定したい文言の「規」のセルをクリックすると、クリックする毎に「●」「◆」「空欄」の順に変わります。紹介状に指定する場合は、「●」、診断書に指定する場合は「◆」のマークを選択します。



指定が済んだら [OK] ボタンをクリックして画面を閉じます。

次回以降紹介状と診断書の作成時、〔帳票作成〕画面を開くと、指定したデフォルト定型文がセットされています。

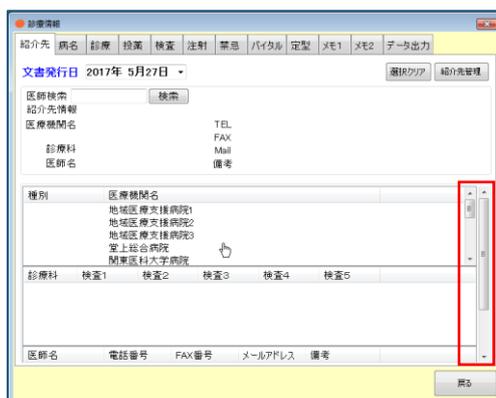


## 7-1-9 紹介先選択・禁忌情報のスクロール表示を追加

〔診療情報〕画面の「紹介先」タブと「禁忌」タブのスクロール表示に対応しました。

### 7-1-9-1 紹介先タブ

〔診療情報〕画面の「紹介先」タブで紹介先施設名の選択欄にスクロールバーを追加しました。



## 7-1-9-2 禁忌タブ

〔診療情報〕画面の「禁忌」タブにスクロールバーを追加しました。



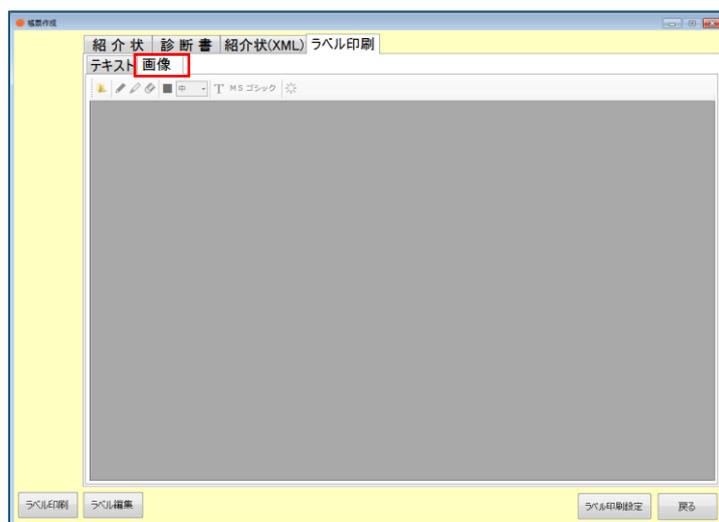
## 7-1-10 ラベル印刷の画像印刷対応

ラベル印刷時に画像を印刷する機能が追加されました。画像の追加及び編集は、〔帳票作成〕画面の「ラベル印刷」タブで「画像」タブを選択して行います。

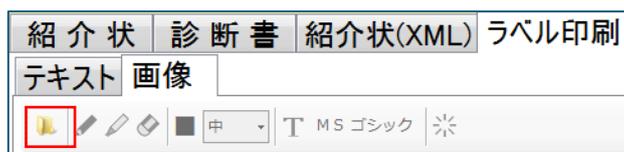
ラベル印刷の設定及び操作方法は、別途 MI\_CAN の追加マニュアル (MI\_CAN 操作マニュアル追加機能説明 ver1.6.5.2 ver1.7.0) を参照してください。

### 7-1-10-1 画像タブ

ラベル印刷で「画像」タブを開きます。



画面上部に操作メニューのアイコンが表示されています。画像が追加されていない場合は、「ファイルを開く」アイコンのみ選択可能となっています。



「ファイルを開く」のアイコンをクリックすると、「画像ファイルを選択してください」画面が表示されます。

追加したい画像ファイルが保存されているフォルダからファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。



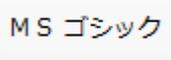
元の画面に戻り、選択した画像が追加されます。



画像が追加されると、メニューのアイコンが操作可能な状態に変更されます。

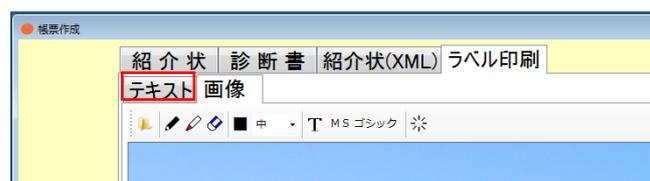


アイコンの説明は以下のとおりです。

アイコン	説明	内容
	ファイルを開く	追加したい画像の保存先を開きます。
	ペン	画面上にフリーハンドで線を引くことができます。
	マーカー	画面上の強調したい部分にマーカーを引くことができます。
	線の消去	画面上に追加した線を消去します。
	ペンの色	ペンやマーカーの色を指定します。 アイコンをクリックすると「色の設定」画面が表示されますので、使用したい色を選択して変更します。
	ペンの幅	ペンやマーカーの線の幅を指定します。
	テキスト追加	画面上にテキストを追加します。 アイコンをクリックして画面上でクリックするとテキスト入力欄が配置されます。
	フォント種別	画面上のテキストのフォントを変更します。 アイコンをクリックすると「フォント設定」画面が表示されます。
	全消去	処理中の画面に追加された線やテキストを全て消去します。

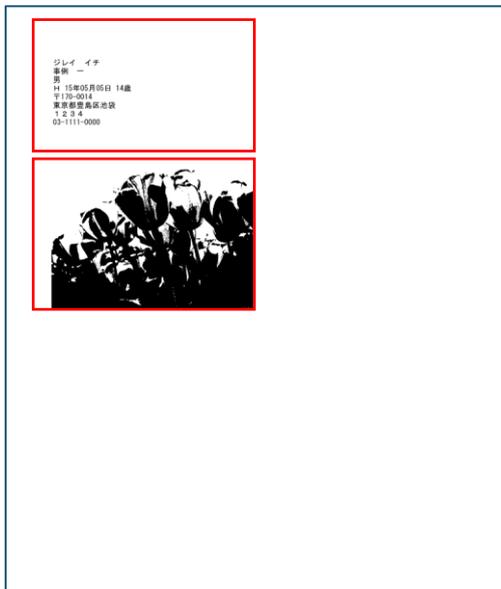
操作方法は、前述の紹介状、診断書の画像編集機能を参照してください。

テキストを追加したい場合は、「テキスト」タブをクリックして編集することができます。



ラベルの印刷に必要な内容の入力が完了したら、[ラベル印刷] ボタンをクリックします。

指定したプリンタからラベルが印刷されます。ラベルの画像印刷はラベルプリンタで出力することを考慮および画像をはっきり表示させるためにカラー画像が貼付されていても白黒に変換して出力されます。また、テキストと画像は別々のラベルに印刷されます。



## 7-2 仕様変更

ver2.0 では、仕様も一部変更されています。MI\_CAN で変更された仕様について説明します。

### 7-2-1 起動パラメータによる動作制御

MI\_CAN を起動する際に、パラメータを設定することによって自動的に処理を行うようにしました。パラメータを設定することで、MI\_CAN と連携したアプリケーション等から、MI\_CAN を別途起動することなく、指定した患者の紹介状作成画面を表示する、指定した処理を行う等の操作が可能になります。

#### 7-2-1-1 パラメータの設定

パラメータの記述方法は次のとおりです。スペースで区切って指定してください。（▲はスペースです。）

```
C:\¥MICAN_BIN¥MI_CAN.exe▲-c▲ [ログイン ID] ▲ [パスワード] ▲ [患者番号] ▲ [処理コード]
```

「-c」は制御開始文字です。パラメータによる制御を行う際は、必ず一番目に記述してください。

各項目の説明は以下のとおりです。

項目	説明
ログイン ID	ログインするユーザのログイン ID を指定します。
パスワード	ログインするユーザのパスワードを指定します。
患者番号	処理対象の患者番号を指定します。
処理コード	実施したい処理の処理コードを指定します。 現状は紹介状作成、診断書作成、 検査結果の単回表示と時系列表示のみです。 紹介状作成：syokai 診断書作成：sindan 検査結果単回表示：tankai 検査結果時系列表示：jikeiretsu 空の場合はデフォルトとして紹介状作成になります。

#### 7-2-1-2 使用例

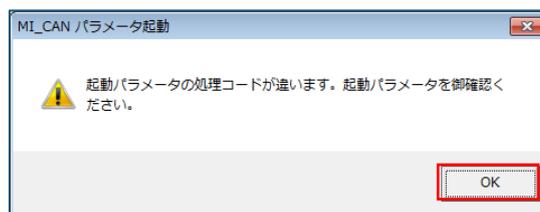
例えば、MI\_CAN を起動し、admin でログインし、患者番号「00001」の紹介状画面を開く場合は以下のように記述します。（▲はスペースです。）

```
C:\¥MICAN_BIN¥MI_CAN.exe▲-c▲admin▲admin▲00001▲syokai
```

既に MI\_CAN が起動中の場合は、[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面だけが表示されている場合のみ実行されます。

別の画面が表示されている場合は、メッセージを表示して命令を破棄します。

起動パラメータの処理コードが間違っていた場合は、確認メッセージが表示されますので [OK] ボタンをクリックします。記述したパラメータの内容をご確認ください。



#### 7-2-2 二重起動の抑止

前述のパラメータによる処理の対応追加に伴って、MI\_CAN が複数起動されないように仕様を変更しました。

### 7-2-3 プロパティの名称変更

インストーラ及び EXE ファイルのプロパティを日本医師会 ORCA 管理機構に変更しました。

### 7-2-4 患者一覧表示ロジックの変更による高速化

患者一覧を表示する際のロジックを見直し、一覧表示が完了するまでのスピードを高速化しました。

## 7-3 不具合修正

本バージョンでは前バージョン以降に発生した不具合が修正されています。

### 7-3-1 Windows10 で帳票作成時にウインドウの間に隙間ができる問題を修正

Windows10 で MI\_CAN を動作させると帳票作成時に〔患者基本情報〕画面と〔診療情報〕画面、及び〔帳票作成〕画面の間に隙間ができる不具合を修正しました。

### 7-3-2 頭書き取込の不具合修正

別途作成した CSV ファイル等から患者基本情報を取り込むと、正しく取り込めない場合が発生する不具合を修正しました。

## 7-4 その他

その他の仕様変更について説明します。

### 7-4-1 DataMonitor によるデータ取込時の病名データ取得を追加 (ver1.8.6)

DataMonitor によるデータ取込時に、病名データも取得するように仕様を変更しました。(ver1.8.6 で実施済み)

【8】 MI\_CAN ver2.0.1.0 追加機能 (H29.11.28)

MI\_CAN ver2.0.1.0 で追加された機能について説明します。

本バージョンでは、MI\_CAN の機能追加の他、仕様変更及び不具合の修正が行われています。なお、従来の機能に関する操作については、「MI\_CAN 操作マニュアル(詳細版)」を参照してください。

【追加された主な機能】

項目	No	追加機能	説明
MI_CAN	1	患者リスト表示設定に選択行の背景色と選択行の文字色の設定を追加	〔MI_CAN (メインメニュー)〕画面に表示されている患者リストで選択した行の背景色を任意の色に、文字色を白色又は黒色のどちらかに選択できます。
	2	帳票印刷設定に連携出力の設定を追加	本バージョンで MICAN_TERMINAL に追加された HumanBridge 及び ID-Link との連携機能を利用する場合に、MI_CAN で作成した帳票の処理を設定します。
	3	患者情報編集画面に地域 ID 設定を追加	〔患者情報編集〕画面に連携 ID 管理タブを追加して地域 ID を最大 20 個まで登録できるようにしました。 日医標準レセプトソフト (以下日レセ) と連携している場合は、日レセに登録された内容を自動で MI_CAN に取得します。
	4	起動時の更新チェック設定を追加	バージョンアップの更新チェックを MI_CAN 起動時に自動で行う設定を追加しました。
MICAN_TERMINAL	1	HumanBridge <sup>※1</sup> に対応	HumanBridge に対応しました。また、データの出力対象に紹介状/診断書/画像 (PDF/JPG) の項目を追加しました。
	2	ID-Link <sup>※2</sup> に対応	ID-Link に対応し、連携設定用の画面を追加しました。

※1 HumanBridge は、富士通株式会社 の登録商標です。MI\_CAN 連携先である HumanBridge 側の詳細については、別途 HumanBridge の説明書を参照してください。

※2 ID-Link は株式会社エスイーシーの登録商標です。MI\_CAN 連携先である ID-Link 側の詳細については、別途 ID-Link の説明書を参照してください。

【仕様変更項目】

項目	No	仕様変更	説明
MI_CAN	1	患者基本情報の保険情報に本人家族区分を追加	患者基本情報の患者保険情報欄に本人家族区分の項目を追加しました。
	2	検査取込時に患者名が空文字の場合、カナ文字を使うように対応	検査結果ファイル取込時、患者名の項目にデータがない場合、患者カナ名をセットするようにしました。
	3	ORCA からのデータ一括取得のスピードアップ	ORCA 連携でデータを一括取得する際の取込処理の速度を見直しました。

【不具合修正】

項目	No	不具合修正	説明
MI_CAN	1	CSV 出力でデータが出力されない場合がある不具合を修正	住所欄に入力されたデータが、CSV 形式で出力される際に抜け落ちてしまう不具合を修正しました。

## 8-1 MI\_CAN の追加機能

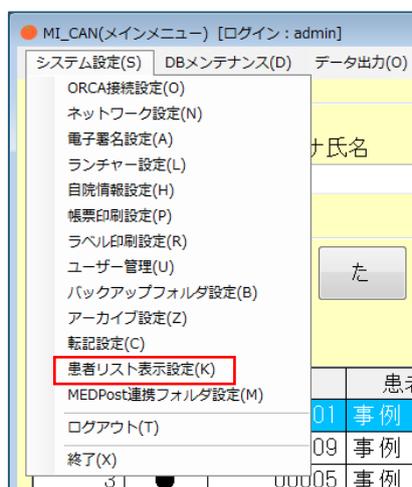
MI\_CAN で追加された機能を説明します。

### 8-1-1 患者リスト表示設定に選択行の背景色と選択行の文字色の設定を追加

〔MI\_CAN（メインメニュー）〕画面の患者リストで患者を選択したときに選択行の文字の色を変更する設定を追加しました。文字の色は、白色又は黒色のどちらかを選択できます。また、文字を太字に変更することもできます。

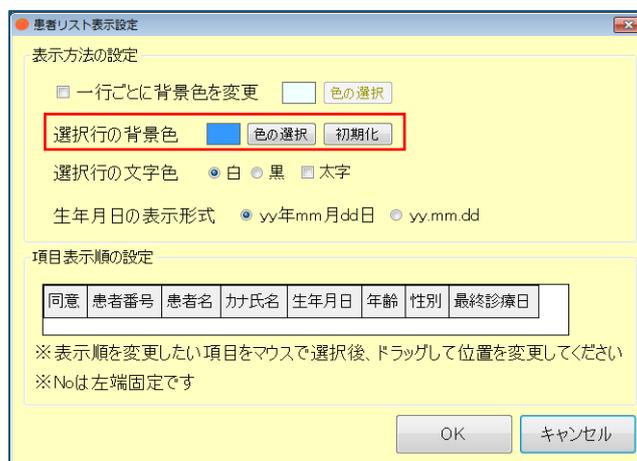
#### 8-1-1-1 選択行の背景色

選択行の背景色の設定は、〔MI\_CAN（メインメニュー）〕画面のシステム設定から「患者リスト表示設定」を選択して表示される画面で設定します。



「患者リスト表示設定」を選択すると、〔患者リスト表示設定〕画面が表示されます。

「表示方法の設定」欄で「選択行の背景色」右側の〔色の選択〕ボタンをクリックします。



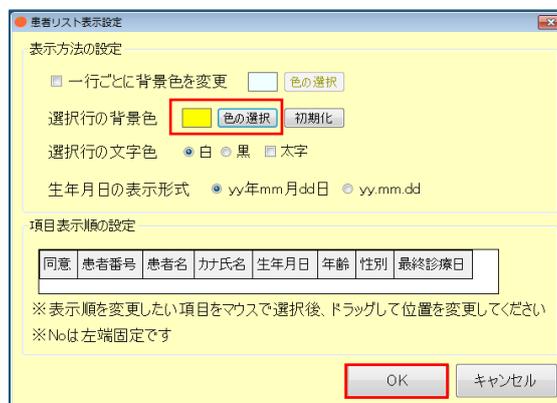
設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
色の選択	〔MI_CAN (メインメニュー)〕画面に表示されている患者リストで患者を選択したときの選択行の背景色を任意の色に設定します。
初期化	設定した色を初期化して元の状態に戻します。

〔色の選択〕ボタンをクリックすると〔色の設定〕画面が表示されます。任意の色を選択して〔OK〕ボタンをクリックします。



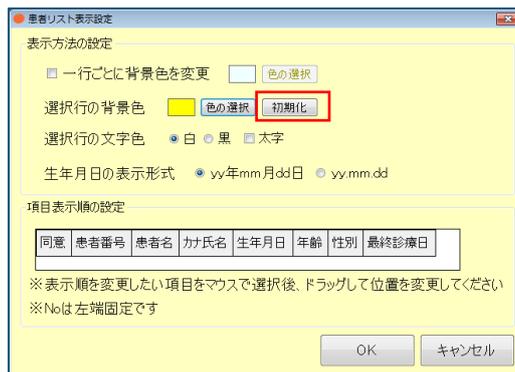
元の画面に戻ると、背景色の表示の色が変更されています。〔OK〕ボタンをクリックします。



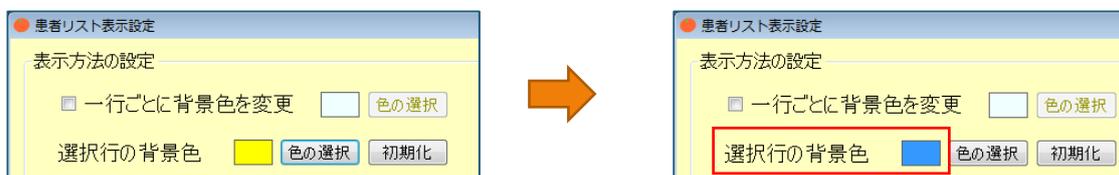
〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面の患者リストで患者を選択すると設定した背景色に変更されます。



変更した背景色を元の状態に戻したい場合は、[初期化] ボタンをクリックします。



変更した背景色が MI\_CAN の初期設定時の色に戻ります。



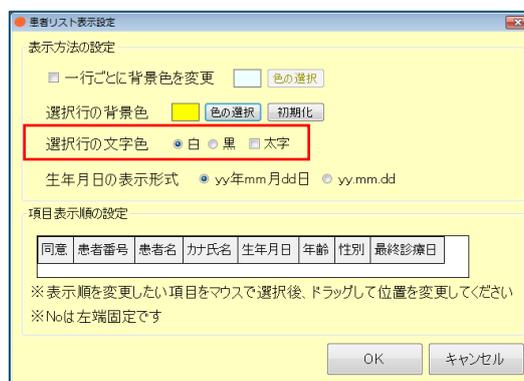
[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面の患者リストで患者を選択すると設定した背景色も元に戻ります。

No	同意	患者番号	患者名
1	●	00001	事例 一
2	●	00009	事例 九
3	●	00005	事例 五
4	●	00003	事例 三

No	同意	患者番号	患者名
1	●	00001	事例 一
2	●	00009	事例 九
3	●	00005	事例 五
4	●	00003	事例 三

### 8-1-1-2 選択行の文字色

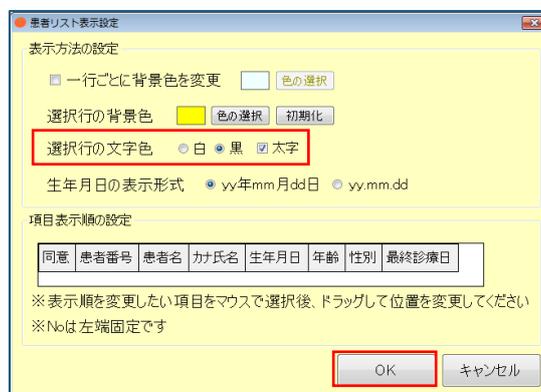
選択行の文字の色は、[患者リスト表示設定] 画面の「表示方法の設定」欄で設定します。



設定できる内容は以下のとおりです。

項目	説明
白	〔MI_CAN（メインメニュー）〕画面に表示されている患者リストで患者を選択したときの選択行の文字の色を白色に設定します。
黒	〔MI_CAN（メインメニュー）〕画面に表示されている患者リストで患者を選択したときの選択行の文字の色を黒色に設定します。
太字	〔MI_CAN（メインメニュー）〕画面に表示されている患者リストで患者を選択したときの選択行の文字を太字に設定します。

設定したい文字色のラジオボタンをチェックします。太字にしたい場合は、チェックボックスにチェックします。設定が完了したら、〔OK〕ボタンをクリックします。



〔MI\_CAN（メインメニュー）〕画面の患者リストの表示が、設定した背景色と文字色に反映されます。

No	同意	患者番号	患者名
1	●	00001	事例 一
2	●	00009	事例 九
3	●	00005	事例 五

《背景色：黄色、文字色：黒、太字》

No	同意	患者番号	患者名
1	●	00001	事例 一
2	●	00009	事例 九
3	●	00005	事例 五

《背景色：青色、文字色：白、太字》

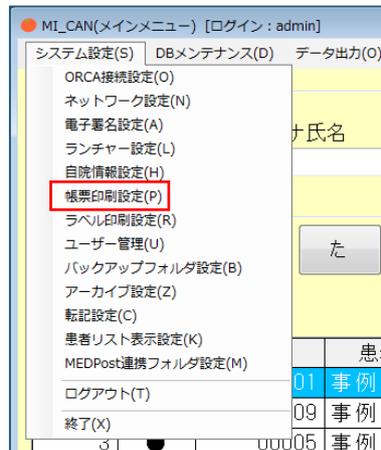
「一行ごとに背景色を変更」の設定と組み合わせて、任意の表示色へ変更することができます。

No	同意	患者番号	患者名	カナ氏名	生年月日	年齢	性別
1	●	00001	事例 一	ジレイ イチ	H 15年05月05日	14歳	男
2	●	00009	事例 九	ジレイ キュウ	S 53年05月23日	39歳	男
3	●	00005	事例 五	ジレイ ゴ	S 20年06月15日	72歳	男
4	●	00003	事例 三	ジレイ サン	S 40年08月10日	52歳	女
5	●	00004	事例 四	ジレイ シ	S 38年02月18日	54歳	男
6	●	00010	事例 十	ジレイ ジュウ	S 22年10月12日	70歳	女

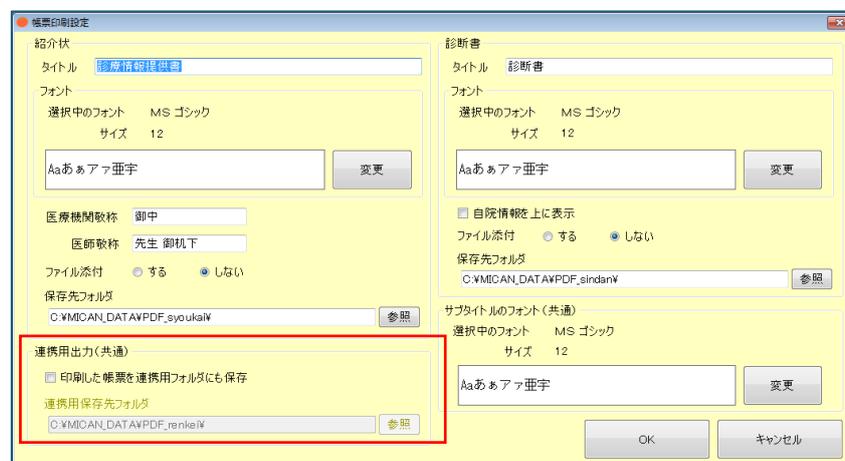
## 8-1-2 帳票印刷設定に連携用出力の設定を追加

本バージョンで MICAN\_TERMINAL に追加された HumanBridge 及び ID-Link との連携機能を利用する場合に、MI\_CAN で作成した帳票の処理方法を設定します。HumanBridge 及び ID-Link のどちらも同様の設定です。

[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面のシステム設定から「帳票印刷設定」を選択します。



「帳票印刷設定」を選択すると「帳票印刷設定」画面が表示されます。「連携用出力（共通）」欄で印刷した帳票の処理方法を設定します。



「印刷した帳票を連携用フォルダにも保存」のチェックボックスにチェックします。「連携用保存先フォルダ」欄が入力可能になります。



初期設定で出力先フォルダが設定されています。変更がなければ [OK] ボタンをクリックします。出力先を変更する場合は [参照] ボタンをクリックして表示される [フォルダの参照] 画面で出力先フォルダを指定します。指定が完了したら [OK] ボタンをクリックします。

初期設定の出力先フォルダは、「C:\MICAN\_DATA\PDF\_renkei\」です。



設定後に MI\_CAN で帳票を出力すると、同時に指定したフォルダへ PDF ファイルが出力されます。

### 8-1-3 患者情報編集画面に地域 ID 設定を追加

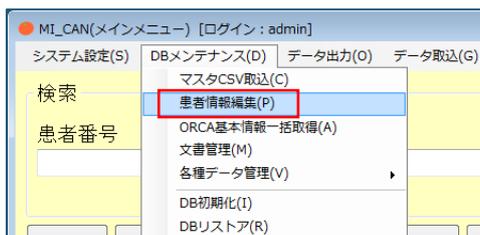
〔患者情報編集〕画面に連携 ID 管理タブを追加して地域 ID を最大 20 個まで登録できるようにしました。

MI\_CAN の画面上から地域連携用の ID を入力して登録することができますが、日レセと連携している場合は、日レセの〔患者登録—患者登録〕画面の「その他」タブにある「ID 番号」に登録された内容を自動で取得して表示します。



<日レセ 〔患者登録—患者登録〕画面 「その他」タブ>

地域 ID は、〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面の DB メンテナンスから「患者情報編集」を選択して登録します。



「患者情報編集」を選択すると〔患者情報編集〕画面が表示されます。

画面右下のタブで、「連携 ID 管理」タブを選択します。

「連携 ID 管理」タブに切り替わります。

地域連携 ID を入力します。全ての入力が完了したら [登録] ボタンをクリックして登録した内容を反映させます。

設定する項目は以下のとおりです。

項目	説明
ID 識別	地域連携で使用する ID 識別番号を入力します。 ID 識別欄の入力は必須です。 ※日レセと連携している場合は、日レセに設定されている内容を自動取得して表示します。
ID 番号	地域連携で使用する ID 識別番号を入力します。 ID 番号欄の入力は必須です。 ※日レセと連携している場合は、日レセに設定されている内容を自動取得して表示します。
備考	設定した内容の説明を入力します。 備考欄の入力は任意です。 ※日レセと連携している場合は、日レセに設定されている内容を自動取得して表示します。

### 8-1-3-1 日レセ連携

日レセと連携している場合に地域 ID を登録するには、日レセの「1 2 登録」の〔患者登録—患者登録〕画面で地域 ID を登録する患者を表示させ、「その他」タブを開きます。



画面右上の入力欄に登録する ID を入力して〔更新〕ボタンをクリックします。〔更新〕ボタンをクリックすると入力した内容がリストに追加されます。



入力が完了したら〔登録 (F12)〕ボタンをクリックして追加した内容を確定します。

連携している MI\_CAN の「連携 ID 管理」タブを表示させると、日レセで登録した内容が追加されています。

No	ID識別	ID番号	備考
1	aaa	123	テスト用

ID識別

ID番号

備考

追加 更新 削除

### 8-1-3-2 連携 ID 追加

MI\_CAN 側で地域 ID を追加する場合は、「連携 ID 管理」タブで各入力欄に地域連携で指定された内容を入力し、[追加] ボタンをクリックします。

No	ID識別	ID番号	備考
----	------	------	----

ID識別 aaa

ID番号 123

備考 テスト用

追加 更新 削除

[追加] ボタンをクリックすると入力した内容がリストに追加されます。複数の ID を追加する必要がある場合は、同様の操作をおこないます。最大で 20 個の ID を追加することができます。

No	ID識別	ID番号	備考
1	aaa	123	テスト用
1	aaa	123	テスト用

ID識別

ID番号

備考

追加 更新 削除

### 8-1-3-3 連携 ID 更新

入力した内容の修正や変更をおこなうことができます。リストに表示されている中から修正したい ID をクリックすると入力欄に設定済みの内容が表示されます。

No	ID識別	ID番号	備考
1	aaa	123	テスト用

ID識別: aaa  
ID番号: 123  
備考: テスト用

追加 更新 削除

内容を修正後 [更新] ボタンをクリックします。

No	ID識別	ID番号	備考
1	aaa	123	テスト用

ID識別: aaab  
ID番号: 1234  
備考: テスト用

追加 更新 削除

修正した内容がリストに反映されます。

No	ID識別	ID番号	備考
1	aaab	1234	テスト用

ID識別:   
ID番号:   
備考:

追加 更新 削除

#### 8-1-3-4 連携 ID 削除

登録済みの ID を削除することができます。

リストに表示されている中から削除したい ID をクリックすると入力欄に設定済みの内容が表示されますので、内容を確認後、「削除」ボタンをクリックします。

No	ID識別	ID番号	備考
1	aaa	123	テスト用

ID識別: aaa  
ID番号: 123  
備考: テスト用

追加 更新 削除

確認メッセージが表示されます。「はい」ボタンをクリックします。

選択した行を削除してよろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

「連携 ID 管理」タブのリストから削除されます。

No	ID識別	ID番号	備考
----	------	------	----

ID識別:   
ID番号:   
備考:

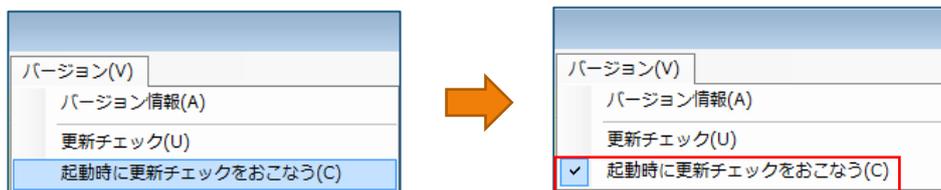
追加 更新 削除

※日レセと連携している場合には、日レセ側のデータが反映されます。MI\_CAN 側で「追加」「更新」「削除」等の編集をおこなってもデータ更新等で日レセの登録内容に更新されますのでご注意ください。

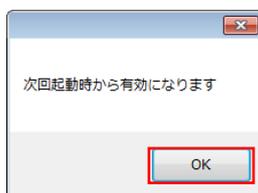
#### 8-1-4 起動時の更新チェック設定を追加

バージョンアップの更新チェックを MI\_CAN 起動時に自動でおこなう設定を追加しました。

設定は、[MI\_CAN (メインメニュー)] 画面のバージョンから「起動時に更新チェックをおこなう」にチェックして設定します。



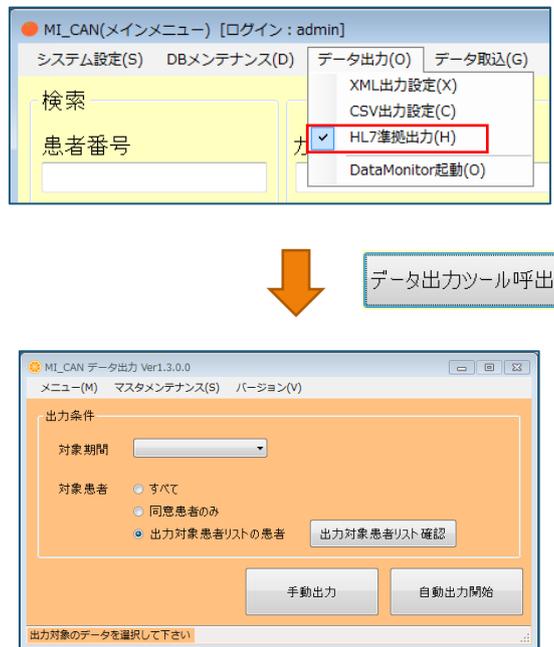
「起動時に更新チェックをおこなう」にチェックすると確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。次回 MI\_CAN を起動すると、自動で更新チェックがおこなわれます。



## 8-2 MICAN\_TERMINAL の追加機能

MICAN\_TERMINAL で追加された機能を説明します。

MICAN\_TERMINAL は、〔MI\_CAN (メインメニュー)〕画面のデータ出力で「HL7 準拠出力」にチェックすると表示される〔データ出力呼出〕ボタンをクリックすると起動することができます。

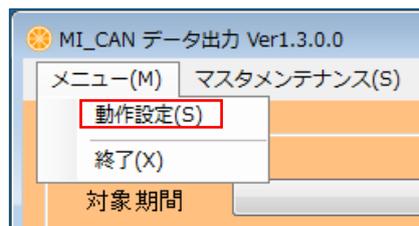


### 8-2-1 HumanBridge 対応を追加

MICAN\_TERMINAL に HumanBridge 対応を追加しました。また、データの出力対象に紹介状/診断書/画像 (PDF/JPG) の項目を追加しました。

#### 8-2-1-1 HumanBridge 準拠のデータ出力設定

HumanBridge 準拠のデータ出力は、〔MI\_CAN データ出力 Ver1.3.0.0〕画面のメニューから「動作設定」を選択して設定します。



〔動作設定〕画面が表示されます。全ての設定が完了したら〔OK〕ボタンをクリックします。



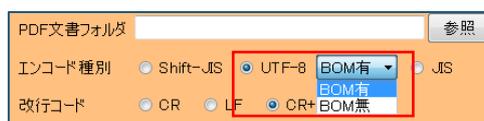
HumanBridge 準拠のデータ出力は、「データ出力設定」欄で HumanBridge 準拠にチェックします。



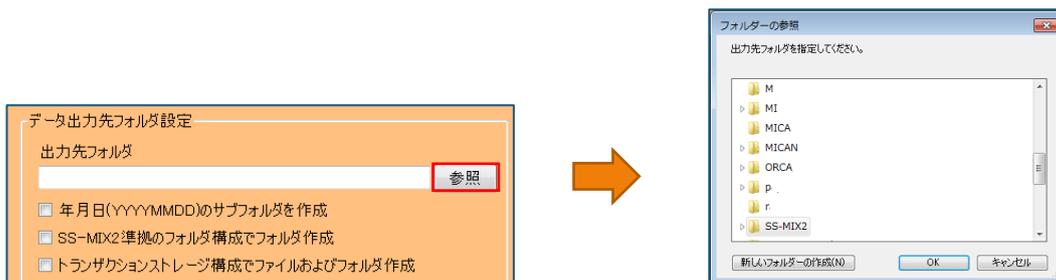
出力対象として紹介状、診断書及び画像を指定する場合は、PDF 文書フォルダを設定します。指定は〔参照〕ボタンをクリックして表示される〔フォルダーの参照〕画面から指定します。



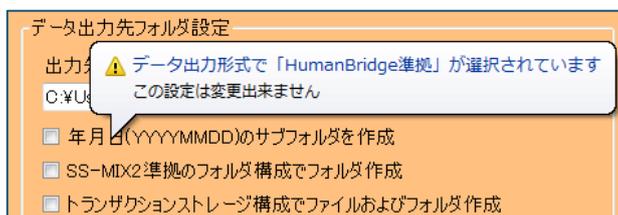
エンコード種別で UTF-8 にチェックする場合は、BOM の有無を選択します。



次に「データ出力先フォルダ設定」欄で出力先フォルダを設定します。出力先フォルダは [参照] ボタンをクリックして表示される [フォルダーの参照] 画面からおこないます。



注意点として、HumanBridge 準拠の出力形式を選択している場合に、設定の変更ができない項目があります。



設定の変更ができない項目は以下のとおりです。

設定	設定変更不可
データ出力設定	メッセージ区切り文字 〈FS〉 〈CR〉 を出力
データ出力先フォルダ設定	年月日 (YYYYMMDD) のサブフォルダを作成
	トランザクションストレージ構成でファイルおよびフォルダ作成

## 8-2-2 ID-Link 対応を追加

MICAN\_TERMINAL に ID-Link 対応を追加し、ID-Link 専用の画面で設定をおこなえるようにしました。

### 8-2-2-1 ID-Link 準拠のデータ出力設定

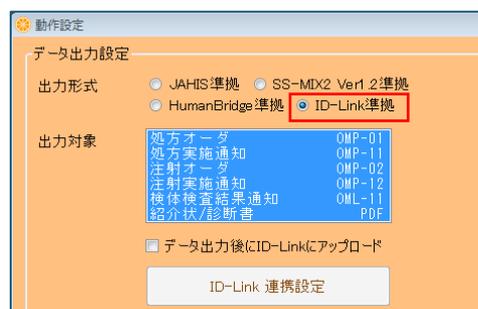
ID-Link 準拠のデータ出力は、〔MI\_CAN データ出力 Ver1.3.0.0〕画面のメニューから「動作設定」を選択して設定します。



〔動作設定〕画面が表示されます。全ての設定が完了したら [OK] ボタンをクリックします。



ID-Link 準拠のデータ出力は、「データ出力設定」欄で ID-Link 準拠にチェックします。ID-Link 準拠にチェックすると出力対象欄が ID-Link 用の設定項目に切り替わります。



「データ出力後に ID-Link にアップロード」のチェックボックスにチェックすると [ID-Link 連携設定] ボタンが操作可能となります。

動作設定

データ出力設定

出力形式

JAHIS準拠  SS-MIX2 Ver1.2準拠

HumanBridge準拠  ID-Link準拠

出力対象

処方オーダー	OMP-01
処方実施通知	OMP-11
注射オーダー	OMP-02
注射実施通知	OMP-12
検体検査結果通知	OML-11
紹介状/診断書	PDF

データ出力後にID-Linkにアップロード

ID-Link 連携設定

[ID-Link 連携設定] ボタンをクリックします。

出力対象

処方オーダー	OMP-01
処方実施通知	OMP-11
注射オーダー	OMP-02
注射実施通知	OMP-12
検体検査結果通知	OML-11
紹介状/診断書	PDF

データ出力後にID-Linkにアップロード

ID-Link 連携設定

[ID-Link 連携設定] 画面が表示されます。ID-Link の設定内容に従って各入力欄に内容を入力します。

全ての内容の入力が完了したら [OK] ボタンをクリックします。

ID-Link 連携設定

接続設定

オンデマンドVPN接続  SSL接続  証明書登録

URL

ベンダーコード

プロキシサーバ設定

ホスト名  ポート番号

証明書パスワード

施設情報

施設ID

職員ID

ログインユーザー情報

ログインID

パスワード

OK キャンセル

※「接続設定」欄では、初期値として URL が表示されていますが、ご利用の環境により内容が異なる場合があります。SSL 接続の「証明書登録情報」も合わせて、ID-Link で必要となる設定内容の詳細は、ID-Link から提供される資料又は、説明書を参照してください。

[OK] ボタンをクリックすると元の画面に戻りますので、引き続き設定をおこないます。出力対象として紹介状、診断書を指定する場合は、PDF 文書フォルダを設定します。指定は [参照] ボタンをクリックして表示される [フォルダーの参照] 画面から指定します。



次に「データ出力先フォルダ設定」欄で出力先フォルダを設定します。出力先フォルダは [参照] ボタンをクリックして表示される [フォルダーの参照] 画面からおこないます。



注意点として、ID-Link 準拠の出力形式を選択している場合に、設定の変更ができない項目があります。



設定の変更ができない項目は以下のとおりです。

設定	設定変更不可
データ出力設定	エンコード種別 : Shift-JIS UTF-8 JIS
	アレルギーを薬剤アレルギーとして出力する
データ出力先フォルダ設定	トランザクションストレージ構成でファイルおよびフォルダ作成

## 8-3 仕様変更

ver2.0.1.0 では、仕様も一部変更されています。MI\_CAN で変更された仕様について説明します。

### 8-3-1 患者基本情報の保険情報に本人家族区分を追加

患者基本情報の患者保険情報欄に本人家族区分の項目を追加しました。

### 8-3-2 検査取込時に患者名が空文字の場合、カナ文字を使うように対応

検査結果ファイル取込時、患者名の項目にデータがない場合、患者カナ名をセットするようにしました。

### 8-3-3 ORCA からのデータ一括取得のスピードアップ

ORCA 連携でデータを一括取得する際の取込処理の速度を見直しました。

## 8-4 不具合修正

本バージョンでは前バージョン以降に発生した不具合が修正されています。

### 8-4-1 CSV 出力でデータが出力されない場合がある不具合を修正

住所欄に入力されたデータが、CSV 形式で出力される際に抜け落ちてしまう不具合を修正しました。

※本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

※本文中および図中では、TM、R などのマークを記載していない場合があります。

日本医師会ORCA管理機構

〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-1-21 コロナ社第3ビル 6F